このたびは、マツダ車をお買いあげいただき、ありがとうございます。

本書は、安全で快適なドライブをお楽しみいただくために、お車の正しい取り扱いや簡単なお手入れ方法について説明しています。ご使用前に必ずお読みください。

発行元 **マツダ株式会社** 〒 730-8670 広島県安芸郡府中町新地 3-1

- ・お車をゆずられるときは、次のオーナーのために、本書をお車につけておいてください。
- ・お車の仕様変更などにより、本書の内容の一部がお車と一致しない場合がありますので、あらか じめご了承ください。
- ・グレードの仕様により異なる装備については「グレード/仕様別装備」をつけています。
- ・マツダ販売店で取り付けられた装備品は、付属の取扱説明書をご覧ください。
- ・お車の保証および点検、整備要領については、別冊の「メンテナンスノート」をご覧ください。
- ・本書は別冊の「メンテナンスノート」とともに、いつもお車に保管してください。

©2023 マツダ株式会社 発行 2025 年 4 月 (4 版)

本書の見方

安全にお車を使用していただくために守っていただきたいことを、次の表示で区分して記載しています。これらは重要ですので、必ず読んでお守りください。



警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重大な傷害を負う可能性のあるもの



取り扱いを誤った場合、傷害を負ったりお車の損傷につながったりする可能性のあるもの

〕知識

知っておくと便利なこと

イラストで表現している内容の禁止を意味しています。



イラスト内の矢印は、次の意味を示しています。

・1番目の操作を示しています。



・2番目の操作を示しています。



・部品の位置を示しています。



・状態の移り変わりを示しています。



お車に表示されている次のマークは「詳しい説明を本書に記載しています。」を示しています。必ず本 書の説明を読んでご使用ください。



MEMO

目次

各部の名称	1
 はじめにお読みください	2
 乗員/歩行者を保護する装備	3
開閉する	4
 運転する	5
車内を快適にする装備	6
 その他装備	7
 いざというときの対処法	8
 点検整備する/お手入れする	9
仕様	10
 さくいん	111

詳細目次

1 各部の名称	車両データを記録するコンピュー ターについて2-:
ハンドル周辺概略図 1-2	ドライバーの画像などを記録する コンピューターについて2-4
ハンドル周辺の概略図1-2	データの取り扱いについて2
運転席周辺概略図 1-3 運転席周辺の概略図1-3	オープンソースソフトウェア 情報 2-5
インストルメントパネル周辺 概略図 1-4 インストルメントパネル周辺の概	メーター2-3
略図1-4	する装備
車室内概略図 1-5	SRS エアバッグシステム
室内の概略図1-5	3-2
車両外観フロント概略図 1-7	SRS エアバッグシステムについ て3-: SRS エアバッグシステム使用上の
車両外側フロントの概略図 1-7	警告·注意3
車両外観リア概略図 1-9	SRS エアバッグシステムの作動に ついて3-(
車両外側リアの概略図1-9	シートベルト 3-9
2 はじめにお読みくだ さい	シートベルトについて3-! シートベルト使用上の警告・注意 3-! シートベルトの使いかた3-!
守っていただきたいこと 2-2	シート 3-13
駐停車時に守っていただきたい こと2-2	シート使用上の警告・注意3-1: シートの使いかた3-1-
車に記録されるデータ 2-3	
EDR (イベントデータレコーダー) について2-3	

ヘッドレスト (シート一体 式) 3-15 ヘッドレスト (シート一体式) につ	アドバンストキーレスエント リー&プッシュボタンスター トシステム 4-8
いて3-15 ヘッドレスト (シート一体式) 使用 上の警告・注意3-15	アドバンストキーレスエントリー& プッシュボタンスタートシステ ムについて4-8 アドバンストキーレスエントリー&
ハンドル 3-16 ハンドル使用上の警告・注意3-16	プトハンストキーレスエントリー& プッシュボタンスタートシステ ムの使いかた4-8
ハンドル調節のしかた3-16	ドア 4-10
お子さま専用シートについて3-17 お子さま専用シート使用上の警告・	ドア開閉時の警告・注意4-10 ドアの使いかた4-10 ドアの便利な使いかた4-12
注意3-17 お子さま専用シートの種類につ いて3-19 シート位置別お子さま専用シート 選択の目安表3-21	トランク 4-13 トランク使用上の警告・注意4-13 トランクの使いかた4-14
要がの日女衣	ボンネット 4-15 ボンネット使用上の警告・注意 4-15
アクティブボンネット 3-25	ボンネットの使いかた4-15
アクティブボンネットについて3-25 アクティブボンネット使用上の警告・注意3-25 アクティブボンネットの作動について3-26	ウインドー 4-17 パワーウインドーについて4-17 パワーウインドー使用上の注意・ 警告4-17 パワーウインドーの使いかた4-18
4 開閉する	パワーウィンドーの便利な使い かた4-19
キー 4-4 キーについて4-4	ソフトトップ 4-20 ソフトトップ使用上の警告・注意
キー使用上の警告・注意4-4 キーの使いかた4-6 キーの便利な使いかた4-7	4-20 ソフトトップの概略図4-21 ソフトトップの使いかた4-22

リトラクタブルハードトッ プ 4-25	プッシュボタンスタート 5-9
リトラクタブルハードトップについて	プッシュボタンスタートについ て
リトラクタブルハードトップの便 利な使いかた4-30	i-ELOOP について5-12 i-ELOOP 使用上の警告・注意 5-13
盗難防止システム 4-31 イモビライザーシステムについ	i-ELOOP の使いかた5-14 i-stop 5-15
イモビライザーシステムについ て	i-stop 5-15 i-stop について5-15 i-stop の使いかた5-17
かた4-32 バーグラアラームシステムについ て4-32 バーグラアラームシステムの使い	メーターについて5-17 スピードメーターについて5-17 タコメーターについて5-18
かた4-33	マルチインフォメーションディスプ レイについて5-19
<u>5</u> 運転する _{ミラー 5-6}	マルチインフォメーションディスプ レイの使いかた5-20 オドメーター/トリップメーターに
ミラーについて5-6 ドアミラー使用上の警告・注意 5-6 ドアミラーの使いかた5-7	ついて5-23 オドメーター/トリップメーターの 使いかた5-23 水温計について5-24
ルームミラーの使いかた5-7 ルームミラーの便利な使いかた5-8	燃料計について5-24 パネルライトコントロールについ て5-25 パネルライトコントロールの使い
	かた5-25 外気温表示について5-26

走行可能距離表示について5-26	ギア・シフト・インジケーター (GSI)
平均燃費表示について5-27	使用上の警告・注意5-44
平均燃費表示の使いかた5-27 瞬間燃費表示について5-28	パーキングブレーキ 5-45
i-ACTIVSENSE 表示について5-28	パーキングブレーキ使用上の警告・
ルーフ開閉状態表示について (ハー	注意5-45
ドトップ車)5-29	パーキングブレーキの使いかた 5-45
メッセージ表示について5-29	ブレーキ・オーバーライド・シ
インテリジェント・ドライブ・	ステム 5-47
マスター (i-DM) 5-30	ステム 5-47 ブレーキ・オーバーライド・システ ムについて5-47
インテリジェント・ドライブ・マス	ブレーキ・オーバーライド・システ
ター (i-DM) について5-30	ム使用上の警告・注意5-47
インテリジェント・ドライブ・マス	ブレーキ・オーバーライド・システ
ター (i-DM) ランプ5-31	ムの便利な使いかた5-48
チェンジレバー 5-32 チェンジレバー使用上の警告・注 意5-32	ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) 5-49
5-32	ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) に
チェンジレバーの使いかた 5-32	ついて 5-49
セレクトレバー 5-34	ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) 使
セレクトレバー使用上の警告・注	用上の警告・注意5-49
意5-34	エマージェンシーシグナルシ
セレクトレバーの使いかた5-36	ステム (ESS) 5-50
ステアリングシフトスイッ	エマージェンシーシグナルシステ
チ 5-40	ム (ESS) について5-50
ステアリングシフトスイッチ使用	ランプスイッチ 5-51
上の警告・注意5-40	ランプスイッチについて 5-51
ステアリングシフトスイッチの使	ランプスイッチ使用上の警告・注
いかた5-41	意5-51
ギア・シフト・インジケーター	ランプスイッチの使いかた5-52
(GSI) 5-44	ランプスイッチの便利な使いか
ギア・シフト・インジケーター (GSI) について (マニュアル車)5-44	た5-53

方向指示器 5-55	トラクションコントロールシ
方向指示器の使いかた5-55	ステム (TCS) 5-64
ワイパー/ウォッシャースイッ チ 5-56	トラクションコントロールシステム (TCS) について5-64トラクションコントロールシステ
フロントワイパー/ウォッシャース イッチについて5-56 フロントワイパー/ウォッシャース	ム (TCS) 使用上の警告・注意 5-64 トラクションコントロールシステ ム (TCS) の使いかた5-65
イッチ使用上の警告・注意5-56 フロントワイパー/ウォッシャース イッチの使いかた5-57	ダイナミック・スタビリティ・ コントロール (DSC) 5-66
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ 5-59	ダイナミック・スタビリティ・コン トロール (DSC) について 5-66 ダイナミック・スタビリティ・コン
リアウインドーデフォッガー (曇り 取り) スイッチについて 5-59	トロール (DSC) 使用上の警告・ 注意5-66
リアウインドーデフォッガー (曇り 取り) スイッチ使用上の警告・	ダイナミック・スタビリティ・コン トロール (DSC) の使いかた5-67
注意5-59 リアウインドーデフォッガー (曇り	DSC-TRACK 5-69
取り) スイッチの使いかた 5-60	DSC-TRACK について5-69 DSC-TRACK 使用上の警告・注意5-69
非常点滅表示灯 5-61	DSC-TRACK の使いかた5-70
非常点滅表示灯について5-61 非常点滅表示灯の使いかた 5-61	キネマティック・ポスチャー・ コントロール (KPC) 5-71
ホーン 5-62	キネマティック・ポスチャー・コン
ホーンの使いかた5-62	トロール (KPC) について 5-71
アンチロックブレーキシステ ム (ABS) 5-63	キネマティック・ポスチャー・コン トロール (KPC) 使用上の警告・ 注意5-71
アンチロックブレーキシステム (ABS) について5-63	キネマティック・ポスチャー・コン トロール (KPC) の使いかた5-72
アンチロックブレーキシステム (ABS) 使用上の警告・注意5-63	ドライブセレクション 5-73
	ドライブセレクションについて (オ ートフチック車) 5.73

ドライブセレクション使用上の警告・注意	ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 5-90 ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) について5-90 ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 使用上の警告・注意5-90
給油 5-76	ハイ・ビーム・コントロールシステ ム (HBC) の使いかた5-91
給油時の警告・注意5-76 給油のしかた5-77	アダプティブ・LED・ヘッドラ イト (ALH) 5-92
i-ACTIVSENSE 5-78 i-ACTIVSENSE について	アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) について5-92 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 使用上の警告・注意5-93 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) の使いかた5-93 車線逸脱警報システム 5-95 車線逸脱警報システムについて5-95 車線逸脱警報システム使用上の警告・注意5-95 車線逸脱警報システム使用上の警告・注意5-95
フォワードセンシングカメラ (FSC) 5-82 フォワードセンシングカメラ (FSC) について	た
	(TSR) 5-101 交通標識認識システム (TSR) について5-101

交通標識認識システム (TSR) 使用上の警告・注意	マツダ・レーダー・クルーズ・コント ロール (MRCC) 使用上の警告・ 注意5-11: マツダ・レーダー・クルーズ・コント ロール (MRCC) の使いかた 5-11:
ディスタンス & スピード・ア ラート (DSA) 5-106 ディスタンス & スピード・アラート (DSA) について	スマート・ブレーキ・サポート (SBS) 5-122 スマート・ブレーキ・サポート (SBS) について
ト (DAA) について	AT 誤発進抑制制御の使いかた 5-12 衝突二次被害軽減システムについて
後側方接近車両検知 (RCTA) にりいて	クルーズコントロール 5-131 クルーズコントロールについて5-13. クルーズコントロール使用上の警告・注意

パーキングセンサー 5-134	シートヒーターの使いかた 6-18
パーキングセンサーシステムにつ いて5-134	7 その他装備
パーキングセンサーシステム使用 上の警告・注意5-135	マツダコネクト 7-4
パーキングセンサーシステムの使 いかた5-136	マツダコネクトについて7-4 マツダコネクト使用上の警告・注
積雪、寒冷時の運転 5-141	意7-6 マツダコネクトの概略図7-7
スノータイヤについて5-141 タイヤチェーンについて5-141	マツダコネクトの使いかた7-8 付録7-13
6 車内を快適にする	Alexa 7-17
装備 	Alexa について7-17 Alexa 使用上の警告・注意7-17
フルオートエアコン 6-2	Alexa の使いかた7-18
吹き出し口について6-2 吹き出し口の使いかた6-2	マツダエマージェンシーコー ル 7-19
フロントフルオートエアコンにつ いて6-4	マツダエマージェンシーコールに ついて7-19
フロントフルオートエアコンの概 略図6-5	マツダエマージェンシーコール使 用上の警告・注意7-19
フルオートエアコンの使いかた 6-6 各スイッチの使いかた6-7	マツダエマージェンシーコールの 使いかた7-20
マニュアルエアコン 6-9	収納 7-21
吹き出し口について	収納使用上の警告・注意7-21
吹き出し口の使いかた6-9 マニュアルエアコンの概略図6-12	カップホルダー 7-22
マニュアルエアコンの使いかた 6-13	カップホルダー使用上の警告・注 意7-22
各スイッチの使いかた6-15 シートヒーター 6-17	カップホルダーの使いかた 7-22
シートレーターについて 6.17	

シートヒーター使用上の警告・注

	電源ソケットの使いかた7-32
センターコンソールボック ス 7-24	エアロボード 7-33
センターコンソールボックスの使	エアロボードについて7-33
いかた7-24	
リアコンソールボックス	アクセサリー 7-34
7-25	電気・電子部品/機器使用上の警告・ 注意7-34
リアコンソールボックスの警告・ 注意7-25	フロアマット 7-35
リアコンソールボックスの使い かた7-25	フロアマット使用上の警告・注 意7-35
リアストレージボックス 7-26	故障診断コネクター 7-36
リアストレージボックスの警告・	故障診断コネクターについて 7-36
注意7-26	発炎筒 7-37
リアストレージボックスの使い かた7-26	発炎筒について7-37 発炎筒使用上の警告・注意7-37
サンバイザー 7-27	ジャッキ 7-38
サンバイザーの使いかた7-27	ジャッキについて7-38
バニティミラー 7-28	 ジャッキ使用上の警告・注意7-38
バニティミラーの使いかた7-28	8 いざというときの対
ルームランプ 7-29	◎・いどというとどの別
イルミネーテッドエントリーシス テムについて7-29	, = .= ,
イルミネーテッドエントリーシス	緊急を要するとき 8-4
テムの使いかた7-29	事故に対処する8-4
ルームランプの使いかた7-30	マツダエマージェンシーコールを 利用する8-4
トランクルームランプの使いか た7-30	
	する8-5
電源ソケット 7-31	
電源ソケットについて7-31	
電源ソケット使用上の警告・注意	

......7-31

車両が動けなくなったとき 8-6	オーバーヒートしたとき 8-19
路上で動けなくなったときの対処 をする8-6 踏切内で動けなくなったときの対 処をする8-6 スタックしたときの対処をする8-7	オーバーヒートを処置する8-19 パンクやバースト (破裂) した とき 8-20 パンクやバースト (破裂) に対処
フューエルリッドが開けられ なくなったとき 8-8	する8-20 タイヤパンク応急修理キットを 使う8-20
フューエルリッド を荷室から開ける8-8	ルーフが閉められなくなった とき 8-26
けん引が必要なとき 8-9 けん引してもらう8-9 けん引フックを使う8-10	ルーフを手動で閉める8-26 トランクリッドが開けられな
キーが作動しないとき 8-12 キーの一時停止機能を解除する 8-12	くなったとき 8-35 トランクリッドを車内から開け る8-35
補助キーを使って施錠・解錠する8-12 電池切れしたキーでエンジンを始 動する8-13	パワーウインドーが操作でき ないとき 8-40
エンジンかからないとき 8-14	自動開閉機構を復帰する8-40 はさみ込み防止機構を解除する8-40
12V バッテリーあがりを処置す る8-14	フロントワイパーが高速作動 するとき 8-41
エンジンが停止できないと き 8-17	マツダ販売店で点検を受ける8-41 ウォッシャー液が噴射しない
エンジンを強制的に停止する8-17 セレクトレバーが操作できな	とき 8-42 ウォッシャータンクの液量を確認 する8-42
いとき 8-18 シフトロック装置を解除する (オー トマチック車) 8-18	警告灯が点灯したとき 8-43 警告灯について8-43

ブレーキ警告灯 8-43	電源オフ忘れ警告チャイム8-58
充電警告灯8-44	キー車外持ち出し警報チャイム 8-58
オイル警告灯8-44	キー車内閉じ込み警報チャイム 8-59
高水温警告灯8-45	トランク内キー閉じ込み警報チャ
電動パワーステアリング警告灯 8-45	イム (アドバンストキーレス機能
ABS 警告灯 8-46	装備車)8-59
マスター警告灯 8-46	ドアロック不作動警告チャイム (ア ドバンストキーレス機能装備
電動バキュームポンプ警告灯8-47	車)8-60
エンジン警告灯 8-47	電動ハンドルロック警告チャイ
i-stop 警告灯 (橙)8-48	ム8-60
i-ELOOP 警告灯 (橙)8-48	ブレーキシステム警告チャイム 8-61
TCS/DSC 作動表示/表示灯8-49	12V バッテリー充電量低下チャイ
DSC-TRACK 表示灯8-49	ム8-61
エアバッグ/シートベルトプリテン ショナー警告灯8-50	Alexa が作動しないとき
アクティブボンネット警告灯 8-50	8-62
KEY 警告灯 (赤)8-51	Alexa の設定を確認する8-62
セキュリティ表示灯8-51	
リトラクタブルハードトップ警	└9│点検整備する/お手
告灯8-52	
ハイ・ビーム・コントロールシステ	入れする
ム (HBC) 警告灯 (橙) 8-52	点検、整備 9-2
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告灯 (橙)8-53	
i-ACTIVSENSE 警告灯8-53	点検整備について9-2
エクステリアランプ警告灯8-54	定期点検 9-3
燃料残量警告灯8-54	定期点検のしかた9-3
シートベルト警告灯8-55	
半ドア警告灯/トランクリッド開警	日常点検 9-4
告灯8-55	日常点検について9-4
KEY 表示灯 (緑) (点滅)8-56	日常点検についての警告・注意9-4
レンチ表示灯8-56	
T. 11154 + 11 + 0 F7	
チャイムがなったとき 8-57	エンジンルーム内の点検 9-5
ナヤイムかなったとさ 8-57 ランプ消し忘れ防止チャイム8-57	9-5

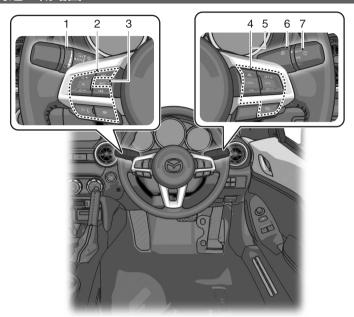
ウォッシャー液を補充する9-6 12V バッテリーを点検する9-7 車両外観の点検 9-8 点検項目と点検箇所を確認する9-8 ワイパーブレードゴムを交換する9-8	布張り、合成皮革部分をお手入れ する
タイヤを点検する	車両スペック 10-2 12 V バッテリー
インストルメントパネル上面をお 手入れする9-32	エアクリーナーエレメント10-21

1 各部の名称

ハンドル周辺概略図 1-2 ハンドル周辺の概略図 1-2	
運転席周辺概略図	
インストルメントパネル周辺概略 図1-4 インストルメントパネル周辺の概 略図1-4	

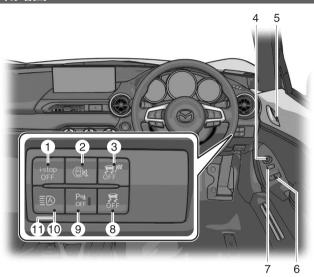
車室内概略図 室内の概略図	
車両外観フロント概略図 車両外側フロントの概略	
図	1-7
車両外観リア概略図 車両外側リアの概略図	

ハンドル周辺の概略図



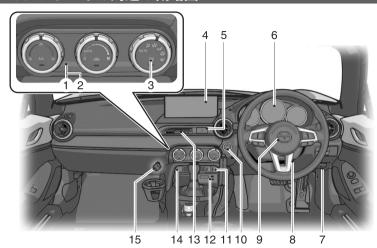
1	ワイパー/ウォッシャースイッチ	5-56 ページ
2	オーディオリモートコントロールスイッチ	7-8 ページ
	INFO スイッチ	
(4)	マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) スイッチ	5-112 ページ
	クルーズコントロールスイッチ	
(<u>6</u>)	方向指示器	5-55 ページ
$(\overline{7})$	ランプスイッチ	5-51 ページ

運転席周辺の概略図



(1)	ı-stop OFF スイッチ	5-15 ページ
2	i-ACTIVSENSE ミュートスイッチ	5-81 ページ
3	DSC-TRACK スイッチ	5-70 ページ
4	ドアミラースイッチ	5-7 ページ
(5)	ドアロックノブ	4-10 ページ
6	パワーウインドースイッチ	4-18 ページ
7	パワーウインドーロックスイッチ	4-18 ページ
8	DSC OFF スイッチ	5-67 ページ
9	パーキングセンサー OFF スイッチ	5-136 ページ
10	アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) スイッチ	5-92 ページ
(11)	ハイ・ビール・コントローリシフテン (UPC) フィッチ	E 00 № — \$

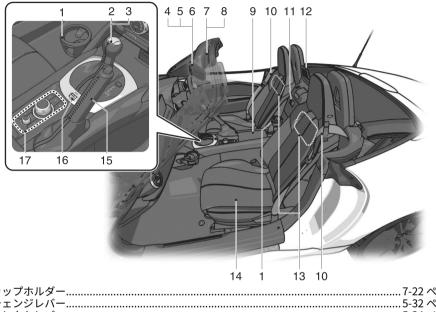
インストルメントパネル周辺の概略図



1	フルオートエアコン	6-2	ページ
	マニュアルエアコン		
	リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ		
4	マツダコネクト	7-4	ページ
(5)	非常点滅表示灯スイッチ	.5-61	ページ
6	メーター	.5-17	ページ
7	ボンネットオープナー	4-15	ページ
(8)	ハンドル調節レバー	.3-16	ページ
9	ホーン	.5-62	ページ
(10)	プッシュボタンスタート	5-9	ページ
(11)	シートヒータースイッチ	.6-18	ページ
	USB ポート/SD カードスロット		
(13)	吹き出し口	6-2	ページ
	リトラクタブルハードトップスイッチ		
(15)	電源ソケット	7-32	ページ

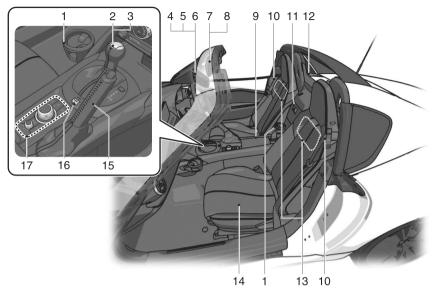
室内の概略図

ソフトトップ



(1)	カップホルター	7-22 ページ
2	チェンジレバー	5-32 ページ
3	セレクトレバー	5-34 ページ
	ルームミラー	
(5)	SOS ボタン	7-20 ページ
	ルームランプ	
7	サンバイザー	7-27 ページ
8	バニティミラー	7-28 ページ
9	センターコンソールボックス	7-24 ページ
10	シートベルト	3-9 ページ
(11)	リアコンソールボックス	7-25 ページ
(12)	エアロボード	7-33 ページ
(13)	リアストレージボックス	7-26 ページ
	シート	
	パーキングブレーキ	
	ドライブセレクションスイッチ	
(17)	コマンダースイッチ	7-8 ページ

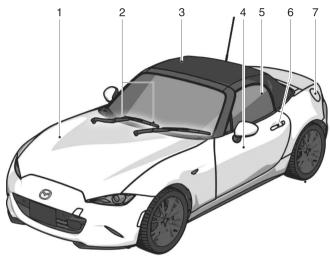
ハードトップ



(1)	カップホルダー	7-22 ページ
	チェンジレバー	
	セレクトレバー	
	ルームミラー	
(5)	SOS ボタン	7-20 ページ
	ルームランプ	
(7)	サンバイザー	7-27 ページ
	バニティミラー	
9	センターコンソールボックス	7-24 ページ
	シートベルト	
(11)	リアコンソールボックス	7-25 ページ
(12)	エアロボード	7-33 ページ
	リアストレージボックス	
	シート	
(15)	パーキングブレーキ	5-45 ページ
	コマンダースイッチ	

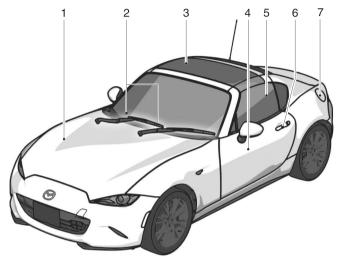
車両外側フロントの概略図

ソフトトップ



(1)	ボンネット	4-15	ページ
(2)	ワイパー	5-56	ページ
	ソフトトップ		
(4)	ドア	4-10	ページ
	ウインドー		
	リクエストスイッチ		
		5-76	

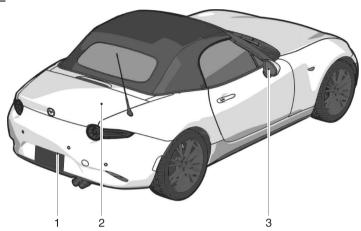
ハードトップ



1	ボンネット	4-15 ページ
	ワイパー	
	リトラクタブルハードトップ	
	ドア	
	ウインドー	
	リクエストスイッチ	
	フューエルリッド	5-76ページ

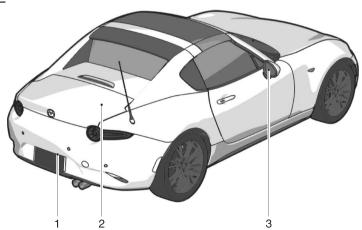
車両外側リアの概略図

ソフトトップ



1	電磁式トランクリッドオープナー	4-14 ページ
2	トランクリッド	4-14 ページ
	ドフミニー	F 7 ページ

ハードトップ



(1)	電磁式トランクリッドオープナー	. 4-14 ペ	ージ
2	トランクリッド	4-14 ペ	ージ
(3)	ドアミラー	5-7 ペ	ージ

MEMO

2 はじめにお読みください

守っていただきたいこと	
駐停車時に守っていただきた	
こと	. 2-2
車に記録されるデータ	2-3
EDR (イベントデータレコータ	" —)
について	
車両データを記録するコンピ	
ーターについて	. 2-3

ドライバーの画像などを記録 コンピューターについて データの取り扱いについて	2-4
 ープンソースソフトウェア情 	

駐停車時に守っていただきたいこ と

\triangle

警告

お子さまだけを車内に残さない。

炎天下の車内は高温になり、命に関わる可能性があります。

お子さまのいたずらなどで、装置の作動、車の発進など思わぬ事故につながる可能性があります。

⚠ 注意

- ➤ 高温になると車両火災につながる物を車内に放置しないでください。 炎天下の車内は高温になる可能性があります。
- ▶ 車は燃えやすい物のない場所に停めてく ださい。
- 対レージの中や積雪した場所など、換気の悪い場所でエンジンをかけたままにしないでください。 排気管や排気音に異常を感じたときは点

検を受けてください。 一酸化炭素中毒になる危険性がありま

す。 ➤ エンジンをかけたまま車内で寝ないでく ださい。 意図せず車が動くなどの危険性がありま す。

EDR (イベントデータレコーダー) について

衝突などのときのデータを記録する EDR を装備しています。

EDR は次のような情報を記録します。

- ・車速
- ・運転席乗員のシートベルト装着有無
- ・助手席乗員のシートベルト装着有無
- ・エアバッグ作動に関する情報 (加速度波形など)
- ・エアバッグシステムの故障診断情報

個人情報 (氏名・性別・年齢・衝突場所) は記録しません。

車両データを記録するコンピュー ターについて

車両の制御や操作、走行環境に関するデータ記録するコンピューターを装備しています。 このコンピューターは次のような情報を記録します。

- ・エンジンの回転数や車速など、車両の状態
- ・アクセル/ブレーキなどの運転状態·車両走行 時の環境情報
- ・車載されるコンピューターの故障診断の情報
- ・その他、車載されるコンピューターの制御に 関する情報

記録される情報はお車のグレードや装備により 異なります。

個人情報 (氏名・性別・年齢・衝突場所) は記録し ません。

ドライバーの画像などを記録する コンピューターについて

ドライバーの異常検知時の情報を記録するコン ピューターを装備しています。

このコンピューターは次のような情報を記録し ます。

- ・車両に搭載されているカメラで撮影した静止 画像
- ・i-ACTIVSENSE の作動に関するデータ

記録される情報はお車のグレードや装備により 異なります。

音声は記録しません。

データの取り扱いについて

マツダおよびマツダの委託先は、EDR、車両データを記録するコンピューター、ドライバーの画像などを記録するコンピューターに記録されたデータを、車両の故障診断・研究開発・品質の向上を目的に取得・利用することがあります。なお、取得したデータは次の場合を除き、第三者へ開示・提供することはありません。

- ・お車の使用者の同意 (リースは貸借主の同意) がある場合
- ・警察・裁判所・政府機関などの法的強制力のある要請に基づく場合
- ・統計的な処理を行なうなどの使用者や車両が 特定されないように加工したデータを研究機 関などに提供する場合

メーター

この製品は、フリー/オープンソースを含みます。 ライセンスおよびソースコードについての情報は、次の Web サイトから入手することができます。 https://www.nippon-seiki.co.jp/business_ic_meter/

2-5

MEMO

乗員/歩行者を保護する装備

、 3-2 = 3-3 力 3-6
二 3-3 力
二 3-3 力
3-3 ታ
力
2 0
3-9 3-9
3-9
2 0
3-9
-12
-13
-13
-14
-15
-
_ -15
-15

ハンドル	3-16
ハンドル使用上の警告・注	
意	
ハンドル調節のしかた	3-16
お子さま専用シート	
お子さま専用シートについ	
て	3-17
お子さま専用シート使用上の	警
告·注意	3-17
お子さま専用シートの種類に	
いて	
シート位置別お子さま専用シ	·—
ト選択の目安表	
チャイルドシートの取り付け	
ついて	
J01 C	3-24
→ ← → → . →	
アクティブボンネット	
アクティブボンネットについ	
て	
アクティブボンネット使用上	の警
告·注意	3-25
アクティブボンネットの作動	につ
1.7	

SRS エアバッグシステムについて

エアバッグは、車両の電源が ON のとき車両前方または側方から強い衝撃を受けると瞬間的に膨らみ、運転者および同乗者の頭部や胸部などへの衝撃をやわらげます。

SRS エアバッグシステムはシートベルトを補助 することで乗員を保護する装置であり、シート ベルトに代わるものではありません。 エアバッグは 3 種類あります。

運転席エアバッグ

運転席エアバッグはハンドルの中央に格納されています。



助手席エアバッグ

助手席エアバッグはインストルメントパネルに 格納されています。助手席に同乗者がいなくて も運転席エアバッグと同時に膨らみます。



サイドエアバッグ*

サイドエアバッグはシート背もたれの外側部分 に格納されています。

側面衝突時

乗員の有無に関係なく衝撃を受けた側のサイド エアバッグが膨らみます。



横転時

車両の横転時に両側のサイドエアバッグが膨ら みます。



SRS エアバッグシステム使用上の 警告・注意

⚠ 警告

お車に乗る前に

運転者はもちろん、同乗者も必ずシートベルトを着用する。

SRS エアバッグシステムはシートベルトと 併用することで効果を発揮します。シート ベルトを着用していないと、重大な傷害につ ながるおそれがあります。

シートに座ったときは

ハンドル中央部に手を置いたり、顔や体を 近づけたりしない。

エアバッグが作動したときに、強い衝撃を受け重大な傷害につながるおそれがあります。



⚠ 警告

シートの前端に座ったり、インストルメントパネルにもたれかかったり、手や顔を近づけない。

エアバッグが作動したときに強い衝撃を受 け重大な傷害につながるおそれがありま す。



お子さまを乗せるときは

お子さまにも必ずシートベルトを着用させ

シートベルトが首や顔などにあたるなどして、腰骨に正しく着用できないお子さまには、別売りのチャイルドシート、ジュニアシートをお使いください。お子さまがエアバッグの前に立っていたり、正しい姿勢で座っていなかったりすると、エアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、おざるおそれがあり危険です。



҈ 警告

こんなことにも注意

ハンドルを交換しない。また、パッド部に ステッカーなどを貼り付けたりしない。 万一の場合エアバッグが正常に作動しなく なり、重大な傷害につながるおそれがあり ます。



インストルメントパネル上下部にステッカ ーを貼り付けたり、芳香剤、アクセサリー用 品、手荷物などの物を置いたりしない。ま た、ルームミラーにワイドミラーを取り付け ない。

エアバッグが正常に作動しなくなったり、エ アバッグが膨らむときにこれらの物が飛散 したりするなど、重大な傷害につながるお それがあります。



車両前部にグリルガードなどを装着しない。 SRS エアバッグシステムに影響をおよぼす ため、万一の場合エアバッグが正常に作動し なくなり、重大な傷害につながるおそれが あります。

サスペンションの改造をしない。

車高やサスペンションの硬さが変わると、衝 撃を正しく検知できないため、エアバッグが 正常に作動しなくなったり、誤って作動した りするなど、重大な傷害につながるおそれ があります。

警告

SRS エアバッグシステムの部品や配線を修 理したり、電気テスターを使って、SRS エア バッグシステムの回路診断をしたりしない。 正常に作動しなくなったり、誤って作動した りするなど、重大な傷害につながるおそれ があります。

メンテナンスや廃車について

事故後は必ずマツダ販売店で点検を受け

エアバッグが作動しない程度の事故であっ ても、事故の衝撃でシステム本来の機能を捐 なっているおそれがあるため、万一の場合エ アバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷 害につながるおそれがあります。

次のような作業が必要なときは、必ずマツ ダ販売店に相談する。

次の作業を行なうとエアバッグが正常に作 動しなくなったり、誤って作動したりするな ど、重大な傷害につながるおそれがありま す。

- ➤ SRS エアバッグの取りはずし、取り付け、 分解、修理
- ▶ ハンドルまたは周辺部品の取りはずし、 取り付け、分解、修理
- ▶ インストルメントパネルまたは周辺部品 の取りはずし、取り付け、分解、修理
- ▶ シートの交換、取りはずし、取り付け、分 解、修理
- 車両前部または側部の修理
- ▶ 室内の電装品の取りはずし、取り付け

車を廃車にする場合は、必ずマツダ販売店 に相談する。

不意にエアバッグが作動し、重大な傷害につ ながるおそれがあります。

⚠ 警告

サイドエアバッグについて

シート背もたれの外側部分に手、足、顔を近 づけた姿勢で座らない。

シートに座ったときは、ドアにもたれかかったり、窓から腕を出したりしないでください。 サイドエアバッグが作動したときに強い衝撃を受け、重大な傷害につながるおそれがあります。



シートにシートカバーを使用しない。 シートカバーを使用するとサイドエアバッ グが正常に作動しなくなり、重大な傷害に つながるおそれがあります。

ドアやシート付近にカップホルダーなどの アクセサリー用品を取り付けない。 サイドエアバッグが膨らむときにこれらの 物が飛散し、重大な傷害につながるおそれ

シートの下に荷物などを置かない。

があります。

シートの下部にあるサイドエアバッグの配線が損傷し、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- エアバッグが作動した直後は、しばらくの間エアバッグ取り付け部をさわらないでください。エアバッグが作動すると高温になるため、やけどをするおそれがあります。
- ドアを閉じるときは窓ガラスが割れるほど強く閉めないでください。サイドエアバッグが作動するおそれがあります。

エアバッグの作動について

- エアバッグは瞬時に膨らむため、エアバッグとの接触により打撲やすり傷など、 けがをするおそれがあります。
- ➤ エアバッグが膨らむと白煙が出ますが、 火災ではありません。また、人体への影響はありません。ただし、皮膚などの弱い方はまれに刺激を受けることがあります。エアバッグ作動時の残留物(カス)が目や皮膚に付着したときは、できるだけ早く洗い流してください。
- エアバッグは一度膨らむと再使用できません。マツダ販売店で交換してください。
- ▶ 助手席エアバッグが膨らむときにフロントガラスが破損することがあります。

SRS エアバッグシステムの作動について

運転席/助手席エアバッグは正面衝突において、サイドエアバッグは側面衝突において、強い衝撃を受けたときに作動します。

車両に衝撃を受けても、エアバッグが必ずしも作動するとは限りません。

エアバッグが作動しにくいとき

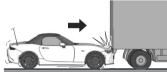
次のようなときには、衝撃の大きさによって作動しないことがあります。

運転席/助手席エアバッグ

(立木や電柱に衝突したとき)



(トラックの下などに潜り込んだとき)



(斜め前方に衝突したとき)



サイドエアバッグ

(斜め前方に衝突したとき)



(前方または後方に回転したとき)



(車両の側面 (運転者または助手席同乗者付近) から立木や電柱に衝突したとき)



(2輪車が側面に衝突したとき)



エアバッグが作動しないとき

次のようなときには作動しません。

運転席/助手席エアバッグ

(後ろ方向から衝突されたとき)



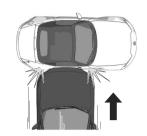
(横転や転覆したとき)



(前方または後方に回転したとき)



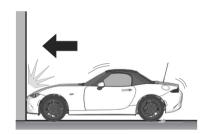
(横方向から衝突されたとき)



サイドエアバッグ (後ろ方向から衝突されたとき)



(正面衝突したとき)



シートベルトについて

シートベルトは、事故や突然の停止時に重傷を 負う可能性を減らすのに役立ちます。 シートベルトには3つ機構があります。

ELR (緊急時固定) 機構

シートベルトは体の動きにあわせて伸縮します が、強い衝撃を受けると、ベルトが自動的にロッ クされ体を固定します。

プリテンショナー機構

車両前方または側方から強い衝撃を受けたり、 横転したりすると、シートベルトを引き込み、シ - トベルトの効果をより高める装置です。 衝突が検出されると、プリテンショナーはエア バッグと同時に展開します。 シートベルトリトラクター(巻き取り装置)は、 エアバッグが膨張するときにたるみを素早く取 り除きます。

ロードリミッター機構

車両前方から強い衝撃を受けたときなど、シー トベルトに一定以上の荷重がかからないように 作動する装置です。シートベルトにかかる荷重 を規定値に保つことで、乗員の胸に加わる力を 減少させます。

プリテンショナーが作動していない場合でも、 ロードリミッター機構は専門の修理業者がチェ ックする必要があります(マツダ認定修理業者 をおすすめします)。

二 知識

- ・プリテンショナー機構は、車両前方また は側方から強い衝撃を受けたとき作動し ますが、衝撃が弱いと作動しません。
- ・プリテンショナー機構の作動により、白 煙が見えることがありますが、火災では ありません。また、人体への影響はあり ません。ただし、皮膚などの弱い方はま れに刺激を受けることがあります。プリ テンショナー機構作動時の残留物(カス) が目や皮膚に付着したときは、できるだ け早く洗い流してください。

シートベルト使用上の警告・注意

҈ 警告

シートベルトは全員が正しく着用する。

着用しないと体が拘束されないため、急ブ レーキ時や衝突時に車内の物に打ちつけら れたり、車外に放りだされたりするなど、重 大な傷害につながるおそれがあります。

1つのシートベルトを同時に2人以上で使 用しない。

2人以上で使用すると、万一の場合シートベ ルトの効果が十分に発揮できないため、重 大な傷害につながるおそれがあります。

クリップなどでシートベルトにたるみをつ けない。

万一の場合シートベルトの効果が十分に発 揮できないため、重大な傷害につながるお それがあります。

ベルトがねじれた状態で使用しない。

ねじれがあると、万一の場合衝撃力が分散 できず局部的に強い力を受けるため、重大 な事故につながるおそれがあります。

眉ベルトを肩の中央にかけて着用する。腕 の下に通して着用しない。

ベルトが肩に十分かかっていないと急ブレ ーキ時や衝突時に、体が前方に投げ出され、 重大な傷害につながるおそれがあります。

背もたれは倒しすぎない。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベル トの下にすべり込み、シートベルトの効果が 十分に発揮できないため、重大な傷害につ ながるおそれがあります。

腰部ベルトは必ず腰骨のできるだけ低い位 置に密着させる。

シートベルトが腰骨からずれていると、急ブ レーキ時や衝突時に、腹部に強い圧迫を受 け、重大な傷害につながるおそれがありま す。

҈ 警告

妊娠中の女性や疾患のあるかたもシートベ ルトを着用する。

ただし、急ブレーキ時や衝突時、局部的に強 い力を受けるおそれがあるため医師に相談 し、注意事項を確認してください。腰部ベル トは腹部を避けて腰骨のできるだけ低い位 置に密着させてください。また、肩ベルトは 肩に十分かかるようにし、腹部を避けて胸 部に密着させてください。



シートベルトのバックルの中に異物を入れ ない。

異物が入るとプレートがバックルに完全に はまらず、シートベルトの効果が十分に発 揮できないため、重大な傷害につながるお それがあります。

警告

お子さまを乗せるときは

お子さまにも必ずシートベルトを着用させ

お子さまを抱いたり、ひざの上に乗せたり すると、急ブレーキ時や衝突時に十分に支 えることができず、お子さまが投げ出された り押しつぶされ、重大な傷害につながるおそ れがあります。



シートベルトが首や顔などにあたるなどし て、腰骨に正しく着用できないお子さまに は、別売りのチャイルドシート、ジュニアシ ートを使用する。

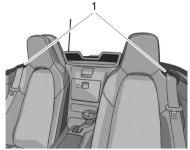
シートベルトは成人サイズの方の乗員によ る着用を目的としています。

チャイルドシート、ジュニアシートを使用し ないと、万一の場合シートベルトの効果が 十分に発揮できないため、重大な傷害につ ながるおそれがあります。

҈ 警告

シートベルトを着用するときはシートベル トガイドに必ず通す。

通さずに使用すると万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な障害につながるおそれがあります。



1. シートベルトガイド メンテナンスについて

ます。

シートベルトを分解・改造・交換しない。 万一の場合、シートベルトの効果が十分に 発揮できないため、重大な傷害につながる おそれがあります。

事故などにあったときは、必ずマツダ販売 店で点検を受ける。

プリテンショナー付きシートベルトおよびロードリミッター付きシートベルトは、一度作動すると再使用できません。 そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあり

車を廃車される場合は、必ずマツダ販売店 に相談する。

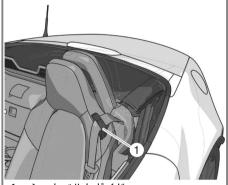
プリテンショナー機構が不意に作動し、重 大な傷害につながるおそれがあります。

プリテンショナー機構の部品や配線を修理 したり、電気テスターを使ってプリテンショ ナー機構の回路診断をしたりしない。

正常に作動しなくなったり、誤って作動したりするなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルトやシートベルトガイドが汚れると、ベルトの巻き取りが悪くなるので汚れを取ってください。

シートベルトのお手入れについては 9-34 ページを参照してください。



1. シートベルトガイド

シートベルトの使いかた

シートベルトを着用するとき

シートベルトは、着用する前にシートベルトが シートベルトガイドに正しく通っていること と、ねじれていないことを確認してください。



- 1. 上体を起こし、シートに深く腰かける。
- プレートを持って、ベルトをゆっくり引き出す。



□ 知識

ベルトがロックして引き出せないときは、一度ベルトを巻き取らせてからゆっくり引き出してください。それでも引き出せないときは、一度ベルトを強く引っ張ってからベルトをゆるめ、再度ゆっくり引き出してください。

3. ベルトにねじれがないかを確認する。

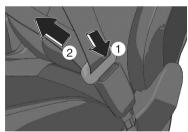
4. プレートをバックルにカチッと音がするまで差し込む。



5. ベルトを腰骨のできるだけ低い位置に密着させ、肩に十分かける。 ベルトが首、あご、顔などにあたらないようにしてください。



シートベルトをはずすとき



ベルトにねじれがないかを確認しながら、ゆっくりと巻き取らせる。

シート使用上の警告・注意

⚠ 警告

シート各部の調節は、必ず走行前に行なう。 走行中に行なうと、必要以上にシートが動いて姿勢が不安定になり、思わぬ事故につながるおそれがあります。

シートが損傷した場合は必ずマツダ販売店 で点検を受ける。

エアバッグが作動しない程度の事故であっても、事故の衝撃でシート内部のエアバッグシステムの部品が本来の機能を損なっているおそれがあるため、万一の場合エアバッグが正常に作動しなくなり、重大な傷害につながるおそれがあります。 衝突後やシートクッションが破れたり、ウレタンまで達するほどの損傷の場合は、必ずマツダ販売店で占検を受けてください。

背もたれは倒しすぎない。

急ブレーキ時や衝突時に、体がシートベルトの下にすべり込み、シートベルトの効果が十分発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

背もたれと背中の間にクッションなどを入 れない。

正しい運転姿勢がとれないばかりか、衝突時にシートベルトなど拘束装置の効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートの下に物を置かない。

物がはさまってシートが固定されず、思わぬ 事故につながるおそれがあります。

操作後は確実にロックされていることを確 認する。

走行中シートが不意に動くと姿勢が不安定 になるため、思わぬ事故につながるおそれ があります。

⚠ 注意

- シートを操作するときは、シートの動く 部品周辺などに手や指を置かないでくだ さい。手や指を置いているとけがをする おそれがあります。
- > シートを前後に動かすときや、後ろに倒した背もたれをもとにもどすときは、必ず背もたれを押さえながら操作してください。背もたれを押さえずに操作すると、シートが急に動き、けがをするおそれがあります。
- ▶ 車室内を清掃したり、シートの下に落としたものを拾ったりするためにシートの下に手を入れるときは、けがをしないように注意してください。シートレールやシートフレーム、シート下周辺の可動部、および周辺部品にあたり、けがをするおそれがあります。
- シートの周りには物を置かないでください。物がある状態でシートを操作するとシートに無理な力がかかり損傷するおそれがあります。
- 急な坂道でのシート操作はしないでください。シートが不意に動き、けがをするおそれがあります。

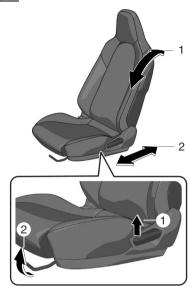
シートの使いかた

運転席



- 1. 角度調節
- 2. シート前端高さ調節
- 3. 前後調節

助手席



- 1. 角度調節
- 2. 前後調節

ヘッドレスト (シート一体式) につ いて

シートにはシート一体式のヘッドレストが装備 されています。

ヘッドレストは、万一のときに、むち打ち症や他 のけがから乗員を保護します。

ヘッドレスト (シート一体式) 使用 上の警告・注意



҈ 警告

走行する前にシートの背もたれが適切に調 節されていることを確認する。

シートの背もたれを調節しないまま走行す ると、急ブレーキ時や衝突時、頭の後ろを支 えられず頭部への衝撃を防ぐことができな くなり、重大な傷害につながるおそれがあ ります。

ハンドル使用上の警告・注意

⚠ 警告

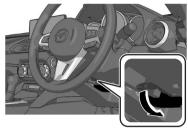
調節は必ず車両を停止した状態で行なう。 走行中に調節すると、運転姿勢が不安定に なるため、思わぬ事故につながるおそれが あります。

調節後は、ハンドルを上下にゆさぶり、確実 に固定されていることを確認する。

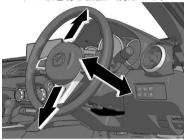
走行中ハンドルが不意に動くと運転姿勢が 不安定になるため、思わぬ事故につながる おそれがあります。

ハンドル調節のしかた

1.



2. ハンドルを適切な位置に調節する。



3. レバーを引き上げてハンドルを固定する。

お子さま専用シートについて

シートベルトが首や顔などにあたったり、腰骨に正しく着用できなかったりするお子さまを乗せるときは、お子さま専用シートをお使いください。

車両に固定するお子さま専用シートには、シートベルト固定タイプ、または ISOFIX 対応タイプ の 2 種類があります。

シートベルト固定タイプのチャイルドシート は、助手席のシートベルトを使用してシートに 固定します。

この車両は、ISOFIX 対応チャイルドシート固定 ロアアンカレッジが装備されていない ため、 ISOFIX 対応タイプのチャイルドシートを取り 付けることができません。

お子さま専用シートによっては、取り付けができない、または取り付けが困難な場合があります。必ずお子さま専用シートに付属の取扱説明書をよくお読みのうえ、確実に取り付け、使用方法を守ってください。



知識

ISO は International Organization for Standardization (国際標準化機構) の略で す。

お子さま専用シート使用上の警 告・注意



警告

お子さまの首や顔などにシートベルトがあたったり、腰骨に正しく着用できない場合は、お子さまの年齢や体の大きさに合ったお子さま専用シートを使う。

お子さま専用シートを使用しないと、急ブレーキ時や衝突時にお子さまが投げ出されたり押しつぶされ、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さま専用シートを取り付けるときは、 商品に付属している取扱説明書に従う。

正しく取り付けられていないと、急ブレーキ時や衝突時に、重大な傷害につながるおそれがあります。

助手席には絶対にチャイルドシートを後ろ 向きに取り付けない。

エアバッグの作動可能な助手席には、後向き 幼児拘束装置を絶対に使用しないでください。幼児が死亡したり、重傷を負ったりする可能性があります。 やむをえず助手席に チャイルドシートを取り付けるときは、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで 移動させてください。

助手席エアバッグ装備車には図のような警告ラベルが貼付されています。この警告ラベルは、助手席に後ろ向きチャイルドシートを取り付けてはいけないということを示しています。



҈ 警告

警告ラベル



シート位置別お子さま専用シート選択の目 安表

お子さま専用シートを取り付けるときは、 必ず選択の目安表を確認する。

誤った取り付けをすると正しく固定され ず、急ブレーキや衝突時に、重大な傷害につ ながるおそれがあります。

⚠ 注意

シートを前後に動かすときは、必ず背もた れを押さえながら操作してください。背も たれを押さえずに操作すると、シートが急 に動き、けがをするおそれがあります。

お子さま専用シートの種類について

UN-R 44 および UN-R 129 法規に適合するお子さま専用シートは、お子さまの体重によって次の 5 種類に分類されます。



知識

- ・UN-R は United Nations Regulation (国連規則) の略です。
- ・UN-R 44 および UN-R 129 法規は、お子さま専用シートに関する国連法規です。

グループ	体重	サイズ等級/器具 (CRF)
0	10kg まで	ISO/L1
		ISO/L2
		ISO/R1
0+	13kg まで	ISO/R1
		ISO/R2
		ISO/R3
ı	9∼18kg	ISO/R2
		ISO/R3
		ISO/F2
		ISO/F2X
		ISO/F3
II	15~25kg	_
III	22~36kg	_

本書では、3 種類のお子さま専用シートについて説明します。 取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。

ベビーシート

UN-R 44 および UN-R 129 法規のグループ 0、0+に相当



チャイルドシート

UN-R 44 および UN-R 129 法規のグループ I に相当



ジュニアシート

UN-R 44 および UN-R 129 法規のグループ II、IIIに相当



シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

お子さま専用シートは次の表を目安に選択してください。 詳しくはお子さま専用シート製造業者または販売業者にご相談ください。

シート位置別お子さま専用シート選択の目安表

S. 1.4-99	着座位置
シート位置	助手席
汎用ベルト式に適する着席位置	無 (L)
アイサイズ着席位置	Х
適する最大の後向き装具 (R1)	Х
適する最大の後向き装具 (R2)	Х
適する最大の後向き装具 (R2X)	Х
適する最大の後向き装具 (R3)	Х
適する最大の前向き装具 (F2)	Х
適する最大の前向き装具 (F2X)	Х
適する最大の前向き装具 (F3)	Х
適する最大の横向き装具 (L1)	Х
適する最大の横向き装具 (L2)	Х
適する最大のブースター装具(B2)	Х
適する最大のブースター装具(B3)	Х
サポートレッグ付装具に適した着席位置 (有/無)	無
ロアアンカレッジを備えるがトップテザーのない着席位置 (有/無)	無

上表の記号について:

U=全質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。 UF =全質量グループでの使用を認可された前向き「汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。

L = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリーのお子さま専用シートに適しています。対応する お子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

IUF =この質量グループでの使用を認可された「汎用」カテゴリー前向き ISOFIX チャイルドシートに適しています。

IL = 「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリーの ISOFIX チャイルドシートに適しています。対応するお子さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談ください。

i-U =前向きおよび後向きの i-Size「汎用」チャイルドシートに適しています。

i-UF =前向き i-Size「汎用」チャイルドシートのみに適しています。

有=装具を使用して、チャイルドシートを固定できる席です。

無=装具を使用して、チャイルドシートを固定できない、または装具がない席です。

X=お子さま専用シートを取り付けることはできません。

マツダ純正のお子さま専用シートを取り付けることができます。取り付けることのできるお子さま専用シートについては、アクセサリーカタログをご参照ください。

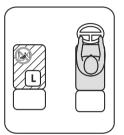


知識

- ・助手席にお子さま専用シートを取り付けるときは、シート位置をできるだけ後ろに調節してください。
 - →3-14ページ「シートの使いかた」
- ・助手席にお子さま専用シートを取り付けにくいときやお子さま専用シートがシートベルトでしっかり固定できないときは、次の操作をしてお子さま専用シートがシートベルトでしっかり固定できるようにシートを調節してください。
 - ・シートを前方または後方に動かす



・シートの背もたれを前後に動かす





シートベルトで固定するお子さま専用シート (ユニバーサルタイプ)に適しています。



: シートベルトで固定するお子さま専用シート (ユニバーサルタイプ)の前向きに取り付ける タイプに適しています。



:「特定車両」、「限定」または「準汎用」カテゴリーの お子さま専用シートに適しています。対応するお子 さま専用シートについてはマツダ販売店にご相談く ださい。



:ISOFIX 対応お子さま専用シートに適しています。



: i-Size および ISOFIX 対応お子さま専用シート に適しています。



: 前向きお子さま専用シートに適しています。



:後ろ向きのお子さま専用シートを取り付けないでください。



:お子さま専用シートを取り付けることはできません。



・トップテザーアンカレッジが装備されている 座席です。

チャイルドシートの取り付けにつ いて

シートベルトを使用するとき

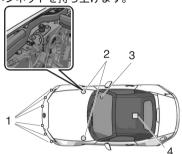
お子さま専用シートを取り付けるときは、商品に付属している取扱説明書に従ってください。 また、シート位置別お子さま専用シート選択の 目安表も参照ください。

→3-21 ページ「シート位置別お子さま専用シート選択の目安表」

また、必ず前向きに取り付け、シートを最後部まで移動させてください。

アクティブボンネットについて

万一、歩行者と衝突して、一定以上の衝撃が車両 前部に加わったとき、ボンネットの後端を瞬時 に持ち上げ、エンジンルーム内の部品との空間 を広く保つことで、歩行者の頭部がボンネット に衝突したときの衝撃をやわらげます。電源ポ ジションが ON のとき、作動速度範囲内で走行 中に、歩行者やその他の物体との衝突により、フ ロントバンパー裏に取り付けているセンサーが 一定以上の衝撃を感知すると、システムが作動 し、ボンネットを持ち上げます。



アクティブボンネット使用上の警 告·注意



警告

アクティブボンネットが作動したときは、必 ずマツダ販売店に相談する。

アクティブボンネットが作動したとき、ボン ネットオープナーを引くと、さらにボンネッ トが上がります。ボンネットが上がったま ま走行すると視界が妨げられ、おもわぬ事 故につながるおそれがあります。また、ボ ンネットを無理に押しもどさないでくださ い。作動したボンネットは手動では下げる ことができないため、ボンネットが変形し たり、思わぬケガをするおそれがあります。 アクティブボンネットが作動したあとマツ ダ販売店まで運転する場合は、持ち上がっ たボンネットが視界の妨げにならないこと を確認したあと、十分に速度を落とし注意 して運転してください。



⚠ 注意

- ▶ アクティブボンネットが作動した直後は、 アクチュエーターに触れないでくださ い。作動直後はアクチュエーターが熱く なっているため、やけどをするおそれが あります。
- ▶ ボンネットが完全に閉まっていないと、正 常に作動しないおそれがあります。走行 前に必ず確認してください。
- ▶ 電源ポジションを ON にしたあと、数秒 間はシステムが正常に作動しないことが あります。
- ▶4輪とも異常摩耗していない同一指定サ イズのタイヤを適正な空気圧で使用して ください。異常摩耗しているタイヤ、異 なるサイズ、適正でない空気圧のタイヤ を使用すると、システムが正常に作動し なくなるおそれがあります。
- ▶ フロントバンパー周辺に衝撃が加わった ときは、アクティブボンネットが作動しな くてもセンサーが損傷している可能性が あります。必ずマツダ販売店で点検を受 けてください。

⚠ 注意

- > アクティブボンネットの部品や配線を取りはずしたり修理しないでください。また、電気テスターを使ってシステムの回路診断をしないでください。誤って作動したり、正常に作動しないおそれがあります。修理や交換作業が必要なときはマツダ販売店にご相談ください。
- フロントバンパー、ボンネット、サスペンション、エアロパーツをマツダ純正品以外に交換しないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- > フロントバンパーにマツダ純正品以外を 取り付けないでください。また、ボンネットに物を取り付けないでください。システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ボンネットを強く閉めたり、アクチュエーターに荷重を加えないでください。アクチュエーターが損傷し、システムが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- サスペンションを改造しないでください。 車高やサスペンションの硬さが変わる と、システムが正常に作動しなくなるお それがあります。
- ➤ 部品を装着するときは、マツダ販売店に ご相談ください。不適切に取り付ける と、衝撃を正しく検知できず、正常に作動 しなくなるおそれがあります。
- 廃車にするときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。正しく取り扱わないと、思わぬ傷害を受けるおそれがあります。
- ➤ アクティブボンネットは、一度作動すると 再使用できません。マツダ販売店で交換 してください。

アクティブボンネットの作動につ いて

作動するとき、しないとき

作動するとき

次のような衝撃を受けたときに作動します。

- ・作動速度範囲での走行時、フロントバンパーに歩行者と同等、もしくはそれ以上の衝撃を正面から受けたとき(衝突したときにフロントバンパーに痕跡が残らないような場合でも、一定以上の衝撃が加われば作動します。また、軽い物、小さな動物や他の小さな物体でも衝突の状況、速度によっては作動することがあります。)
- ・その他に、次のような車両下部やフロントバンパーに衝撃を受けたときも作動することがあります。
 - ・縁石に衝突したとき
 - ・深い溝や穴に落ち込んだとき
 - ジャンプして地面にぶつけたとき
 - ・駐車場のスロープ、うねりのある道路、突 起物や落下物などにぶつけたとき

作動しにくいとき

次のような場合は、衝撃を感知しにくいため、作 動しないことがあります。

- ・走行中、フロントバンパーの左右の角や側面 に歩行者がぶつかったとき
- ・かばんなど衝撃を吸収できるものを携帯した 歩行者と衝突したとき

作動しないとき

次のようなときには作動しません。

- ・作動速度範囲外での走行時にフロントバンパーが衝撃を受けたとき
- ・横方向や後部から衝撃を受けたとき
- ・横転、転覆したとき (事故の状況、形態によっては、アクティブボンネットシステムが作動することがあります。)

4 開閉する

キー4-4 キーについて4-4 キー使用上の警告・注意4-4 キーの使いかた4-6 キーの便利な使いかた4-7
アドバンストキーレスエントリー& プッシュボタンスタートシステ ム
ドア4-10 ドア開閉時の警告・注意4-10 ドアの使いかた4-10 ドアの便利な使いかた4-12
トランク4-13 トランク使用上の警告・注 意4-13 トランクの使いかた4-14
ボンネット4-15 ボンネット使用上の警告・注 意4-15 ボンネットの使いかた4-15
ウインドー4-17 パワーウインドーについて 4-17

パワーウインドー使用上の消	E意・
警告 パワーウインドーの使いか	. 4-17
た パワーウィンドーの便利な偵	€し\
かた	
ソフトトップ	4-20
ソフトトップ使用上の警告・	注
意	.4-20
ソフトトップの概略図	
ソフトトップの使いかた	.4-22
リトラクタブルハードトップ	
リトラクタブルハードトッフ	
いて	. 4-25
リトラクタブルハードトッフ	使用
上の警告・注意	.4-25
リトラクタブルハードトップ	
略図 リトラクタブルハードトッフ	.4-27
いかた リトラクタブルハードトッフ	4-20 f か 佰
利な使いかた	
不りな 戻 0・27 7と	.4-50
盗難防止システム	/ 21
盆無防止システム イモビライザーシステムにつ	.4-31
てイ イモビライザーシステム使用	. ∓ 3 <u>1</u> ∃ ⊢ の
警告·注意	. 4-31
イモビライザーシステムの 倒	
かた	
バーグラアラームシステムに	
7	

バーグラアラームシステムの使い かた......4-33

MEMO

キーについて

キーのスイッチを押すと、すべてのドア、フューエルリッド、トランクリッドを施錠/解錠できます。

キーは必ず運転者が携帯してください。

キーナンバープレート

キーナンバープレートに打刻されたキーナンバーをもとに、マツダ販売店で補助キーを作ることができます。

- ・車両以外の安全な場所にキーナンバープレートを保管してください。
- ・お客さま以外の方にキーナンバーを知られないようにしてください。



キー使用上の警告・注意

⚠ 警告

車から離れるときは、お子さまとキーを車内に残さない。

お子さまのいたずらにより、装置の作動、車の発進、火災など思わぬ事故につながるお それがあります。

次にある以外の医療用機器を使用している 方は、キーの電波の影響を医師や医療用電 気機器製造業者などに確認する

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカー
- ▶ 植え込み型除細動器

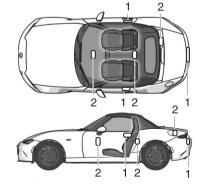
電波がペースメーカーなどの医療用機器に 悪影響をおよぼすおそれがあるため、アド バンストキーレス機能およびキーを取り出 すことなくエンジンの始動ができる機能を 停止させることができます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器の医療用機器を使用してい る方は、車内・車外のアンテナから約 22 cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をお よぼすおそれがあります。

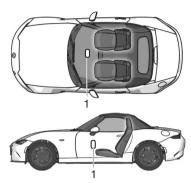
(アドバンストキーレス機能装備車)



- 1. 車外のアンテナ
- 2. 車内のアンテナ

҈ 警告

(アドバンストキーレス機能非装備車)



1. 車内のアンテナ

⚠ 注意

- ▶ キーは、微弱な電波を使用しています。 次のようなときはキーが正常に作動しないことがあります。
 - ▶ 携帯電話などの通信機器と一緒に携帯 しているとき
 - ▶ 金属製のものに接したり、覆われたり しているとき
 - ▶ パソコンなどの電化製品の近くに置い たとき
 - ▶ 純正品以外の電子機器を取り付けたとき
 - ▶ 近くに電波を発する設備があるとき
- ▶ キーは強い電波を受信すると、それに反応して電池を著しく消耗することがあります。テレビやパソコンなどの電化製品の近くに置かないでください。
- ▶ キーの故障を防ぐために次のことをお守りください。
 - ➤ 強い衝撃を与えたり、ぬらしたりしないでください。
 - ▶ 分解しないでください。
 - ▶ 重い物を上に置かないでください。
 - ▶ 直射日光があたる場所や高温になるところに放置しないでください。
 - ➤ 磁石や金属などの磁気を帯びた製品を 近づけないでください。

- ▶ システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。
- ▶ 航空機内ではキーを操作しないでください。

キーを航空機内へ持ち込むことは可能ですが、操作すると航空機の運航に支障を およぼすおそれがあります。

また、かばんやポケットなどで保管する 場合は、キーのスイッチが容易に押され ないように注意してください。

キーの使いかた

スイッチを押すと作動表示灯が点灯します。



- 1. 作動表示灯
- ロックスイッチ (山)
- アンロックスイッチ (屲)
- トランクスイッチ())

<u>ロックスイッチ</u>🗓

次の条件をすべて満たしているとき、ロックス イッチを押す。

- ・車両の電源が OFF のとき
- すべてのドアが閉まっているとき

ドア、トランクリッド、およびフューエルリッド が施錠し非常点滅灯が1回作動してチャイムが 1回鳴ります。



キーの操作により、ヘッドランプが点灯/消 灯します。

→5-53ページ「ランプスイッチの便利な使 いかた」

アンロックスイッチロ

車両の電源が OFF のとき、アンロックスイッチ

ドア、トランクリッド、およびフューエルリッド が解錠し非常点滅灯が2回作動しチャイムが2 回鳴ります。

トランクスイッチindo

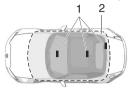
車両の電源が OFF のとき、トランクスイッチを 約1秒以上押す。

機能の作動範囲

キーを携帯して作動範囲に入り、所定の操作を したときのみ作動します。

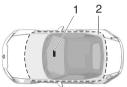
エンジンの始動

(アドバンストキーレス機能装備車)



- 1. 車内のアンテナ
- 2. 作動範囲

(アドバンストキーレス機能非装備車)



- 1. 車内のアンテナ
- 作動範囲

知識

- ・次のような場合は、キーの作動範囲が狭 くなったり、作動しなくなったりするこ とがあります。
 - ・電池が消耗しているとき
 - ・強い電波、ノイズを受けているとき
 - ・省電力モードのとき
- ・次のような場所にキーを置くと、エンジ ンの始動ができない場合があります。
 - ・インストルメントパネルの周辺
 - 小物入れなど
- ・荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始 動が可能になることがあります。 車外からでも、ドアや窓ガラスに近づき すぎた場合は、エンジンの始動が可能に なることがありますが、エンジンの始動 は必ず運転席で行なってください。

キーの便利な使いかた

オートリロック機能

アンロックスイッチを押して解錠した後、約30 秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場 合は、自動的に施錠されます。

- いずれかのドアまたはトランクリッドを開け る。
- ・車両の電源を OFF 以外にする。



🆺 知識

自動的に施錠されるまでの時間を変更でき ます。

マツダコネクト"設定"で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

節電機能

キーの節電機能を ON にすることで、キーを取 り出すことなく操作できる機能 (エンジンの始 動、ドア、トランクリッド、フューエルリッドの 施錠/解錠、トランクリッドを開ける)が OFF と なり、キーの電池消耗を抑えることができます。 節電機能が ON の状態でも、キーのスイッチ操 作は有効です。ただし、キーの作動表示灯は点 灯/点滅しません。

節電機能を ON にするとき

- 1. キーのロックスイッチを3秒以内に4回押 す。 キーの作動表示灯が点灯します。
- 2. キーの作動表示灯が点灯している間に、口 ックスイッチを 2 秒以上押す。 非常点滅灯とチャイムがそれぞれ1回作動 し、節電機能が ON になります。

節雷機能を OFF にするとき

- キーのロックスイッチを3秒以内に4回押 す。 キーの作動表示灯が点灯します。
- 2. キーの作動表示灯が点灯している間に、口 ックスイッチを 2 秒以上押す。 非常点滅灯とチャイムがそれぞれ1回作動 し、節電機能が OFF になります。

アドバンストキーレスエントリー &プッシュボタンスタートシステ ムについて*

アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムには、キーを取り出すことなく次のことができる機能があります。

- ・エンジンを始動する。
- ・ドア、フューエルリッド、トランクリッドを施 錠/解錠する。
- トランクリッドを開ける。

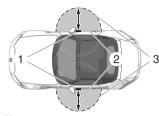
△ 知識

キーの節電機能が ON になっている場合、アドバンストキーレスエントリー&プッシュボタンスタートシステムは作動しません。アドバンストキーレスエントリー&ブッシュボタンスタートシステムが作動しない場合は、キーの節電機能が ON になっていないか確認してください。節電機能が ON になっているときは、キーの作動表示灯が点がしません。節電機能が ON になっているときは節電機能を OFF にしてください。→4-7ページ「キーの便利な使いかた」

アドバンストキーレスエントリー &プッシュボタンスタートシステ ムの使いかた

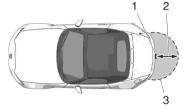
キーを携帯して作動範囲に入り、所定の操作を したときのみ作動します。

リクエストスイッチによる施錠/解錠



- 1. 車外のアンテナ
- 2. 80 cm
- 3. 作動範囲

電磁式トランクリッドオープナーによる解錠



- 1. 車外のアンテナ
- 2. 80 cm
- 3. 作動範囲

📖 知識

- ・次のような場合は、キーの作動範囲が狭くなったり、作動しなくなったりすることがあります。
 - ・雷池が消耗しているとき
 - ・強い電波、ノイズを受けているとき
 - ・節電機能が ON のとき
 - ・窓ガラス、ドアハンドル、トランクリッドに近づきすぎたとき
- ・次のような場所にキーを置くと、エンジンの始動ができない場合があります。
 - ・インストルメントパネルの周辺



🗋 知識

- ・小物入れなど
- ・次のような場所にキーを置いたまま車外 に出ると、電波の状況によっては、キーが 車内にあってもドアが施錠される場合が あります。
 - ・インストルメントパネルの周辺
 - 小物入れなど
 - ・携帯電話などの通信機器の近く
- ・荷室は作動範囲外ですが、エンジンの始動が可能になることがあります。 車外からでも、ドアや窓ガラスに近づきすぎた場合は、エンジンの始動が可能になることがありますが、エンジンの始動は必ず運転席で行なってください。

ドア開閉時の警告・注意

\bigwedge

警告

ドアを閉めた後は、確実にドアが閉まってい ることを確認する。

半ドアのまま走行すると、不意にドアが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ドアを開けるときは、周囲の安全を確認す る.

ドアを急に開けると、後続車や歩行者がぶつかるなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

お子さまにドアの開閉をさせない。

手、足、首などをはさみ、重大な傷害につな がるおそれがあります。

半ドア警告灯/警告表示が点灯/表示したま ま走行しない。

走行中にドアが開き、思わぬ事故につなが るおそれがあります。

⚠ 注意

- ▶ ドアを開閉するときは、強風や傾斜など 周囲の状況を確認して開閉してください。指をはさんだり、ドアが通行人にあたったりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- バッテリーあがりなどで自動で窓ガラスが上下作動しなくなったときは、窓ガラスを室内側へ押しながらゆっくり開閉してください。窓ガラスとソフトトップ/リトラクタブルハードトップが干渉してドアが開閉できなくなったり、窓ガラスが破損するおそれがあります。

ドアの使いかた



〕知識

ソフトトップの開閉により、自動で窓ガラスが下がります。これは操作性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなくだち場けであってください。→8-40ページ「自動開閉機構を復帰する」→8-40ページ「自動開閉機構を復帰する」

次の方法でドアを施錠/解錠することができま す。

施錠するときはキーの閉じ込み防止のため、キーを持っていることを確認してください。

キーで施錠/解錠する

キーの使い方については 4-6 ページを参照して ください。

<u>リクエストスイッチで施錠/解錠する (アドバン</u> ストキーレス機能装備車)

施錠

次の条件をすべて満たしているとき、リクエストスイッチを押す。

- ・車両の電源が OFF のとき
- すべてのドアが閉まっているとき
- ・キーがリクエストスイッチの作動範囲内にあ るとき



非常点滅灯とチャイムが 1 回作動し、すべての ドア、トランクリッドおよびフューエルリッド が施錠されます。

解錠

次の条件をすべて満たしているとき、リクエストスイッチを押す。

- ・車両の電源が OFF のとき
- ・運転席ドアが施錠されているとき
- ・キーがリクエストスイッチの作動範囲内にあ るとき



非常点滅灯とチャイムが2回作動し、すべてのドア、トランクリッドおよびフューエルリッドが解錠されます。

ドアロックノブで施錠/解錠する

運転席ドア

すべてのドア、トランクリッドおよびフューエルリッドが施錠/解錠されます。

助手席ドア

助手席ドアのみ施錠/解錠します。



- 1. 解錠
- 2. 施錠

車外からロックノブを使って施錠するとき

助手席ドアを開けた状態でロックノブを施錠側 にした後、ドアを閉めると施錠できます。

知識

- ・運転席ドアはキーの閉じ込みを防止する ために、ロックノブを施錠側にすると解 錠側にはね返るためこの方法では施錠で きません。
- ・キーの閉じ込みを防止するために、キー を持っていることを確認してから施錠し てください。

ドアの便利な使いかた

チャイム機能

ドア、トランクリッド、フューエルリッドを施錠/解錠したことを確認するチャイムの音量を変更することができます。

マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツ ダ販売店にご相談ください。

エリア離脱式オートロック機能

リクエストスイッチの作動範囲から出ると、自動的に施錠されるよう設定できます。

マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

キーを携帯して、すべてのドア、トランクリッド を閉めると、チャイムが1回鳴ります。

そのまま作動範囲から出ると、自動的に施錠されます(作動範囲から出なくても、約30秒後に自動的に施錠されます)。



知識

次のようなときは施錠されません。

- ・車内に別のキーがあるとき
- ・運転席ドアが既に施錠されているとき
- ・ドア、トランクが完全に閉まる前に作動 範囲を出たとき

オートリロック機能

リクエストスイッチを押して解錠した後、またはキーで解錠した後に、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合は、オートリロック機能により自動的に施錠されます。

- いずれかのドアまたはトランクリッドを開ける。
- ・車両の電源を OFF 以外にする。

自動的に施錠されるまでの時間を変更できま す。

マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツ ダ販売店にご相談ください。

トランク使用上の警告・注意

⚠ 警告

トランクルーム内に人を乗せない。

トランクルームに閉じ込められると中から開けられません。また、急ブレーキ時や衝突時に重大な傷害につながるおそれがあります。

トランクリッドは必ず閉めてから走行す る。

開けたまま走行すると、車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあり 危険です。

トランクリッドを閉めた後は、トランクリッドが確実に閉まっていることを確認する。 走行中にトランクリッドが開くと、荷物などが落ちて思わぬ事故につながるおそれがあります。

トランクリッド開警告表示が表示したまま 走行しない。

走行中にトランクリッドが開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- トランクリッドを開ける前に、トランクリッドから雪や氷などの付着物を取り除いてください。トランクリッドを開けたときに、雪や氷などの重みでトランクリッドが閉まり、けがをするおそれがあります。
- 強風時にトランクリッドを開閉するときは、風にあおられないよう注意して開閉してください。トランクリッドが急に閉まり、けがをするおそれがあります。
- トランクリッドを開けるときは全開にして、トランクリッドが止まることを確認 してください。トランクリッドを途中で 止めると、振動や突風などでトランクリッドが閉まり、けがをするおそれがあります。
- ▶ トランクルームの荷物を出し入れするときは、エンジンを止めてください。 排気 熱によりやけどをするおそれがあります。

⚠ 注意

トランクリッドを閉めるときは、手などをはさまないように注意してください。 万一、手などをはさむと、けがをするおそれがあります。

トランクの使いかた

キーのトランクスイッチ (トob) で開けるとき

キーのトランクスイッチでの操作方法について は「キーの使いかた」の項目を参照してくださ い。

→4-6 ページ「キーの使いかた」

電磁式トランクリッドオープナーで開けるとき

- 1. 車両を停止する。
- 2. ドアを解錠する。
- 電磁式トランクリッドオープナーを押し、 トランクリッドを持ち上げる。



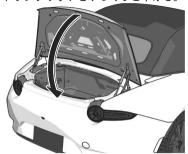
□ 知識

(アドバンストキーレス機能装備車)

キーを携帯した状態で電磁式トランクリッドオープナーを押すと、ドアとトランクリッドが施錠されていても、トランクリッドを開けることができます。

トランクリッドを閉めるとき

1. トランクリッドをゆっくりと下げる。



2. トランクリッドを押さえつけるように閉める。

ボンネット使用上の警告・注意

⚠ 警告

ボンネットが確実に閉まっていることを確 認する。

走行中にボンネットが開くと視界がさまた げられ、思わぬ事故につながるおそれがあ ります。

アクティブボンネットが作動したときは、ボンネットオープナーを引かない。

ボンネットオープナーを引くと、さらにボンネットが上がり視界の妨げとなるため危険です。また、ボンネットを無理に押し戻さないでください。手動では下げることができないため、ボンネットが変形したり、思わぬケガをするおそれがあります。 アクティブボンネットが作動したときは、必ずマツダ販売店にご相談ください。

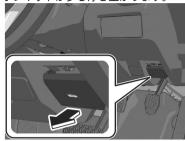
⚠ 注意

- ボンネットを閉めるときは、体重をかけるなどして強く押さえつけないでください。ボンネットがへこむおそれがあります。
- ボンネットを閉めるときは、手などをは さまないように注意してください。万 一、手などをはさむと、けがをするおそれ があります。
- > エンジンルームを点検したときは、工具 や布を置き忘れないようにしてくださ い。置き忘れると、エンジンを損傷した り、火災につながったりするなど、思わぬ 事故につながるおそれがあります。
- ボンネットを開けるときは、ボンネットが止まることを確認してください。ボンネットを途中で止めると、振動や突風などでボンネットが閉まり、けがをするおそれがあります。

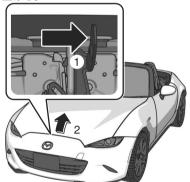
ボンネットの使いかた

ボンネットを開けるとき

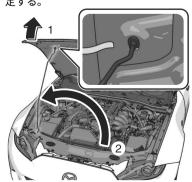
1. ボンネットオープナーを引く。 ボンネットが少し浮き上がります。



2. ボンネットのすき間に手を入れ、レバーを 矢印の方向に倒したままボンネットを持ち 上げる。

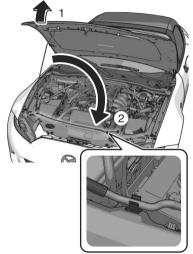


3. パッド部を持ってステーを起こし、矢印で 示すボンネットのステー穴に差し込んで固 定する。



ボンネットを閉めるとき

- 1. エンジンルームに工具などが残されていないことを確認する。
- 2. ボンネットを手で支えてステーをはずし、 パッド部を持って、クリップに固定する。



3. ボンネットをゆっくり下ろし、約20cmの高さから静かに落として閉める。

パワーウインドーについて

パワーウインドーには、2 つの機能があります。

自動開閉機構

パワーウインドースイッチを操作し続けなくても、窓ガラスを全開/全閉できます。



知識

窓ガラスが全閉していない状態でパワーウインドースイッチを何度も操作すると、自動開閉機構が作動しなくなることがあります。

→8-40ページ「自動開閉機構を復帰する」

はさみ込み防止機構

窓ガラスが閉まる途中に、窓ガラスと窓枠との間に異物のはさみ込みを感知すると、窓ガラスが停止し、少し開きます。



知識

次のようなときも、はさみ込み防止機構が作動することがあります。

- ・窓ガラスが閉まる途中に強い衝撃を感知 したとき
- ・極低温下で窓ガラスを閉めたとき

→8-40 ページ「はさみ込み防止機構を解除 する」

パワーウインドー使用上の注意・ 警告



警告

窓ガラスを閉めるときは、同乗者の手や顔 などをはさまないように注意する。

特にお子さまには十分気をつけてください。 万一、手や顔などをはさむと重大な傷害に つながるおそれがあります。

お子さまにパワーウインドースイッチを操 作させない。

万一、手や顔などをはさむと重大な傷害に つながるおそれがあります。

お子さまが同乗しているときは、パワーウイ ンドーロックスイッチをロックの位置にし ておく。

お子さまが誤ってパワーウインドースイッチを操作したとき、手や顔などをはさむと重大な傷害につながるおそれがあります。

ウインドーが完全に閉じる直前、またはパ ワーウインドースイッチ引き続けている間 は、ウインドーをさえぎるものがないこと確 認する。

はさみ込み防止機構ではウインドーが完全 に閉じるのを防止できない場合がありま す。指を挟むと重大な傷害につながるおそ れがあります。

窓から手や顔を出させない。

走行中にお子さまが窓から手や顔を出さないよう注意してください。車外の物にあたったり、急ブレーキを踏んだりしたとき、重大な傷害につながるおそれがあります。

パワーウインドーの使いかた

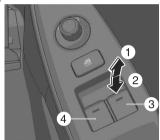
ウインドーの開閉

- 1. 車両の電源を ON にする。
- パワーウインドースイッチを操作する。 ウインドーを自動的に全開にするには、パ ワーウインドースイッチを完全に押し下げ てからスイッチから手を離す。

ウインドーを自動的に全閉にするには、パワーウインドースイッチを完全に引き上げてからスイッチから手を離す。

窓ガラスの開閉を途中で止めるときは、スイッチを逆方向に軽く操作してください。

運転席



助手席

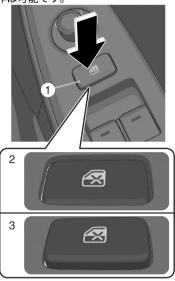


- 1. 閉める
- 2. 開ける
- 3. 運転席側スイッチ
- 4. 助手席側スイッチ

助手席のウインドー操作をロックする

運転席ドアにあるパワーウインドーロックスイッチをロックの位置にすると助手席のパワーウインドースイッチでの開閉操作をロックできます。

運転席ドアにあるパワーウインドースイッチで の操作は可能です。



- 1. パワーウインドーロックスイッチ
- 2. ロック位置
- 3. アンロック位置

📖 知識

パワーウインドースイッチを長時間操作し 続けると、窓ガラスを開閉できなくなるこ とがあります。

窓ガラスを開閉できないときは、しばらく 待ってから再度スイッチを操作してくださ い。

パワーウィンドーの便利な使いか た

キー OFF 後作動機能

車両の電源を ACC または OFF にした後でも、約 40 秒間は全席の窓ガラスを開閉できます。

ソフトトップ使用上の警告・注意

⚠ 警告

風が強いときにはソフトトップを開閉しな い。

風にあおられ思わぬ事故につながるおそれ があります。

走行中は、車両から手や頭などを出さない。 走行中に車外のものにあたったり、急ブレーキをかけたときに重大な傷害につながる おそれがあります。

折りたたんだソフトトップの上に荷物など を置かない。

走行中に飛散し、思わぬ事故につながるお それがあります。

⚠ 注意

- ソフトトップを開けた状態で乗り降りするときは、フロントガラスの角に頭や身体をぶつけないように注意してください。けがをするおそれがあります。
- ソフトトップを開閉するときは、フレームなどで手や指をはさまないよう慎重に行なってください。
- > ソフトトップ周辺に落ち葉などがあるときは取り除いてください。ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。ドレーンフィルターの清掃は、年に1回程度行なってください。
 - →9-26ページ「外装をお手入れする」
- ソフトトップを開けるときは、リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチが OFF になっていることを確認してください。デフォッガーの熱でソフトトップや内装材が損傷するおそれがあります。
- > ソフトトップは高品質の幌生地を使用しているため、手入れの方法を誤ると生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれが「シストトップをお手入れる。
 - →9-27 ページ「ソフトトップをお手入れ する」
- ➤ ソフトトップがぬれた状態で折りたたまないでください。品質低下やカビの原因になります。

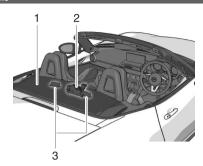
⚠ 注意

- ▶ 外気温が5°C以下のときはソフトトップ を開閉しないでください。凍結などにより、ソフトトップが損傷するおそれがあります。
- 折りたたんだソフトトップの上に座らないでください。ソフトトップの損傷や、 転落してけがをするおそれがあります。
- ▶ ロック解除ボタンに赤色の表示が見えているときは、ソフトトップがロックされていません。ソフトトップをもとにもどすときは確実にロックし、赤色の表示が見えないことを確認してください。ロックしないまま走行すると、ソフトトップが不意に開き、思わぬ事故につながるおそれがあります。



- 1. ロック
- 2. アンロック
- 3. 赤色の表示
- > ソフトトップ (幌) の汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスと幌の合わせ目付近に直接水をかけないでください。 車内に水が入るおそれがあります。
 - →9-27 ページ「ソフトトップをお手入れ する」

ソフトトップの概略図

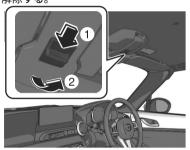


- ソフトトップ
 トップロックレバー
 トップハンドル

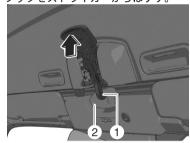
ソフトトップの使いかた

ソフトトップを開けるとき

- パーキングブレーキがかかっていることを 確認する。
- エンジンがかかっている場合は、エンジンを止める。
- 3. ソフトトップが格納される部分に、物が置かれていないことを確認する。
- 4. ロック解除ボタンを前方に押しながら、トップロックレバーを手前に引いてロックを解除する。



- 1. ロック解除ボタン
- 2. トップロックレバー 5. フックをストライカーからはずす。



- 1. フック
- 2. ストライカー

□ 知識

窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。

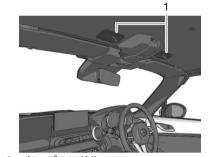
6. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持って、ソフトトップを車両後方へ引く。



1. ルーフサイド前側

□ 知識

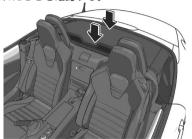
トップハンドルを使うと、車内からソフト トップを開けることができます。



- 1. トップハンドル
- 7. リアガラスを手で軽く押さえながら、ソフトトップを後方へ移動し、折りたたむ。

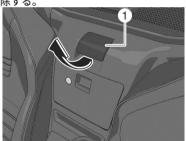


8. ソフトトップの後側を押さえた状態で、前側をカチッと音がするまで押さえつける。 ソフトトップをゆさぶり、確実にロックされたことを確認する。



ソフトトップを閉めるとき

- パーキングブレーキがかかっていることを 確認する。
- 2. エンジンがかかっている場合は、エンジン を止める。
- 3. ロック解除レバーを上に引き、ロックを解除する。



- ロック解除レバー
- 4. 車両の外側に立ち、ルーフサイド前側を持ちながら、ゆっくりと引き上げる。



1. ルーフサイド前側

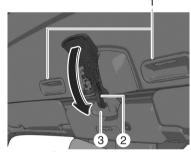
知識

- ・窓ガラスが自動で下がらない場合は、窓を全開にする、またはドアを開けてください。
- ・トップハンドルを使うと、車内からソフトトップを閉めることができます。



- 1. トップハンドル
- シートに座り、トップハンドルを持って、ソ フトトップをフロントガラス側に押しあて る。

フックがストライカーにかかっていること を確認し、トップロックレバーをゆっくり 動かして、カチッと音がするまで押し上げ る。



- 1. トップハンドル
- 2. フック
- 3. ストライカー

□ 知識

- ・ソフトトップの開閉により、自動で窓ガラスが下がります。これは操作性を向上させるための機能で異常ではありません。車両整備などでバッテリーとの接続が断たれたときは、自動で窓ガラスが下がらなくなります。下がらなくなった場合は窓ガラスの自動開閉機構の復帰操作を行なってください。
 - →8-40 ページ「自動開閉機構を復帰する」
- ソフトトップを長期間開けた状態で放置すると幌が収縮し、ソフトトップを閉めるときにトップロックレバーのフックがストライカーにかかりにくくなることがあります。
- ・トップロックレバーをロックしてもソフ トトップの閉まりが悪い場合は、マツダ 販売店で点検を受けてください。

リトラクタブルハードトップにつ いて

リトラクタブルハードトップは、スイッチ操作 により、ルーフ、窓ガラスが連動して作動し、フ ロントルーフをリアルーフ下に格納するシステ ムです。

リトラクタブルハードトップ使用 上の警告・注意

҈ 警告

ルーフを開閉するときは、周囲に人がいない ことを確認する。

ルーフを動かしたとき、車両にはさまれるな ど思わぬ事故につながるおそれがありま す。

車両が動いているときは、シートベルトを着 用しシートに座る。

車内で立ったり、リアルーフまたはコンソー ルの上に座ると、急ブレーキをかけたとき に重大な傷害につながるおそれがありま す。

走行中は、車両から手や頭などを出さない。 走行中に車外のものにあたったり、急ブレ ーキをかけたときに重大な傷害につながる おそれがあります。

⚠ 注意

ルーフを開けた状態で乗り降りするときは、 フロントガラスの角に頭や身体をぶつけな いように注意してください。けがをするお それがあります。

ルーフが半開の状態では走行しないでくだ さい。ルーフが損傷するなど、思わぬ事故に つながるおそれがあります。

お子さまにルーフの操作をさせないでくだ さい。お子さまが誤って操作すると、不意に ルーフが閉まりお子さまや同乗者の手や頭 をはさんだりするなど思わぬ事故につなが るおそれがあります。

リアルーフやミドルルーフの周辺およびフ ロントルーフの格納部に荷物を置かないで ください。荷物やハードトップが損傷する など、思わぬ事故につながるおそれがあり ます。

ルーフ周辺に落ち葉などがあるときは取り 除いてください。排水口が詰まるおそれが あります。

⚠ 注意

ルーフを開けるときは、リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチが OFF になっていることを確認してください。 デフォッガーの熱でルーフや内装材が損傷するおそれがあります。

ルーフを開閉するときは、ルーフの上や上方 (地上高約 1.6m) に障害物がないことを確認 してください。ルーフや障害物を損傷する おそれがあります。

ルーフを開閉しているときは、ルーフに荷重をかけないでください。ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。

ルーフの汚れを水で洗い流すとき、窓ガラスとルーフの合わせ目付近に直接水をかけないでください。 車内に水が入るおそれがあります。

→9-29 ページ「リトラクタブルハードトップをお手入れする」

ルーフを開閉するときは、交通のさまたげにならない安全かつ水平な場所に停車してから行なってください。 坂道や段差に乗り上げた状態で開閉すると、ルーフの開閉機構が損傷するおそれがあります。

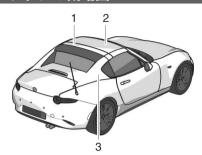
自動洗車機 (コイン洗車機) や高圧洗車機を使用しないでください。ルーフが損傷するおそれがあります。

外気温が低く、ルーフおよびその周辺が凍結している場合は、無理に開閉しないでください。 ルーフが損傷するおそれがあります。 ルーフがぬれているときは、ルーフを開けないでください。 車内に水が入り、故障につながるおそれがあります。

風が強いときにはルーフを開閉しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

開閉作動中に車速が 10 km/h を超えるとルーフの開閉が途中で停止します。 ルーフが途中で止まると、後方の視界が悪くなったり、ルーフが損傷するなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。 交通状況に応じて車を停車させて、再度リトラクタブルハードトップスイッチを操作してルーフの開閉を完了させてください。

リトラクタブルハードトップの概略図



- 1. ミドルルーフ 2. フロントルーフ
- 3. リアルーフ

リトラクタブルハードトップの使 いかた

次の条件をすべて満たしているときにリトラクタブルハードトップスイッチを操作するとルーフを開閉することができます。

- ・電源ポジションが ON のとき
- ・チェンジレバー/セレクトレバーが R 以外の とき
- ・車速が 10 km/h 以下のとき
- トランクが閉まっているとき
- ・車両の傾斜角度が15度以下のとき

知識 知識

作動条件をすべて満たしているにも関わらず開閉できない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。 緊急時は、応急処置として手動で閉めること

ができます。 →8-26 ページ「ルーフを手動で閉める」

ルーフを開ける

ルーフを開けて走行するときは、車内の荷物が 風で飛ばされないようにしてください。

- 1. 交通のさまたげにならない安全で平らな場所に停車させる。
- 2. トランクが閉まっていることを確認する。
- 3. エンジンを始動する。
- ルーフの開作動が完了するまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開側に押し続ける。

スイッチを操作している間は、作動表示灯 が点滅します。また、マルチインフォメー ションディスプレイにルーフの開状態を表 示します。開作動が完了すると、チャイム が鳴り、作動表示灯が消灯します。





マルチインフォメーションディスプレイ



🏻 知識

- 窓ガラスが閉まっているときにリトラク タブルハードトップスイッチを操作する と、窓ガラスが少し開きます。ルーフの 開作動が完了するまでリトラクタブルハ ードトップスイッチを開側に押し続ける と窓ガラスはもとの位置にもどります。 ただし、条件によっては窓ガラスがもとの 位置にもどらない場合があります。
- ・半開の状態から開くときは、リアルーフ が完全に開いたあと、フロントルーフが 開きます。

ルーフを閉める

- 1. 交通のさまたげにならない安全で平らな場 所に停車させる。
- 2. トランクが閉まっていることを確認する。
- 3. バッテリーあがり防止のため、エンジンを 始動する。
- 4. ルーフの閉作動が完了するまで、リトラク タブルハードトップスイッチを閉側に押し 続ける。

スイッチを操作している間は、作動表示灯 が点滅します。また、マルチインフォメー ションディスプレイにルーフの閉状態を表 示します。閉作動が完了すると、チャイム が鳴り、作動表示灯が消灯します。





マルチインフォメーションディスプレイ



知識

窓ガラスが閉まっているときにリトラクタ ブルハードトップスイッチを操作すると、 窓ガラスが少し開きます。ルーフの閉作動 が完了するまでリトラクタブルハードトッ プスイッチを閉側に押し続けると窓ガラス はもとの位置にもどります。ただし、条件に よっては窓ガラスがもとの位置にもどらな い場合があります。その場合はパワーウイ ンドースイッチで窓ガラスを完全に閉めて ください。

リトラクタブルハードトップの便 利な使いかた

窓ガラスの連動作動について

ルーフの開閉時には、操作性を向上させるため、 自動で窓ガラスが下がります。

知識

車両整備などでバッテリーとの接続が断た れたときは、自動で窓ガラスが下がらなく なります。下がらなくなった場合は窓ガラ スの自動開閉機構の復帰操作を行なってく ださい。

→8-40 ページ「自動開閉機構を復帰する」

イモビライザーシステムについて

イモビライザーシステムは、あらかじめ登録されたキー以外ではエンジンを始動できないようにする車両盗難防止装置です。

イモビライザーシステムやキーに問題がある場合は、マツダ販売店にご相談ください。

イモビライザーシステム使用上の 警告・注意

イモビライザーシステムやキーの故障を防 ぐために次のことをお守りください。

- ▶ システムを改造したり、付加部品を取り付けたりしないでください。
- ▶ キーに強い衝撃を与えたり、ぬらしたり しないでください。
- キーに磁気を帯びた製品を近づけないでください。
- キーをインストルメントパネルやボンネットの上など直射日光があたる場所や高温になるところに放置しないでください。

イモビライザーシステムの使いか た

システムの作動

車両の電源を ON から ACC または OFF にすると、システムが作動してセキュリティ表示灯 が が点滅します。

システムの解除

車両の電源を ON にすると、システムが解除され、セキュリティ表示灯が消灯します。

バーグラアラームシステムについ て

バーグラアラームシステムは車両や車内の貴重 品が盗難にあわないように警戒状態にする車両 盗難警報装置です。

不正な侵入をしようとすると、ホーンや非常点滅灯で周囲に異常を知らせます。

システムは、正しく設定されていないと作動しません。車から離れるときは、設定手順にしたがって正しく設定してください。

バーグラアラームシステムに異常が見られる場合はマツダ販売店にご相談ください。

バーグラアラームシステムの使い かた

バーグラアラームシステムを設定する

- 1. 窓ガラスとソフトトップ/ルーフを確実に 閉めます。
- 2. 車両の雷源を OFF にします。
- 3. すべてのドアとボンネット、トランクリッドが閉まっていることを確認します。
- 4. ドアを施錠します。 非常点滅灯が1回点滅します。 メーター内のセキュリティ表示灯が20秒間、毎秒2回点滅します。
- 5. 20 秒後に警戒状態へ設定されます。

△ 知識

- ・すべてのドア、ボンネット、トランクリッドを閉めた状態で、キーのアンロックスイッチを押して解錠した後、約30秒以内に次のいずれの操作も行なわなかった場合、自動的に施錠され、バーグラアラームシステムが再設定されます。
 - いずれかのドアまたはトランクリッドを開ける。
 - ・車両の電源を OFF 以外にする。
- ・キーのロックスイッチを押した後、20 秒 以内に次の操作をした場合、警戒状態へ は設定されません。
 - いずれかのドアを解錠する。
 - ・いずれかのドアを開ける。
 - ボンネットを開ける。
 - ・車両の電源を ON にする。

再度設定するには、最初から操作を行なってください。

・警戒中にキーのロックスイッチでドアを 施錠すると、警戒状態であることを示す 非常点滅灯が1回点滅します。

警報の作動条件

次のいずれかを行なうと、約30秒間ホーンが鳴り、非常点滅灯が点滅します。

- ・補助キー、ロックノブのいずれかで解錠する。
- ・ドア、ボンネット、トランクリッドのいずれか を無理に開ける。
- ボンネットを開ける。
- ・プッシュボタンスタートを使わずに車両の電源を ON にする。

ドアまたはトランクリッドがキーのアンロックスイッチまたはリクエストスイッチで解錠されるまでホーンが鳴り、非常点滅灯が点滅します。

〕知識

- バーグラアラームシステム作動中はトランクリッドが開きません。
- ・警戒状態のままで 12V バッテリーがあがった場合は、12V バッテリーを充電、または交換するときにホーンが鳴り、非常点滅灯が点滅することがあります。

警報を停止する

作動中の警報は次のいずれかの操作で停止しま す。

- キーのアンロックスイッチを押す。
- ・プッシュボタンスタートを操作してエンジン を始動する。
- ・リクエストスイッチを押す。
- ・キーを携帯して電磁式トランクリッドオープ ナーを押す。

警戒状態が解除されると、非常点滅灯が 2 回点滅します。

バーグラアラームシステムを解除する

次のいずれかの操作で警戒状態が解除されます。

- キーのアンロックスイッチを押す。
- ・プッシュボタンスタートを操作してエンジン を始動する。
- リクエストスイッチを押す。

警戒状態が解除されると、非常点滅灯が 2 回点滅します。

MEMO

5 運転する

3	ラー	5-6
	ミラーについて	5-6
	ドアミラー使用上の警告・注	
	意	5-6
	ドアミラーの使いかた	5-7
	ルームミラーの使いかた	
	ルームミラーの便利な使いか	J-1
		E 0
	た	5-0
プッ	ッシュボタンスタート	
	プッシュボタンスタートについ	
	τ	5-9
	プッシュボタンスタート使用」	Ŀの
	警告·注意	5-9
	プッシュボタンスタートの使い	۸,
	かた5	
:	1000	10
I-EI	LOOP5 i-ELOOP について*5	-12
	1-ELOOP について"5	-12
	i-ELOOP 使用上の警告・注	
	意5	
	i-ELOOP の使いかた5	-14
i-st	5	-15
	i-stop について*5	-15
	i-stop の使いかた5	
	1-stop の皮いが7c	-13
	_	
メー	-ター5	-17
	メーターについて5	
	スピードメーターについて	
	5	-17
	タコメーターについて5	-18
	マルチインフォメーションディ	
	プレイについて5	

	マルチインフォメーションフ	
	プレイの使いかたオドメーター/トリップメー	. 5-20
	オドメーダー/トリップメー	ダー
	について [*] オドメーター/トリップメー	5-23
	オドメーダー/トリップメー	ダー
	の使いかた	. 5-23
	水温計について	
	燃料計について	
	パネルライトコントロール	
	いてパネルライトコントロールの	5-25
	ハネルフィトコントロールの	ソ世
	いかた 外気温表示について	. 5-25
	外気温衣亦についし	5-26
	走行可能距離表示について.	
	 平均燃費表示について	. 3-20 5 27
	平均燃質表示について	. D-Z1
	時間燃費表示について	
	瞬間燃質表示に うい C i-ACTIVSENSE 表示につい	. 3-20
		E 20
	て ルーフ開閉状態表示について	3-20
	ードトップ車)	. 5-29
		. 5-29
	ードトップ車)メッセージ表示について	. 5-29 5-29
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ	. 5-29 5-29 スタ
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ	. 5-29 5-29 スタ
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM)	. 5-29 5-29 スタ . 5-30
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM) インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) について	. 5-29 5-29 スタ . 5-30 ・マ . 5-30
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM) インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) について インテリジェント・ドライブ	. 5-29 5-29 スタ . 5-30 ・マ . 5-30
	ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM) インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) について	. 5-29 5-29 スタ . 5-30 ・マ . 5-30
— (ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM) インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) について インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) ランプ	. 5-29 5-29 スタ . 5-30 ・マ . 5-30 ・マ 5-31
— (ードトップ車) メッセージ表示について ンテリジェント・ドライブ・マ (i-DM) インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) について インテリジェント・ドライブ スター (i-DM) ランプ	. 5-29 5-29 スタ . 5-30 ・マ 5-31
— (ードトップ車)	. 5-29 5-29 5-30 . 5-30 . 5-30 . 5-31 5-31
— (ードトップ車)	. 5-29 5-29 5-30 . 5-30 . 5-30 . 5-31 5-31
— (ードトップ車)	. 5-29 5-29 5-30 ・マ . 5-30 ・マ 5-31 5-32 5-32

セレクトレバー5-34 セレクトレバー使用上の警告・ 注意5-34	ヒル・ローン用上の警告・対
セレクトレバーの使いか た5-36	エマージェンシ - (ESS) エマージェン
ステアリングシフトスイッチ 5-40 ステアリングシフトスイッチ使	ム (ESS) につ
用上の警告・注意5-40 ステアリングシフトスイッチの 使いかた5-41	ランプスイッチ. ランプスイッ ランプスイッ 注意
ギア・シフト・インジケーター (GSI)5-44 ギア・シフト・インジケーター	ランプスイッ
ギア・シフト・インジケーター (GSI) について (マニュアル 車)5-44 ギア・シフト・インジケーター	ランプスイッ た
(GSI) 使用上の警告・注意5-44	方向指示器 方向指示器 <i>0</i>
パーキングブレーキ5-45 パーキングブレーキ使用上の警 告·注意5-45 パーキングブレーキの使いか た5-45	ワイパー/ウォッチ チ フロントワイ スイッチにつ フロントワイ スイッチ使用
ブレーキ・オーバーライド・システム	意
ブレーキ・オーバーライド・シス テム使用上の警告・注意 5-47 ブレーキ・オーバーライド・シス テムの便利な使いかた 5-48	リアウインドー り) スイッチ リアウインド り取り) スイ
ヒル・ローンチ・アシスト (HLA)5-49 ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) に ついて	リアウインド り取り) スイ 注意

	ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) 用上の警告・注意5-	
	?ージェンシーシグナルシステ』 S)5 エマージェンシーシグナルシス ム (ESS) について5-	50
ラン	/プスイッチ5 - ランプスイッチについて5- ランプスイッチ使用上の警告・ 注意5- ランプスイッチの使いかた 5- ランプスイッチの便利な使いかた た5-	-51 -52 \
方向	月指示器5- 方向指示器の使いかた5-	- 55 -55
ワ イチ・	(パー/ウォッシャースイッ 	- -56 -
リフ り)	?ウインドーデフォッガー (曇り スイッチ5 - リアウインドーデフォッガー (り取り) スイッチについて5- リアウインドーデフォッガー (り取り) スイッチ使用上の警告 注意5-	-59 曇 •

リアウインドーデフォッガー (曇 り取り) スイッチの使いか た5-60	ダイナミック・スタビリティ・コ ントロール (DSC) の使いか た5-67
非常点滅表示灯5-61 非常点滅表示灯について5-61 非常点滅表示灯の使いか た5-61	DSC-TRACK*5-69 DSC-TRACK について5-69 DSC-TRACK 使用上の警告・注 意5-69 DSC-TRACK の使いかた5-70
ホーン5-62 ホーンの使いかた5-62	キネマティック・ポスチャー・コント ロール (KPC)5-71
アンチロックブレーキシステム (ABS)5-63 アンチロックブレーキシステム (ABS) について5-63 アンチロックブレーキシステム (ABS) 使用上の警告・注意5-63	キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC) について5-71キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC) 使用上の警告・注意5-71キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC) の使いか
トラクションコントロールシステム (TCS)5-64 トラクションコントロールシス テム (TCS) について5-64 トラクションコントロールシス テム (TCS) 使用上の警告・注 意5-64 トラクションコントロールシス テム (TCS) の使いかた5-65	た
ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC)5-66	パワーステアリング5-75 パワーステアリングについ て5-75
ントロール (DSC) につい て5-66 ダイナミック・スタビリティ・コ ントロール (DSC) 使用上の警告・ 注意5-66	給油5-76 給油時の警告・注意5-76 給油のしかた5-77
	i-ACTIVSENSE5-78

i-ACTIVSENSE について......5-78

i-ACTIVSENSE 使用上の警告・ 注意5-78 アクティブセーフティ技術につ	アダプティフ (ALH) の使い
いて5-79 プリクラッシュセーフティ技術に ついて5-79 警報・リスク回避支援表示につ いて5-80 i-ACTIVSENSE ミュートスイッチ の使いかた5-81	車線逸脱警報シス 車線逸脱警執 て 車線逸脱警執 告・注意 車線逸脱警執 た
フォワードセンシングカメラ (FSC)5-82 フォワードセンシングカメラ (FSC) について5-82	ブラインド・スポ (BSM) ブラインド・ ング (BSM) に ブラインド・
レーダーセンサー5-85 レーダーセンサーについて	ング (BSM) 値 意 ブラインド・ ング (BSM) の
超音波センサー5-88 超音波センサーについて5-88	交通標識認識シ 交通標識認識 交通標識認調
ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)5-90 ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) について*5-90 ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) 使用上の警告・注意5-90 ハイ・ビーム・コントロールシステ	いて* 交通標識認識 上の警告・注 交通標識認調 いかた 交通標識認調 利な使いかた
ム (HBC) の使いかた 5-91	ディスタンス & : (DSA)
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)5-92 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) について*5-92 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 使用上の警告・注意5-93	ディスタンス ト (DSA) にっ ディスタンス ト (DSA) 使用 意

	'ダプティ LH) の使			
車て車告車	・注意・・注意・・ ・・注意・・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・ ・・	報シスラ 報シスラ 報シスラ	テムについ テム使用 ₋ テムの使い	5-95 上の警 5-95 いか
	ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)5-97 ブラインド・スポット・モニタリ			
ンプ	ァインド ·グ (BSM) ·ラインド ·グ (BSM)	につい [*] ・スポッ	て ト・モニ:	5-97 タリ
意 ブ	`ラインド 'グ (BSM)	 ・スポッ		5-97 タリ
交い交上交い交	票識認識シ 通標識認 で* 通標 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	識シスラ 識シスラ 主意 識シスラ 識シスラ	テム (TSR テム (TSR テム (TSR テム (TSR) につ 5-101) 使用 5-101) の使 5-102) の便
(DSA)	(タンス 8) イスタン	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	5-106
トデ	(DSA) に ィスタン (DSA) 使	:ついて* ス&スヒ	゙ ピード・ア	5-106
音				5-106

ディスタンス & スピード・アラー ト (DSA) の使いかた5-107	スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の使いかた5-124
ドライバー・アテンション・アラート (DAA)	AT 誤発進抑制制御5-126 AT 誤発進抑制制御につい て5-126 AT 誤発進抑制制御使用上の警告・ 注意5-127 AT 誤発進抑制制御の使いか た5-127
ト (DAA) の使いかた5-109	衝突二次被害軽減システム 5-129
後側方接近車両検知 (RCTA)5-110 後側方接近車両検知 (RCTA) について5-110 後側方接近車両検知 (RCTA) 使用上の警告・注意5-110 後側方接近車両検知 (RCTA) の使	衝突二次被害軽減システムについて5-129 衝突二次被害軽減システムの警告・注意5-129 衝突二次被害軽減システムの使いかた5-130
いかた5-111	クルーズコントロール 5-131 クルーズコントロールについ
マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)5-112 マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) について* 5-112 マツダ・レーダー・クルーズ・コン	て*5-131 クルーズコントロール使用上の警 告・注意5-131 クルーズコントロールの使いか た5-132
トロール (MRCC) 使用上の警告・ 注意5-112 マツダ・レーダー・クルーズ・コン トロール (MRCC) の使いか た5-114	パーキングセンサー5-134 パーキングセンサーシステムにつ いて5-134 パーキングセンサーシステム使用 上の警告・注意5-135 パーキングセンサーシステムの使
スマート・ブレーキ・サポート	いかた5-136
(SBS)	積雪、寒冷時の運転5-141 スノータイヤについて5-141 タイヤチェーンについて5-141
いのいば出しい意言・注息…つ・1/3	

ミラーについて

運転する前に車内・車外のミラーを調節します。

ドアミラー使用上の警告・注意

҈ 警告

車線変更する前に、必ず肩越しに目視確認 する

実際の距離を考慮せずに車線変更すること は危険です。重大な事故に遭う可能性があ ります。 凸面鏡に見えるものは、見た目よ りも近くにあります。

運転を開始する前に、必ずドアミラーを運 転位置にもどす

ドアミラーを格納したまま運転するのは危険です。後方視界が制限され、思わぬ事故につながるおそれがあります。

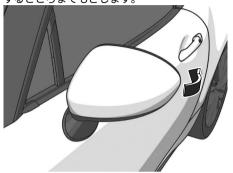
調節は走行前に行なう。

走行中に調節すると、前方不注意で思わぬ 事故につながるおそれがあります。

ドアミラーの使いかた

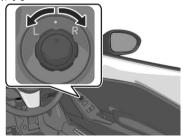
ドアミラーの展開/格納

ドアミラー本体を手で倒して格納します。 走行前には、ドアミラー本体を手で持ち、ロック するところまでもどします。

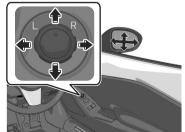


ドアミラーの角度調節

- 1. 車両の電源を ACC または ON にする。
- 調節スイッチを助手席側 L または運転席側 Rのどちらか調節したいドアミラー側にまわす。



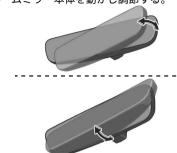
3. 調節スイッチを操作して、後方が十分確認 できるように調節する。



4. ドアミラーの調節後は、調節スイッチを中立位置にもどす。

ルームミラーの使いかた

ルームミラー本体を動かし調節する。



ルームミラーの便利な使いかた

防眩機能

後続車のヘッドランプの眩しさを防ぎます。

マニュアルタイプ

通常はレバーを押した状態にしてください。 夜間などに後続車のヘッドランプがまぶしいと きは、レバーを手前に引いてください。



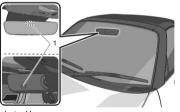
オートタイプ

車両の電源が ON でチェンジレバー/セレクトレバーが R の位置以外のときに、自動で作動します。



知識

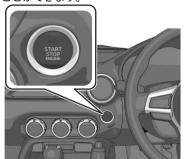
センサーをステッカーやカバーなどで覆わないでください。センサーが周囲の明るさを正確に感知できなくなります。



1. センサー

プッシュボタンスタートについて

プッシュボタンスタートを押すと、エンジンの 始動/停止、車両の電源 (OFF/ACC/ON) を切り替 えることができます。



車両の電源

OFF

すべての電装品が使用できない状態です。

ACC

オーディオなど一部の電装品が使用できる状態 です。

ON

すべての電装品が使用できる状態です。

プッシュボタンスタート使用上の 警告・注意

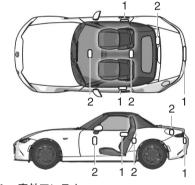
\triangle

警告

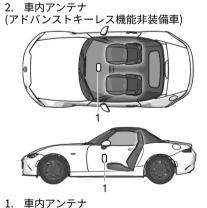
植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え 込み型除細動器の医療用機器を使用してい る方は車内・車外のアンテナから約 22 cm 以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をお よぼすおそれがあります。

(アドバンストキーレス機能装備車)



1. 車外アンテナ



҈ 警告

次にある以外の医療用機器を使用している 方は、キーの雷波の影響を医師や医療用電 気機器製造業者などに確認する。

- ▶ 植え込み型心臓ペースメーカー
- ▶ 植え込み型除細動器

電波が悪影響をおよぼすおそれがありま す。

プッシュボタンスタートシステム機能、アド バンストキーレス機能を作動させないよう にすることもできます。

ペースメーカーなどの医療用機器に悪影響 をおよぼすおそれがあるため、キーを取り 出すことなくエンジンの始動ができる機能 を停止させることができます。 また、アド バンストキーレス機能を作動させないよう にすることができます。

詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

緊急時以外は、走行中にエンジンを停止し ない。

走行中にエンジンを止めると、ブレーキの 効きが悪くなり、ハンドルも重くなるため、 思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

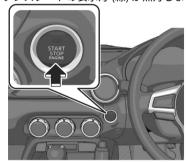
- プッシュボタンスタートに異常があると きは、プッシュボタンスタートの表示灯 (橙)が点滅します。この場合でもエンジ ンを始動できることがありますが、ただ ちにマツダ販売店で点検を受けてくださ
- ▶ 車から離れるときは、車両の電源が OFF になっていることを確認してください。

プッシュボタンスタートの使いか た

車両の状態や運転者の操作によって、エンジン の始動/停止、車両の電源を切り替えます。

エンジンを始動する

- 1. パーキングブレーキがかかっていることを 確認する。
- 2. (オートマチック車) セレクトレバーが Рの位置にあることを確 認する。
- 3. クラッチペダル (マニュアル車)、またはブ レーキペダル (オートマチック車) を踏む。 メーター内の KEY 表示灯^{〜【①}とプッシュボ タンスタートの表示灯(緑)が点灯します。



エンジンが始動し、メーター内の KEY 表示 灯~りが消灯します。

4.

知識

プッシュボタンスタートでのエンジン始動 ができない場合は、キーの節電機能が ON に なっていないか確認してください。節電機 能が ON になっているときは、キーの作動表 示灯が点灯/点滅しません。

→4-7ページ「キーの便利な使いかた」

エンジンを停止する

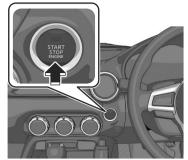
- 1. 車両を停車する。
- 2. (マニュアル重)

チェンジレバーをニュートラルの位置にす る。

(オートマチック車)

セレクトレバーを P の位置にする。

3.



エンジンが停止し、車両の電源が OFF になります。



知識

(オートマチック車)

セレクトレバーが P 以外の位置のときに、 エンジンを停止すると、車両の電源が ACC になります。

車両の電源を切り替える

クラッチペダル (マニュアル車)、またはブレーキペダル (オートマチック車)を踏まずに、プッシュボタンスタートを押す。 プッシュボタンスタートを押すごとに、ACC、ON、OFF の順に車両の電源が切り替わります。

〕知識

車両の電源を ACC (オートマチック車は、セレクトレバーが P の位置になっていること) の状態で放置すると、約 25 分で車両の電源が OFF になります。

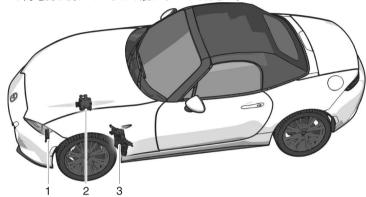
i-ELOOP について*

i-ELOOP は、車両が減速するときに発電し、発 電した電力を電装品の電源として使用するシス テムです。車両が減速するときに発電すること で、発電によるエンジン負荷を低減し、走りの性 能と燃費を向上させます。

i-ELOOP 使用上の警告・注意

注意

▶次のものには高電流が流れているため触れないでください。



- 1. 可変電圧式オルタネーター
- DC-DC コンバーター
 キャパシター
- ▶キャパシターを廃棄する場合は、必ずマツダ販売店にご相談ください。 詳しくは次の URL を参 照ください。

http://mazda.com/recycle/capa/

i-ELOOP の使いか<u>た</u>

発電中に i-ELOOP 表示灯にいが点灯します。 また、マツダコネクトの"燃費モニター"で i-ELOOP の作動状況を確認できます。

i-stop について*

i-stop (アイ・ストップ) は、燃費向上・排気ガスの低減・アイドリング騒音低下のため、自動でエンジンを停止・再始動させる機能です。

i-stop の使いかた

i-stop を作動可能な状態にする

次の条件をすべて満たすと、i-stop が作動可能な状態になります。

- ・エンジン暖機後
- ・エンジンを始動し、一度走行した後
- ・すべてのドア、リアゲート、ボンネットが閉まっているとき
- (リトラクタブルハードトップ装備車)リトラクタブルハードトップが作動していないとき
- 運転席シートベルトを着用しているとき
- ·曇り取りスイッチ (##)が OFF の状態のとき
- ・エアコンの設定温度が最大暖房または最大冷 房 (A/C ON) 以外の位置になっているとき
- ・**(フルオートエアコン)** 車内の温度とエアコンの設定温度がほぼ一致 しているとき
- ・(マニュアルエアコン)

最大風量以外のとき

- ・外気温が低すぎない、または高すぎないとき
- ・気圧が低くないとき (標高が高いところを走 行していないとき)
- ・ハンドルがほぼ直進状態のとき (直進状態に していてもハンドルに力をかけているとアイ ドリングストップしない場合があります)
- ・急な坂道ではないとき
- ・急停車ではないとき
- ・スポーツモードを使用していないとき
- ・(オートマチック車)
 - ・セレクトレバーが D または M の位置 (2 速 固定モード以外) のとき
 - ・オートマチックトランスミッションフル ードが十分に暖まっているとき
 - ・オートマチックトランスミッションフルードの温度が異常に高くないとき
- ・ブレーキ負圧が十分に高いとき
- ・バッテリーの状態が良好のとき
- ブレーキペダルを踏んでいるとき

<u>i-stop を作動させる</u>

マニュアル車

- 1. 停車する。
- チェンジレバーを N の位置にする。
- クラッチペダルから足を放す。
 i-stop が作動し、i-stop 表示灯 (緑) ^{i-stop}が 点灯します。
- 4. 車両を発進させる。 エンジンが再始動します。

オートマチック車

マツダ·レーダー·クルーズ·コントロール (MRCC) を使用していないとき

- 1. 停車する。
 - i-stop が作動し、i-stop 表示灯 (緑) ^{j-stop}が 点灯します。
- 2. 車両を発進させる。 エンジンが再始動します。

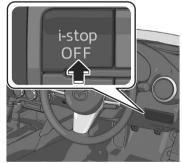
MRCC を使用しているとき

- 1. MRCC により停車後、ブレーキペダルを踏 む。
 - i-stop が作動し i-stop 表示灯 (緑) ^{j-stop}が点 灯します。
- アクセルペダルを踏むまたはステアリング スイッチの RES スイッチを押す。 エンジンが再始動します。

◯ 知識

- ・i-stop が作動してから 2 分以上経過する とエンジンが再始動します。
- ・12 V バッテリー端子をはずすと、12 V バッテリー端子接続後すぐにはアイドリングストップしないことがあります。また、12 V バッテリーを交換したときは、i-stop の機能を確認する必要があるため、マツダ販売店にご相談ください。

i-stop の作動を停止する



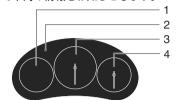
i-stop が停止し、i-stop OFF スイッチの表示灯 が点灯します。

知識

i-stop を停止した状態でエンジンを停止したときは、次にエンジンを始動すると i-stop は作動可能な状態にもどります。

メーターについて

以下で車両の情報をお知らせします。



- ① マルチインフォメーションディスプレイ
- ② パネルライトコントロールスイッチ
- ③ タコメーター④ スピードメーター

スピードメーターについて

走行速度を km/h で示します。

タコメーターについて

1分間あたりのエンジン回転数を示します。

⚠ 注意

指針がレッドゾーン (許容回転数以上を示す) に入らないように運転してください。 エンジンの故障につながるおそれがあります。



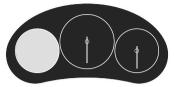
- 1. ストライプゾーン
- 2. レッドゾーン

◯ 知識

ストライプゾーンはレッドゾーンに入らないようにするために、早めの変速を促すゾーンです。

マルチインフォメーションディスプレイについて

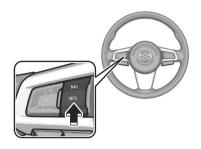
画面表示で車両の情報をお知らせします。

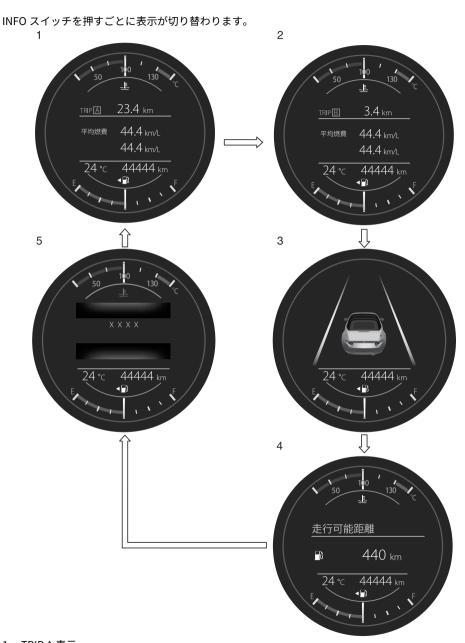


マルチインフォメーションディスプレイは次の情報を表示します。

- ・オドメーター
- ・トリップメーター
- · 水温計
- 燃料計
- · 外気温
- ·走行可能距離
- · 平均燃費
- 瞬間燃費
- · i-ACTIVSENSE 表示
- ・半ドア警告表示/トランクリッド開警告表示*1
- ・ルーフ開閉状態表示 (ハードトップ車)
- ・メッセージ表示
- *1 ドア/トランクリッドが開いているときに表示します。

マルチインフォメーションディスプレイの使いかた





1. TRIP A 表示

- TRIP B 表示
 i-ACTIVSENSE 画面
- 4. 走行可能距離表示
- 5. メッセージ表示画面*1*1 メッセージ表示があるときのみ表示します。

オドメーター/トリップメーター について

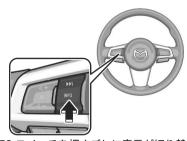
オドメーター

走行した総距離を km 単位で示します。

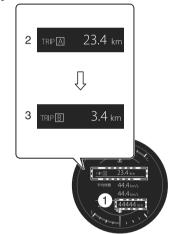
トリップメーター

一定区間の走行距離を km 単位で示します (右側の数字は 100 m 単位です)。2 種類 (トリップメーター A、トリップメーター B) の区間距離を計測することができます。

オドメーター/トリップメーター の使いかた



INFO スイッチを押すごとに表示が切り替わり ます。



- 1. オドメーター表示
- 2. トリップメーター A 表示
- 3. トリップメーター B 表示

トリップメーターを"0"にもどすときは、トリップメーターが表示されているときに INFO スイッチを 2 秒以上押します。

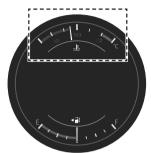


知識

車両整備などで 12 V バッテリーとの接続が 断たれたときは、トリップメーターの表示 が"0"にもどります。

水温計について

エンジン冷却水の温度を示します。青いゲージはエンジン冷却水の温度が低いことを示し、赤いゲージはエンジン冷却水の温度が高く、過熱していることを示します。



パネルライトコントロールスイッチを押すと、 高温域水温計に切り替えることができます。

⚠ 注意

水温計の指針が赤いゲージを示すときは、 オーバーヒートのおそれがあります。エン ジンに負担をかけないように、ゆっくり走 行してください。 →8-19 ページ「オーバーヒートを処置す

→8-19 ページ「オーバーヒートを処置す る」

燃料計について

燃料の残量を示します。

燃料が満タンのときは F (Full) を示し、少なくなるにつれ E (Empty) に移行します。



🎑 知識

- ・給油後は、指針が安定するまでしばらく時間がかかる場合があります。また、坂道やカーブなどでは、タンク内の燃料が移動するため、指針が移動することがあります。
- ・ **■**の矢印は給油口が助手席側にあることを示します。

パネルライトコントロールについて

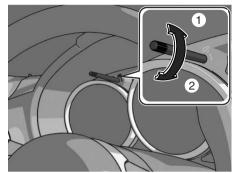
車両の電源が ON で車幅灯が点灯しているときにパネルライトは減光されます。ただし、昼間にライトを点けたときなど、ライトセンサーが車両の周辺が明るいと感知した場合、パネルライトは減光されません。



二 知識

夕方や薄暗い場所で車両の電源を ON にすると、ライトセンサーが周辺の明るさを感知するまでの数秒間パネルライトが減光され、明るさを感知した後に減光が解除される場合があります。

パネルライトコントロールの使い かた



- 1. 暗くする
- 2. 明るくする

左にまわすと暗くなります。最も暗い状態になると音が鳴り、最も暗い位置になっていること を知らせます。

減光解除機能

車両の電源が ON でメーターが減光しているときに、パネルライトコントロールスイッチを右に音が鳴るまでまわすと、減光を解除できます。メーターなどが見えにくい場合は減光を解除してください。

外気温表示について

車両の電源が ON のとき、外気温を表示します。



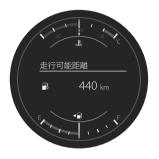
知識

外気温表示の数値は周囲や車両の状況により、実際の外気温と異なることがあります。

走行可能距離表示について

現在の燃料残量と燃費から走行可能距離を算出して表示します。

走行可能距離が 50 km 以上の場合、走行可能距離表示は 10 km 単位で減少し、50 km 未満の場合は 1 km 単位で減少します。





知識

走行可能距離はあくまで目安の数値であって、実際に走行できる距離とは異なります。 燃料計を確認しながら走行してください。

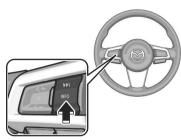
平均燃費表示について

お車を購入されたとき、または過去のデータを リセットしたときからの累積走行距離と累積消 費燃料から、約30秒間ごとに平均燃費を算出 して表示します。



平均燃費表示の使いかた

表示されている平均燃費のデータをリセットす るには、INFO スイッチを 2 秒以上押します。



データをリセットすると、平均燃費を再算出して表示するまでの約30秒間は、"---km/L"を表示します。

瞬間燃費表示について

走行中の瞬間燃費を、消費燃料から算出して表示します。



□ 知識

時速が約 5 km/h 以下になると 0 位置を表示します。

i-ACTIVSENSE 表示について

システムの作動状態を表示します。



ルーフ開閉状態表示について (ハ ードトップ車)

ルーフの開閉状態を表示します。



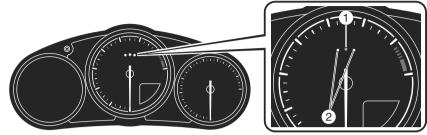
メッセージ表示について

システムの作動状態や故障・異常状態などを知らせるメッセージが表示されます。 ディスプレイの指示に従ってください。 →5-20ページ「マルチインフォメーションディスプレイの使いかた」

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) について

i-DM は、気持ちのよい運転ができるようになる運転技術の習得/向上をサポートするシステムです。 走行中の運転操作 (アクセル、ブレーキ、ハンドル) の状態を診断し、ランプの色で運転者に運転操作の 状況をお知らせします。

インテリジェント・ドライブ・マスター (i-DM) ランプ



- ① グリーンランプ/ブルーランプ
- ② ホワイトランプ

グリーンランプ

やさしい運転を示します。

ゆっくりとした運転操作で、乗員の体の揺れが小さく、安定した走行です。

ブルーランプ

しなやかな運転を示します。

特に次の走行タイプのような運転者にとって爽快で気持ちのよい運転のときに点灯します。

走行タイプ1

適度な加速度変化がありながら、なめらかな運転操作で車と乗員が一体となって動く、安定した走行です。

走行タイプ2

加速および旋回を継続しているときに、加速度を一定に維持しており、乗員の体の揺れが小さく、安定 した走行です。

ホワイトランプ

体が揺れる運転を示します。

やや急な運転操作により、乗員の体の揺れが大きく、不安定な走行です。



知識

i-DM ランプの表示/非表示の変更、i-DM の作動状況をセンターディスプレイに表示させることができます。

マツダコネクト"i-DM"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

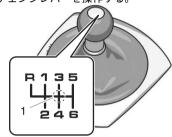
チェンジレバー使用上の警告・注 章

注意

- ➤ R に入れるときは、車が完全に止まってから行なってください。 トランスミッションの故障につながるおそれがあります。
- 5速から4速に変速するときは、チェンジレバーを横方向に押しすぎないでください。思いがけず2速に入りトランスミッションの故障につながるおそれがあります。
- ▶ Rに入れるとき以外は、誤操作を防ぐためにチェンジレバーを下方向へ押さないでください。

チェンジレバーの使いかた

- 1. クラッチペダルを踏む。
- (R 以外の位置)
 チェンジレバーを操作する。



1. ニュートラル位置

(R の位置)

チェンジレバーを下に押しながら操作す る。



クラッチペダルを放す。
 ギア・シフト・インジケーター (GSI) が表示されます。
 →5-44 ページ「ギア・シフト・インジケーター (GSI) について」

📖 知識

- ・坂道でエンストしたときに、車両が動き 出すのを防止するためパーキングブレー キが自動でかかることがあります。
- エンスト時、エンジンが完全停止したあと3秒以内にクラッチペダルを再度踏み込むとエンジンを再始動することができます。次のようなときは、クラッチペダルを踏み込んでも再始動させることができません。
 - 運転席のドアが開いているとき
 - 運転席のシートベルトが装着されていないとき



- ・エンスト後にクラッチペダルを完全に 放していないとき
- ・エンジンが完全に止まっていない状態 でクラッチペダルを踏んだとき

セレクトレバー使用上の警告·注 意

♠ 警告

高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍結路を走行しているときは、急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダウン) は避ける。 タイヤがスリップし、思わぬ事故につながるおそれがあります。

セレクトレバーが P または N の位置のとき は、アクセルペダルを踏んだままセレクトレ バーを操作しない。

車が急発進し思わぬ事故につながるおそれ があります。

走行中にセレクトレバーを N に入れない。 トランスミッションの故障につながります。また、エンジンブレーキが全く効かない ため思わぬ事故につながるおそれがあります。

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まない

セレクトレバーが P、N 以外に入っているとき、誤ってアクセルペダルを踏むと急発進するため思わぬ事故につながるおそれがあります。

停車後、再発進するときはセレクトレバー の位置に思い違いがないよう確認する。 意に反して車が動き出すと、思わぬ事故につながるおそれがあります。

駐車するときは、セレクトレバーを P に入れ、パーキングブレーキをかける。

パーキングブレーキをかけただけや、セレクトレバーをPに入れただけで駐車していると、意図せず車両が動き出し思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジンを作動させたまま駐車しない。 万一セレクトレバーが P、N 以外に入っていた場合、クリープ現象で車が勝手に動き出したり、乗り込むときに誤ってアクセルペダルを踏み、急発進したりするなど、思わぬ事故につながるおそれがあります。

҈ 警告

坂道などで、セレクトレバーを前進位置に 入れたまま後退したり、後退位置に入れたま ま前進したりしない。

エンジンが停止してブレーキの効きが悪くなったり、ハンドルが重くなったりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

エンジン回転数が高いときは、セレクトレバーをNまたはPの位置から動かさない。 エンジン回転数が高いときにセレクトレバーをNまたはPの位置から動かすと、車両が突然動きだし思わぬ事故につながるおそれがあります。

セレクトレバーを操作するときは、ブレー キペダルをしっかりと踏み、車が完全に止 まった状態で行なう。

車が動いている状態でセレクトレバーを操作すると、けがや思わぬ事故につながるお それがあります。

- 後退時は体を後ろにひねった姿勢になります。ブレーキペダルを確実に踏めるよう注意してください。
- セレクトレバーをPに入れるときは、車を完全に止めてから行なってください。車が完全に止まる前にセレクトレバーをPに入れると、トランスミッションに無理な力がかかり故障につながるおそれがあります。
- 深雪や砂地など走行抵抗の大きい道路や 急な坂道では、トランスミッションに高 い負荷がかかり、過度の発熱が発生しま す。そのため、次の点に注意して運転し てください。
 - 急な坂道ではアクセルペダルではなく、ブレーキペダルで停止・保持してください。車両の後退を抑えるためにアクセルペダルを使用しないでください。
 - ▶ アクセルペダルとブレーキペダルの同時使用は避けてください。
 - ▶ 発進は進行方向にあわせて D レンジまたは R レンジで行なってください (マニュアルモードでの発進は避けてください)。

⚠ 注意

上記の注意事項をお守りいただかない と、トランスミッションがオーバーヒー トするおそれがあります。

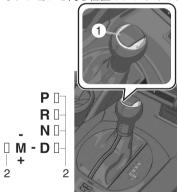
セレクトレバーの使いかた

セレクトレバーを操作する

- 1. エンジンを始動する。
- 2. セレクトレバーを操作する。

セレクトレバーの操作	操作条件
P の位置から R の位置にする。	ブレーキペダルを踏んだ状態で、セレクトレバ ーボタンを押して操作する。
R の位置から N の位置にする。	
N の位置から D の位置にする。	
D の位置から M の位置にする。	セレクトレバーボタンを押さずそのまま操作する。
M の位置から D の位置にする。	
D の位置から N の位置にする。	
N の位置から R の位置にする。	セレクトレバーボタンを押して操作する。
R の位置から P の位置にする。	

メーターに表示されるシフトポジションと同じ位置のシフトインジケーターが点灯します。



- セレクトレバーボタン
 シフトインジケーター

メーターにシフトポジションが表示されます。



マニュアルモードを使用する

セレクトレバーを D から M の位置にする。



マニュアルモードになり、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。 メーターにマニュアルモード表示とギヤ位置が表示されます。



シフトアップする



シフトダウンする



知識

マニュアルモードでも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むとキックダウンしますが、トラクションコントロールシステム (TCS)、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) を OFF、またはオフロード・トラクション・アシストを ON にしているときは、キックダウンしません。 ただし、エンジン回転が高い状態で連続走行したときには、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。

マニュアルモードを解除する

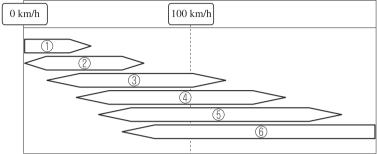
セレクトレバーを M から D の位置にする。



マニュアルモードが解除されます。

シフトチェンジ (変速) 制限速度

制限速度範囲内のときにセレクトレバーを操作すると変速します。



速度によりシフトダウンできないときは、メーターに表示されるギヤ位置が2回点滅します。

2速固定モードを使用する

セレクトレバーを D から M の位置にする。 車速を 10 km/h 以下にする。 セレクトレバーを+側に操作して、2 速にする。



2速固定モードになります。

□ 知識

2速固定モードを使用しているときは、2速のまま停車します。

<u>2 速固定モードを解除する</u>

セレクトレバーを操作して2速以外にする。 2速固定モードが解除されます。

ステアリングシフトスイッチ使用 上の警告・注意



҈ 警告

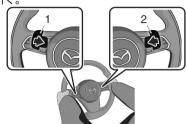
急激なエンジンブレーキの使用 (シフトダ ウン) は避ける。

高速走行中、またはぬれた路面や積雪路、凍 結路を走行しているときに急激なエンジン ブレーキ (シフトダウン) をすると、タイヤ がスリップし、思わぬ事故につながるおそ れがあります。

ステアリングシフトスイッチの使いかた

ダイレクトモードを使用する

セレクトレバーが D の位置のときに、ステアリングシフトスイッチのアップスイッチ (+/OFF) または ダウンスイッチ (一) を手前に引く。



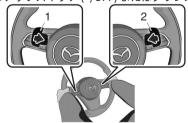
- 1. ダウンスイッチ(ー)
- 2. アップスイッチ (+/OFF)

ダイレクトモードになり、一時的にギヤ位置を手動で切り替えることができます。 メーターにダイレクトモード表示とギヤ位置が表示されます。



シフトアップ/シフトダウンする

ステアリングシフトスイッチのアップスイッチ (+/OFF) またはダウンスイッチ (ー) を手前に引く。



- 1. ダウンスイッチ (-) 2. アップスイッチ (+/OFF) シフトアップ/シフトダウンします。

知識

・停車中は、ダウンスイッチ(一)を手前に引いてもダイレクトモードにできません。

J 5

知識

・ダイレクトモードでも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むとキックダウンしますが、トラクションコントロールシステム (TCS)、ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) を OFF、またはオフロード・トラクション・アシストを ON にしているときは、キックダウンしません。 ただし、エンジン回転が高い状態で連続走行したときには、エンジン保護のため自動的にシフトアップする場合があります。

ダイレクトモードを解除する

次の操作を行なうと、ダイレクトモードを解除できます。

- ・アップスイッチ (+/OFF) を一定時間以上手前に引く。
- ・一定時間以上走行する(操作時の走行状態により時間は異なります)。
- 停車する。
- ・低速で走行する。

マニュアルモードを使用する

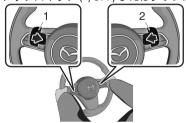
セレクトレバーを D から M の位置にする。



マニュアルモードになり、ギヤ位置を手動で切り替えることができます。 メーターにダイレクトモード表示とギヤ位置が表示されます。

シフトアップ/シフトダウンする

ステアリングシフトスイッチのアップスイッチ (+/OFF) またはダウンスイッチ (-) を手前に引く。



- 1. ダウンスイッチ(一)
- 2. アップスイッチ (+/OFF)

シフトアップ/シフトダウンします。



マニュアルモードでも、アクセルペダルをいっぱいに踏み込むとキックダウンしますが、TCS、DSC を OFF、またはオフロード・トラクション・アシストを ON にしているときは、キックダウンしませ ん。ただし、エンジン回転が高い状態で連続走行したときには、エンジン保護のため自動的にシフ トアップする場合があります。

マニュアルモードを解除する

セレクトレバーを M から D の位置にする。



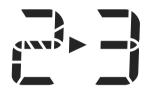
マニュアルモードが解除されます。

シフトチェンジ (変速) 制限速度

→5-36 ページ 「セレクトレバーの使いかた」

ギア・シフト・インジケーター (GSI) について (マニュアル車)

GSI は、燃費のよい快適な走行をサポートします。メーターに現在のギヤ位置と走行状態に適した推奨ギヤ位置を表示します。



🛴 知識

次の状態のときは、GSI は表示しません。

- ・停車しているとき
- ・チェンジレバーがニュートラルまたは R の位置のとき
- ・車両を発進させるとき
- ・2 秒以上クラッチペダルを踏み続けたと き

ギア・シフト・インジケーター (GSI) 使用上の警告・注意

介 注意

GSI を過信しないでください。実際の走行 状況では、表示と異なるシフト操作が必要 な場合があります。変速する前に道路や周 囲の状況を正確に判断してください。

パーキングブレーキ使用上の警 告·注意

҈ 警告

パーキングブレーキをかけたまま走行しな い。

ブレーキ部品が早く摩耗したり、ブレーキ が過熱するためブレーキの効きが悪くな り、思わぬ事故につながるおそれがありま す。

パーキングブレーキの使いかた

パーキングブレーキをかける

1. ブレーキペダルを踏む。



パーキングブレーキがかかります。

知識

寒冷時にパーキングブレーキをかけると凍 結によりパーキングブレーキを解除できな るなるおそれがあります。パーキングブレ ーキをかけずに、マニュアル車はチェンジレ バーを 1 または R の位置に、オートマチッ ク車はセレクトレバーを P の位置にしてタ イヤに輪止めをしてください。

パーキングブレーキを解除する

- 1. ブレーキペダルを踏む。
- 2. レバーを少し引き上げ、ボタンを押す。



3. ボタンを押したままレバーを下げる。



パーキングブレーキが解除されます。

ブレーキ・オーバーライド・システ ムについて

ブレーキ・オーバーライド・システムは、ブレーキペダルとアクセルペダルを同時に踏み込んだときに、安全のためにブレーキを優先するシステムです。 ブレーキ・オーバーライド・システムが作動するとメーター内のブレーキ・オーバーライド警告灯 が点灯します。

ブレーキ・オーバーライド・システム使用上の警告・注意

⚠ 注意

ブレーキペダルに足を乗せたまま走行しないでください。ブレーキオーバーライドシステムが正しく作動しない場合があります。

ブレーキ·オーバーライド·システ ムの便利な使いかた

ブレーキ・オーバーライド・システムの警告を作動しないように変更できます。 マツダ販売店にご相談ください。

ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) に ついて

HLA は、坂道などでブレーキペダルから足を放したときに、車両の後退または前進を防止する装置です。



知識

- ・緩勾配の坂道や積載状態によって HLA が 作動しないことがあります。
- パーキングブレーキがかかっているときや、車両が完全に停車していないときは HLA は作動しません。
- ・TCS/DSC 作動表示灯でが点灯している ときは、HLA が作動しないことがありま す。
- ・トラクションコントロールシステム (TCS)/ダイナミック・スタビリティ・コン トロール (DSC) を解除しても HLA は解除 されません。

ヒル・ローンチ・アシスト (HLA) 使 用上の警告・注意



警告

HLA を過信しない。

HLA は、あくまで発進するときの補助機能です。 HLA が作動する時間は限られています (約2 秒間) ので、アクセルやブレーキの適切な操作を怠ると、車両が動き出して思わぬ事故につながるおそれがあるため危険です。 発進時は周囲の安全を確認してください。 積載やけん引の状態によって、車両が注意ください。 また、マニュアル車の場合、クラッチペダルやアクセルペダルの操作方法によっては車両が後退することがあります。

エマージェンシーシグナルシステム (ESS) について

ESS は、急ブレーキをかけると、すべての方向指示灯を高速で点滅させ、後続車に注意を促すシステムです。 ESS は、急ブレーキをかけたときの車速が 55 km/h 以上のときに作動します。



知識

- ・すべての方向指示灯が高速点滅中に停車 したときは、すべての方向指示灯は通常の 周期で点滅します。ブレーキペダルから 足を放すと方向指示灯が消灯します。
- ・アンチロックブレーキシステム (ABS) 作動時は、ESS が作動しやすくなります。 そのため、すべりやすい路面でブレーキ をかけると ESS が作動することがあります。
- ・非常点滅表示灯を使用しているときは、 ESS が作動しません。

ランプスイッチについて

スイッチを操作すると、各ランプが点灯/消灯します。



ランプスイッチ使用上の警告・注 意

⚠ 注意

フロントガラスにステッカーやラベルなど を貼り付けてライトセンサーを覆わないで ください。センサーが周囲の明るさを正確 に感知できなくなります。



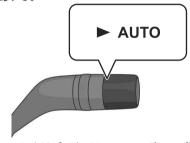
ランプスイッチの使いかた

知識

対向車がまぶしくないヘッドランプを採用 しています。そのため、海外のような一時的 な右側通行で使用するときでも、ヘッドラ ンプの光軸を調整する必要はありません。

オートライトを使用する

ランプスイッチが AUTO の位置にあることを 確認する。



明るいときはデイタイムランニングランプ*が 自動で点灯し、暗くなるとヘッドランプ、車幅 灯、尾灯、番号灯が自動で点灯します。 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯すると、メーター内 の車幅灯表示灯 が点灯します。

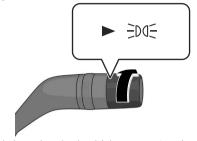
🃖 知識

- ・昼間でも周囲が暗い状態が数分間続くと ライトセンサーが夜間と判断し、周囲が 明るくなってもランプがすぐには消灯し ない場合があります。
- ・ヘッドランプを点灯させるタイミングを 変更することができます。マツダ販売店 にご相談ください。
- デイタイムランニングランプ*が点灯しないように設定できます。マツダ販売店にご相談ください。

車幅灯、尾灯、番号灯のみを使用する

車両の電源が ON のとき

停車時にランプスイッチを€DO€の位置にする。



車幅灯、尾灯、番号灯が点灯し、メーター内の車幅灯表示灯 が点灯します。 車両を発進させると、デイタイムランニングランプ*またはヘッドランプが点灯します。

車両の電源が OFF のとき

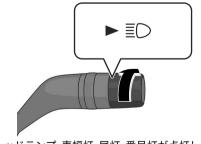
停車時にランプスイッチを**こり 0**年の位置にする。

車幅灯、尾灯、番号灯が点灯し、メーター内の車幅灯表示灯 が点灯します。

知識

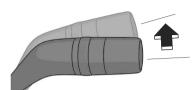
車両の電源が OFF のときに、ランプを点灯 したままにしないでください。 12 V バッテ リーがあがるおそれがあります。

<u>ヘッドランプを使用する</u>



ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯し、メーター内の車幅灯表示灯 が点灯します。

<u>ヘッドランプを上向き (ハイビーム) に切り替える</u>



ヘッドランプが上向き (ハイビーム) に切り替わ り、メーター内のヘッドランプ上向き表示灯

置○が点灯します。

パッシングをする

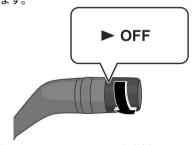




レバーを操作している間、ヘッドランプが上向き (ハイビーム) が点灯し、メーター内のヘッドランプ ト向き表示灯

ランプを消灯する

停車時にランプスイッチを OFF の位置にする。 ランプスイッチは自動で AUTO の位置にもど ります。



点灯しているすべてのランプが消灯し、メーター内の車幅灯表示灯 が消灯します。 消灯したランプは、車両を発進させる、またはランプスイッチを OFF の位置にすると再び点灯します。

ランプスイッチの便利な使いかた

カミング・ホーム・ライト

車両の電源を OFF にした後に、しばらくの間へ ッドランプを点灯させることができます。

カミング・ホーム・ライトを使用する

1. 車両の電源を ACC または OFF にする。





ヘッドランプが点灯し、次のいずれかの状態になると消灯します。

- ・車を降りて、すべてのドアが閉まってか ら一定時間が経過したとき
- ・ヘッドランプが点灯してから3分間経過したとき
- ・ヘッドランプが点灯してからランプスイッチを操作したとき

△ 知識

ヘッドランプが消灯するまでの時間を変更することができます。マツダ販売店にご相談ください。

リービング・ホーム・ライト

キーの操作で、離れた車のランプを点灯させる ことができます。

リービング・ホーム・ライトを使用する

車両の電源が OFF のときに、キーのアンロックスイッチを押す。



車両がキー操作信号を受信すると、ヘッドランプ、車幅灯、尾灯、番号灯が点灯します。

次のいずれかの状態になると消灯します。

- ・ランプが点灯してから 30 秒間経過したとき
- ・ランプスイッチを OFF の位置にしたとき
- ・キーのロックスイッチを押したとき





🗋 知識

リービング·ホーム·ライトが作動しないように設定できます。マツダ販売店にご相談ください。

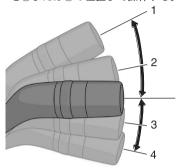
方向指示器の使いかた

レバーを操作すると、方向指示灯が点滅/消灯し ます。

方向指示器を使用する

左折または右折する

レバーを①または④の位置まで操作する。

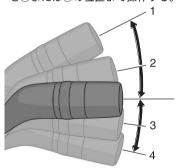


各方向指示灯が点滅し、メーター内の方向指示 灯 が点滅します。

レバーはハンドル操作に連動してもとにもどります。もどらないときは手動でもどしてください。

車線変更をする

レバーを②または③の位置まで操作する。



レバーを②または③の位置にしている間、各方向指示灯が点滅し、メーター内の方向指示灯

❤️ ❤️ が点滅します。

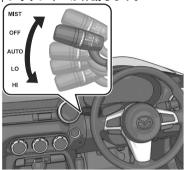
レバーを②または③の位置にしてすぐに離すと、スリーフラッシュターンシグナルが作動し、 方向指示灯が3回点滅します。

知識

- ・方向指示器のブザーの音量を変更することができます。マツダ販売店にご相談く ださい。
- ・スリーフラッシュターンシグナルを非作動に変更することができます。マツダ販売店にご相談ください。

フロントワイパー/ウォッシャース イッチについて

スイッチやレバーを操作すると、フロントワイパー/ウォッシャーが作動します。



フロントワイパー/ウォッシャース イッチ使用上の警告・注意

<u>∧</u> 警告

寒冷地では不凍液が入ったウォッシャー液 を使用する。また寒冷時にウォッシャー液 を噴射するときは、ガラスを温めてから行 なう。

寒冷時に不凍液が含まれないウォッシャー液を使用した場合、フロントガラス上で凍結し、視界不良などで思わぬ事故につながるおそれがあります。 ウォッシャー液を噴射する前に、デフロスターを使用してフロントガラスが十分に温まっていることを確認してください。

注意

- ▶ 凍結時や長時間ワイパーを使用しなかったときは、ワイパーゴムがガラスに貼り付いていることがあります。ガラスに貼り付いた状態で作動させると、ワイパーゴムの損傷、ワイパーモーターの故障につながるおそれがあります。
- ガラスが乾いている状態でワイパーを作動させると、ガラスに傷がついたり、ワイパーゴムを損傷したりするおそれがあります。ガラスが乾いているときは、ウォッシャー液を噴射してください。
- ウォッシャー液が十分に出ないときは、 ウォッシャースイッチを使用しないでく ださい。ウォッシャー液が出ない状態 で、ウォッシャースイッチを操作し続け ると、ポンプの故障につながるおそれが あります。

⚠ 注意

フロントガラスにステッカーやラベルなどを貼り付けてレインセンサーを覆わないでください。センサーが雨量を感知できなくなります。

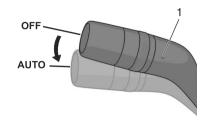


- 車両の電源が ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、次のような場合はワイパーが自動で作動することがあります。
 - ▶ フロントガラスのレインセンサー上部 に触れたり、布などでふいたとき。
 - ▶ フロントガラスや車内のレインセンサー部に衝撃が加わったとき。

ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、フロントガラスやワイパーを触らないでください。ワイパーが自動で作動し、指を挟んだり、ワイパーが損傷するおそれがあります。 車両の電源が ON で氷や雪を除去する、またはフロントガラスを清掃するときは、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。

フロントワイパー/ウォッシャース イッチの使いかた

オートワイパーを使用する



雨量に応じて、ワイパーが自動で作動します。

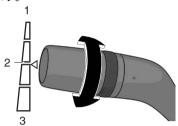


◯ 知識

- ・純正品以外の撥水コーティングを使用すると、レインセンサーが雨量を正確に検知できず、オートワイパーが正常に作動しないことがあります。純正品以外の撥水コーティングは使用しないでください。
- ・フロントガラスのレインセンサー上部に 泥や氷などが付着しているときに、ワイ パーが数回作動しても泥や氷などを取り 除けない場合、オートワイパーは作動を 停止します。オートワイパーが停止した 場合は、フロントガラスの泥や氷などを 取り除いてください。
- ・レインセンサーは光学センサーを使用しているため、強い光源、電磁波、赤外線などの影響により、オートワイパーが作動することがあります。 雨天時以外はワイパーレバーを OFF の位置にして走行することをおすすめします。

オートワイパーの感度を変更する

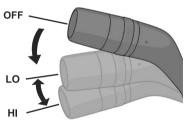
スイッチをまわすと、雨に反応する感度を調節 できます。



- 1. 雨に反応しやすい
- 2. 普通
- 3. 雨に反応しにくい

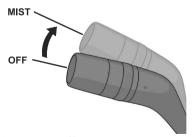
フロントワイパーを使用する

連続で使用する



LO の位置にするとワイパーが低速で作動し、HI の位置にすると高速で作動します。

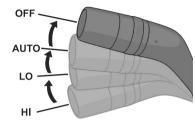
一時的に使用する



レバーを MIST の位置にしている間、ワイパー が作動します。

レバーを MIST の位置にしてすぐに離すと、ワイパーが一度だけ作動します。

フロントワイパーを停止する



ワイパーが停止します。

フロントウォッシャーを使用する



レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液 が噴射し、ワイパーが数回作動します。

リアウインドーデフォッガー (曇 り取り) スイッチについて

リアウインドーを熱線で温め、曇りを取ります。

リアウインドーデフォッガー (**曇** り取り)スイッチ使用上の警告・注

⚠ 注意

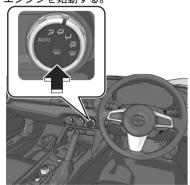
- ▶ リアウインドーの内側には熱線が取り付 けてあります。清掃するときは熱線を傷 つけないようにしてください。 →9-26ページ「外装をお手入れする」
- ▶ リアウインドーデフォッガーは、エンジ ン作動中に使用してください。また、連 続して長時間使用しないでください。12 V バッテリーがあがるおそれがあります。

リアウインドーデフォッガー (曇 り取り) スイッチの使いかた

<u>リアウインドーデフォッガー (曇り取り) を使</u> 用する

1. エンジンを始動する。





リアウインドーデフォッガー (曇り取り) が作動し、スイッチの表示灯が点灯します。 リアウインドーデフォッガー (曇り取り) は約15分間作動すると自動で停止します。

<u>リアウインドーデフォッガー (曇り取り) を停</u>止する

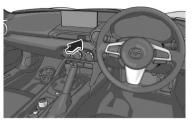
リアウインドーデフォッガー (曇り取り) 作動中に、リアウインドーデフォッガー (曇り取り)スイッチを押す。

リアウインドーデフォッガー (曇り取り) が停止し、スイッチの表示灯が消灯します。

非常点滅表示灯について

故障などでやむをえず路上駐車するときや、非 常時に使用します。

非常点滅表示灯の使いかた



すべての方向指示灯が点滅し、メーター内の方 向指示灯 が点滅します。 もう一度スイッチを押すと消灯します。

ホーンの使いかた

ハンドルのマーク周辺部を押す。 押している間、ホーンが鳴ります。

アンチロックブレーキシステム (ABS) について

ABS は、すべりやすい路面での制動時に起こる 車輪のロックを防いで車の方向安定性を保ち、 操縦性を確保するシステムです。



🆺 知識

- ブレーキペダルを踏んだとき、ペダルか ら小刻みな振動を感じることがありま す。これは ABS が正常に作動していると きの現象です。
- · ABS は低速 (10 km/h 以下) では作動しま せん。

アンチロックブレーキシステム (ABS) 使用上の警告・注意



警告

ABS を過信せず安全運転に心がける。

ABS が作動した状態でも車の方向安定性や 操縦性には限界があります。また、次のよ うなときには、速度をひかえめにし、車間距 離を十分にとって運転してください。ABS が装備されていない車に比べて制動距離が 長くなることがあるため、思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

- ジャリ道、新雪道を走行しているとき。
- ▶ タイヤチェーンを装着しているとき。
- ▶ 道路の継ぎ目などの段差を乗り越えると き。
- ▶ 凸凹道や石だたみなどの悪路を走行して いるとき。



⚠ 注意

前後輪とも必ず指定されたサイズや種類の タイヤを装着してください。指定されたサ イズや種類以外のタイヤを装着すると、ABS が正常に作動しないことがあります。

トラクションコントロールシステム (TCS) について

TCS は、水にぬれた路面や雪道などのすべりやすい路面での発進や旋回加速時に起こる駆動輪の空転を防ぎ、適切な駆動力と操縦性を確保するシステムです。

トラクションコントロールシステム (TCS) 使用上の警告・注意

҈ 警告

TCS を過信せず安全運転に心がける。 TCS が作動した状態でも駆動力の確保や車の操縦性には限界があり、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。

トラクションコントロールシステム (TCS) の使いかた

TCS を作動可能な状態にする

車両の電源を ON にする。 TCS が作動可能な状態になります。

TCS が作動すると TCS/DSC 作動表示灯 ぐぐが 点滅します。

TCS を作動可能な状態にする

DSC OFF スイッチを操作して、TCS の作動を停止できます。

→5-67 ページ「ダイナミック·スタビリティ· コントロール (DSC) の使いかた」

ダイナミック・スタビリティ・コン トロール (DSC) について

DSC は、すべりやすい路面での走行時や、緊急

回避など急激なハンドル操作による車両の横すべりを抑えるため、ABSやTCSなどにより、ブレーキやエンジンの出力を自動的に制御して、車両の安定性を確保するシステムです。「アンチロックブレーキシステム (ABS) について」、「トラクションントロールシステム (TCS) について」、「キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC) について」もあわせてお

読みください。 →5-63 ページ「アンチロックブレーキシステム (ABS) について」

→5-64 ページ「トラクションコントロールシス テム (TCS) について」

→5-72 ページ「キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC) について」

ダイナミック・スタビリティ・コン トロール (DSC) 使用上の警告・注 意

Λ

警告

DSC を過信せず安全運転に心がける。

DSC が作動した状態でも車両の安定性や操縦性には限界があるため、無理な運転は思わぬ事故につながるおそれがあります。特

に TCS/DSC 作動表示灯でが点滅している ときは、車両が横すべりしやすい状態になっ ています。慎重に運転してください。

⚠ 注意

- DSC を正常に作動させるために次の点を お守りください。
 - タイヤは指定されたサイズを使用し、4 輪ともに同一種類のタイヤを使用して ください。
 - ▶ 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでください。
- タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装着時のように径の異なるタイヤを使用したときは、DSC が正常に作動しないことがあります。

ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) の使いかた

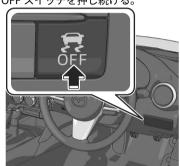
DSC を作動可能な状態にする

車速が 20 km/h 以上で走行する。 DSC が作動可能な状態になります。

DSC が作動すると TCS/DSC 作動表示灯 が点滅します。

トラクションコントロールシステム (TCS)/DSC/キネマティック・ポスチャー・コントロール (KPC)の 作動を停止する

- 1. 車両の電源を ON にする。
- 2. 停車中に音が鳴るまで DSC OFF スイッチを押し続ける。



もう一度、DSC OFF スイッチを押すと、TCS/DSC/KPC が作動可能な状態になります。

TCS/DSC/KPC の作動状態

スイッチの操作	表示灯	TCS の作動状態	DSC の作動状態	KPC の作動状態
音が鳴るまで DSC OFF スイッ チを押し続け る。	DSC OFF 表示灯 添点灯	車速 6 km/h 以 下で作動	非作動	非作動
音が鳴るまで DSC-TRACK スイ ッチを押し続け る。	DSC OFF 表示灯 森 点灯 DSC-TRACK 表示 灯 ²²² 点灯	作動頻度が抑え られる	作動頻度が抑えられる	作動

△ 知識

- ・TCS/DSC/KPC の作動を停止した状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動するとTCS/DSC/KPC が作動可能な状態にもどります。
- ・ぬかるみや新雪などからの脱出時に TCS/DSC/KPC が作動し、アクセルペダルを踏み込んでもエンジンの出力が上がらず、脱出困難なときに TCS/DSC/KPC の作動を停止します。

二 知識

- ・TCS/DSC/KPC の作動を停止しているときに、次のシステムが作動すると、TCS/DSC/KPC が作動可能な状態になります。
 - ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS)
 - ・マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)
 - ・クルーズコントロール
- ・DSC OFF スイッチを 10 秒以上押し続けると、その後 DSC OFF スイッチを押しても TCS/DSC/KPC の作動を停止することができなくなります。 その場合、一度車両の電源を OFF にして、再度車両の電源を ON にすると、通常の DSC OFF スイッチの操作が可能になります。

DSC-TRACK について

DSC-TRACK は、サーキットなどでスポーツ走行 をするときにトラクションコントロールシステ ム (TCS)、ダイナミック・スタビリティ・コント ロール (DSC) の作動頻度を抑え、通常の DSC よ りも車両の横滑りを許容するシステムです。車 両の横滑りが大きくなったときは、ハンドル操 作に応じてブレーキやエンジンの出力を制御し て車両の安定性を確保します。

DSC-TRACK 使用上の警告・注意

҈ 警告

DSC-TRACK を過信せず安全運転に心がけ

DSC-TRACK が作動した状態でも車両の安 定性や操縦性には限界があるため、無理な 運転は思わぬ事故につながるおそれがあり ます。

特に TCS/DSC 作動表示灯 が点滅してい るときは、車両が横すべりしやすい状態にな っています。 慎重に運転してください。

DSC-TRACK を公道で使用しない。

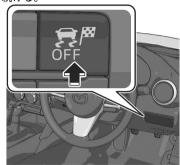
DSC-TRACK を作動させると DSC の作動頻 度が低下するため、無理な運転は思わぬ事 故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ▶ DSC-TRACK を正常に作動させるために 次の点をお守りください。
 - ▶ タイヤは指定されたサイズを使用し、4 輪ともに同一種類のタイヤを使用して ください。
 - ▶ 摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用し ないでください。
- ▶ タイヤチェーンや応急用スペアタイヤ装 着時のように径の異なるタイヤを使用し たときは、DSC-TRACK が正常に作動しな いことがあります。

DSC-TRACK の使いかた

停車中に音が鳴るまで DSC-TRACK スイッチを 押し続ける。



DSC-TRACK が作動し、メーター内の DSC-TRACK 表示灯 と DSC OFF 表示灯 が 点灯します。 もう一度、DSC-TRACK スイッチを押すと、 DSC-TRACK の作動が停止します。



- ・DSC-TRACK を作動させた状態でエンジンを停止した場合、次にエンジンを始動すると DSC-TRACK の作動が停止します。
- ・DSC-TRACK スイッチを 10 秒以上押し続けると、その後 DSC-TRACK スイッチまたは DSC OFF スイッチを押してもTCS/DSC の作動を停止することができなくなります。

その場合、一度車両の電源を OFF にして、 再度車両の電源を ON にすると、通常の DSC-TRACK スイッチ、DSC OFF スイッチ の操作が可能になります。

キネマティック・ポスチャー・コン トロール (KPC) について

KPC は、急なカーブなどでブレーキを制御して 車両の姿勢を安定させるシステムです。

キネマティック・ポスチャー・コン トロール (KPC) 使用上の警告・注



҈ 警告

KPC を過信せず安全運転に心がける。 KPC が作動した状態でも駆動力の確保や車 の操縦性には限界があり、無理な運転は思 わぬ事故につながるおそれがあります。

キネマティック・ポスチャー・コン トロール (KPC) の使いかた

KPC を作動可能な状態にする

車速が 20 km/h 以上で走行する。 KPC が作動可能な状態になります。



〕知識

KPC の作動状態を知らせする機能はありません。

KPC の作動を停止する

DSC OFF スイッチを操作して、KPC の作動を停止できます。 →5-67 ページ 「ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) の使いかた」

ドライブセレクションについて (オートマチック車)

ドライブセレクションは、車両の走行モードを SPORT モードに切り替えることができるシス テムです。SPORT モードを選択すると、アクセ ルペダルを踏み込んだときの車両応答性を高 め、力強く加速します。

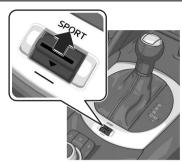
ドライブセレクション使用上の警 告・注意

⚠ 注意

ぬれた路面や積雪路などすべりやすい路面を走行しているときは、SPORT モードの使用を避けてください。タイヤがスリップするおそれがあります。

ドライブセレクションの使いかた

1.



SPORT モードが選択され、メーター内のセレクトモード表示灯**SPORT**が点灯します。

2.



SPORT モードが解除され、メーター内のセレクトモード表示灯**SPORT**が消灯します。

知識

- ・SPORT モードを選択すると、アクセルペダルを踏み込んだときの車両応答性が高められます。
- ・SPORT モードを選択すると、高いエンジン回転数での走行が多くなり、燃費が悪化することがあります。 通常時は SPORT モードを解除して走行することをおすすめします。
- ・次のときは、SPORT モードに切り替えることができません。 SPORT モードに切り替えることができないときは、セレクトモード表示灯 SPORT が点滅します。

知識

- ・アンチロックブレーキシステム (ABS) が作動しているとき
- ・トラクションコントロールシステム (TCS) が作動しているとき
- ・ダイナミック・スタビリティ・コントロール (DSC) が作動しているとき
- ・急激なハンドル操作を行なっていると
- ・マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) を使用しているとき
- ・次のときは、SPORT モードが解除されます。
 - ・車両の電源を OFF にしたとき
 - ・マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) を設定したとき

パワーステアリングについて

パワーステアリングはエンジン作動中に作動します。エンジンが停止している場合やパワーステアリングシステムが動作しない場合でも、ステアリング操舵は可能ですが、通常より重たくなります。

給油時の警告・注意

⚠ 警告

給油するときは必ず次のことを守る。

- エンジンを止める。
- ▶ タバコなどの火気を給油口に近づけない。
- ▶ こぼれた燃料はすみやかにふき取る。

燃料や燃料蒸気は引火しやすいため、火災 や爆発のおそれがあります。

給油を行なう前に、車体の金属部分に触れて 体の静電気を除去する。

放電による火花で、燃料に引火したり、やけ どしたりするおそれがあります。

給油中は必ず次のことを守る。

- 冷 給油はひとりで行ない、給油口に他の人を近づけない。
- ▶ 車内にもどったり、帯電している人や物に触れたりしない。
- ▶ 携帯電話やスマートフォン、その他電子機器などを使用しない。

再帯電により、燃料に引火したり、やけどしたりするおそれがあります。

フューエルキャップの開閉は必ずツマミ部 分を持って行なう。

放電による火花で、燃料に引火したり、やけ どしたりするおそれがあります。

フューエルキャップを開けるときは、ゆっくりとゆるめ、空気の抜ける音が止まってから開ける。

急に開けると燃料が噴き出すことがあるため、火災につながったり、目や皮膚に付着したりして、傷害につながるおそれがあります。

気化した燃料を吸い込まないようにする。 燃料成分には有害物質を含んでいる場合が あります。

給油ノズルは確実に給油口へ挿入する。

給油ノズルの挿入が浅いと給油の自動停止 が遅れるため、燃料があふれて火災につなが るおそれがあります。

҈ 警告

給油の自動停止後は、追加給油しない。

追加給油をすると、燃料があふれて火災につながるおそれがあります。

給油の自動停止後は、すぐに給油ノズルを 引き抜かない。

給油ノズル内に残った燃料がこぼれ出て、 火災につながるおそれがあります。

フューエルキャップは確実に閉める。

フューエルキャップが確実に閉まっていないと、走行中に燃料が漏れて火災につながる おそれがあります。

⚠ 注意

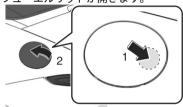
- 給油するときは、ガソリンスタンド内に 掲示されている注意事項を守ってください。
- 給油するときは、ドアや窓を必ず閉めてください。火災になった場合、室内に燃え広がるおそれがあります。
- 冷油中に、燃料を車にこぼさないようにしてください。燃料が付着すると変色、シミ、塗膜はがれの原因となります。
- 純正部品以外のフューエルキャップは使用しないでください。燃料装置や排出ガス発散抑止装置などの故障につながるおそれがあります。
- ▶ 自動洗車機や高圧洗車機を使うときは、 フューエルリッドが閉まっていることを 確認してドアを施錠してください。フューエルリッドが意図せず開いて損傷する おそれがあります。
- ▶ 指定燃料以外の燃料を使用したり、純正 以外の燃料添加剤を使用したりしないで ください。

有鉛ガソリンや粗悪ガソリン、軽油、高濃度アルコール含有燃料を使用すると、たとえば次のような悪影響をおよぼします。

- ▶ エンジンや燃料系部品の損傷 (最悪の 場合、車両火災)
- ➤ エンジンの出力低下や始動性能の悪化

給油のしかた

- すべてのドア、窓ガラス、トランクリッドを 閉める。
- 2. 車両の電源を OFF にする。
- 3. 次のいずれかの方法で運転席ドアを解錠する。
 - ・キーのアンロックボタン
 - ・リクエストスイッチ
 - ・運転席ドアのドアロックノブ
- フューエルリッドを押す。 フューエルリッドが開きます。



5. フューエルキャップをゆっくりまわす。 フューエルキャップが開きます。



6. フューエルリッドのホルダーにフューエル キャップをかけます。



- 7. 給油ノズルを奥まで差し込み、給油する。
- 8. フューエルキャップをカチッと音がするまでまわす。
- 9. フューエルリッドを閉める。

知識

- ・ドアを施錠した後にフューエルリッドを 閉めると、フューエルリッドは施錠され ません。
- ・次の機能によってドアが施錠された場合は、ドアの施錠と同時にフューエルリッドも施錠されます。
 - ・オートリロック機能
- ・無鉛プレミアムガソリンが入手できない場合、無鉛レギュラーガソリンをお使いになることもできますが、エンジンの性能を十分発揮できないことがあります。また、エンジン始動時やアクセルペダルを踏み込んだときに、異音が聞こえることがあります。
- ・バイオ燃料混合ガソリン(E10/ETB22)を お使いになることができます。

i-ACTIVSENSE について

i-ACTIVSENSE (アイ・アクティブセンス) とは、マツダの先進安全・運転支援システムの総称です。

i-ACTIVSENSE は、アクティブセーフティ技術と プリクラッシュセーフティ技術の 2 つの技術で 構成されています。

i-ACTIVSENSE 使用上の警告・注 意

҈警告

i-ACTIVSENSE を過信しない。

i-ACTIVSENSE は運転者の安全運転を前提 としたシステムであり、運転負荷および事故 被害の軽減を目的としています。 i-ACTIVSENSE の各機能には限界がありま すので、安全運転を心がけてください。

アクティブセーフティ技術につい ァ

アクティブセーフティ技術とは、運転者の安全 運転を支援し、事故を未然に防止する技術です。 アクティブセーフティ技術には、認知支援シス テムと運転支援システムがあります。

認知支援システム

認知支援システムは、道路、標識、車両の周囲、運 転者の疲労などの認知を支援するシステムで す。

認知支援システムには、次のシステムがありま す。

夜間視界

ハイ・ビーム・コントロールシステ.	لم ا
(HBC)	5-90 ページ
アダプティブ・LED・ヘッドライト	(ALH)
	5-92 ページ

左右側面·後側方認知

車線逸脱警報システム	5-95 ページ
ブラインド・スポット・モニタリン	ング
(BSM)	5-97 ページ

標識認知

交通標識認識システム (TSR)...... 5-101 ページ

車間認知

ディスタンス & スピード・アラート (DSA)......5-106 ページ

駐車場発進時後方認知

後側方接近車両検知 (RCTA)......5-110 ページ

運転者疲労検知

ドライバー・アテンション・アラート (DAA)......5-108 ページ

運転支援システム

運転支援システムは、走行中の加減速やハンドル操作を支援するシステムです。 運転支援システムには、次のシステムがあります。

車間距離

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)......5-112 ページ

プリクラッシュセーフティ技術に ついて

プリクラッシュセーフティ技術とは、事故を避けづらい状況での衝突回避支援、および避けられず衝突した際の被害軽減を図る技術です。 プリクラッシュセーフティ技術には、次のシステムがあります。

衝突回避支援·被害軽減

スマート・ブレーキ・サポート (SBS)......5-122 ページ AT 誤発進抑制制御.......5-126 ページ

衝突被害軽減

衝突二次被害軽減システム......5-129 ページ

警報・リスク回避支援表示について

警報・リスク回避支援表示は、次のシステムの作動状態を示します。

- ・車線逸脱警報システム
- ・ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- ・交通標識認識システム (TSR)
- ・ディスタンス&スピード・アラート (DSA)
- ・後側方接近車両検知 (RCTA)
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の前方検知機能
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の後方検知機能
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の後進時左右接近物検知機能
- · AT 誤発進抑制制御 [前進時]
- · AT 誤発進抑制制御 [後退時]

警報・リスク回避支援表示 (白) (システム待機状態)

すべてのシステムが作動条件を満たしていない、またはいずれかのシステムが機能を停止している場合は、警報・リスク回避支援表示(白) が表示されます。

警報・リスク回避支援表示 (緑) (ジステム作動状態)

📖 知識

警報・リスク回避支援表示 (緑) が表示されていても、作動条件を満たしていないシステムは作動し ません。

警報・リスク回避支援表示 (橙) (ジステム故障状態)

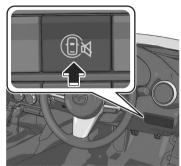
いずれかのシステムが故障している場合は、警報・リスク回避支援表示 (橙) (世文 *1/(日)) が表示されます。

警報・リスク回避支援 OFF 表示 (システム停止状態)

マツダコネクトですべてのシステムを OFF にしている場合は、警報・リスク回避支援 OFF 表示 が表示されます。

*1 i-ACTIVSENSE の警報音を OFF にしている場合に表示されます。 →5-81 ページ「i-ACTIVSENSE ミュートスイッチの使いかた」

i-ACTIVSENSE ミュートスイッチ の使いかた



i-ACTIVSENSE ミュートスイッチを押すと、次 のシステムが作動した際の警報音がなくなりま す。

- ・車線逸脱警報システム
- ・ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) の降車時警告機能付
- ・交通標識認識システム (TSR)
- ·後側方接近車両検知 (RCTA)

もう一度 i-ACTIVSENSE ミュートスイッチを押すと、もとの作動状態にもどります。



知識

i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで各システムの警報音を OFF にしたまま車両の電源を OFF にすると、次に車両の電源を ON にしたときに各システムの警報音が自動的に ON にもどります。

フォワードセンシングカメラ (FSC) について

フォワードセンシングカメラ (FSC) は、走行時 に前方の状況を判断したり、車線の白線 (黄線) などを検知したりしています。



- 1. フォワードセンシングカメラ (FSC) 次のシステムがフォワードセンシングカメラ (FSC) を利用します。
- ・ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)
- ・アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)
- ・車線逸脱警報システム
- ・交通標識認識システム (TSR)
- ・ディスタンス & スピード・アラート (DSA)
- ・ドライバー・アテンション・アラート (DAA)
- ・マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の前進時 検知機能
- · AT 誤発進抑制制御 [前進時]

⚠ 注意

- システムを正しく作動させるために、次のこ とをお守りください。
- > フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体 やその周辺部に強い衝撃や力を加えない でください。万一、衝撃が加わった場合 は、次のシステムの使用を中止してマツ ダ販売店にご相談ください。
 - ➤ ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC)
 - ➤ アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH)
 - ▶ 車線逸脱警報システム
 - ▶ 交通標識認識システム (TSR)
 - ➤ ディスタンス & スピード・アラート (DSA)

⚠ 注意

- ▶ ドライバー・アテンション・アラート (DAA)
- ➤ マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)
- ➤ スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の 前進時検知機能
- ▶ AT 誤発進抑制制御 [前進時]
- ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) のカバーをはずさないでください。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズを汚したり、傷をつけたりしないでください。また、分解などもしないでください。故障や誤作動の原因になります。
- > フォワードセンシングカメラ (FSC) の向きは厳密に調整されていますので、フォワードセンシングカメラ (FSC) の取り付け位置を変更したり、取りはずしたりしないでください。故障や誤作動の原因になります。
- ▶ カメラのレンズの手入れは、マツダ販売店にご相談ください。
- ➤ インストルメントパネルの上に、光を反射するものを置かないでください。
- ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスに、アクセサリー、ステッカー、フィルムなどを貼らないでください。 フォワードセンシングカメラ (FSC) のレンズの前方にさまたげとなるものがあると、それが透明であっても誤作動の原因となります。
- フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近のフロントガラスは、汚れたり曇ったりしないように常にきれいな状態にしてください。フロントガラスが曇った場合は、曇り取りスイッチを押してください。
- > フォワードセンシングカメラ (FSC) は、フロントガラスの汚れを検知してお知らせする機能を備えていますが、ビニール袋、氷、雪などが付着した場合など、状況によっては検知できない場合があります。このようなときは前方車を正しく判断できず、正しい制御ができないおそれがあります。常に前方を注意して運転してください。
- フロントガラスの手入れをする場合は、 ガラスクリーナーなどがフォワードセン シングカメラ (FSC) のレンズに付着しな いようにしてください。また、フォワー ドセンシングカメラ (FSC) のレンズには 触れないでください。

⚠ 注意

- ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) 前方 のフロントガラス内側の清掃は、マツダ 販売店にご相談ください。
- 承び石などでフロントガラスに傷がつい た場合は、フロントガラスを必ず交換し てください。フロントガラスを交換する 場合は、マツダ販売店にご相談ください。
- ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) 本体 周辺の修理をする場合は、マツダ販売店 にご相談ください。
- ▶ ルームミラー周辺の修理をする場合は、 マツダ販売店にご相談ください。
- ▶ タイヤは指定されたサイズを使用し、4 輪 ともに同一種類のタイヤを使用してくだ さい。また、摩耗状態が著しく異なるタ イヤや空気圧が著しく異なるタイヤを、 混ぜて使用しないでください (応急用ス ペアタイヤを含む)。

🗋 知識

- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が逆 光や霧などによって正常に機能しない場 合に、フォワードセンシングカメラ (FSC) に関連するシステムの機能が一時的に停 止します。その際、次の警告表示を点灯 させますが、故障ではありません。
 - · HBC 警告表示
 - · ALH 警告表示
 - · i-ACTIVSENSE 警告表示
 - · SBS OFF 表示
- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が高 温によって正常に機能しない場合に、フ ォワードセンシングカメラ (FSC) に関連 するシステムの機能が一時的に停止しま す。その際、次の警告表示を点灯させま すが、故障ではありません。エアコンを 作動させるなどして、フォワードセンシ ングカメラ (FSC) 周辺の温度を下げてく ださい。
 - · HBC 警告表示
 - · ALH 警告表示
 - · i-ACTIVSENSE 警告表示
 - ・SBS OFF 表示

知識

- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) がフ ロントガラスの汚れや曇りを検知した場 合に、フォワードセンシングカメラ (FSC) に関連するシステムの機能が一時的に停 止します。その際、次の警告表示を点灯 させますが、故障ではありません。フロ ントガラスの汚れを取り除く、または曇 り取りスイッチを押してください。
 - · HBC 警告表示
 - · ALH 警告表示
 - · i-ACTIVSENSE 警告表示
 - · SBS OFF 表示

歩行者の検知について

次の条件をすべて満たしている場合に、フォワ ードセンシングカメラ (FSC) が歩行者を検知し ます。

- ・歩行者の身長が、約1m~2m のとき
- 頭部、両肩、足など、歩行者の輪郭が判別でき るとき

次の条件のいずれかを満たしている場合は、フ ォワードセンシングカメラ (FSC) が歩行者を検 知できないことがあります。

- ・歩行者が複数人いるとき
- ・歩行者が別の障害物の近くにいるとき
- 歩行者がしゃがんでいる、横たわっている、前 かがみになっているとき
- ・歩行者が急に飛び出してきたとき
- ・歩行者が何かを持っているとき(傘をさす、 大きな荷物を持つなど)
- ・歩行者が背景に溶け込んでいるとき (夜間な どに暗い場所にいる、背景と近い色の服を着 ているなど)

物の検知について

次の条件のいずれかを満たしている場合は、フ ォワードセンシングカメラ (FSC) が正確に対象 物を検知できず、各システムが正常に作動しな いことがあります。

- ・前方車と同程度の速度で走行しているとき
- ・夜間やトンネル内などで、ヘッドランプを点 灯していないとき
- ・対象物がフォワードセンシングカメラ (FSC) の死角にいるとき
- ・対象物が横から飛び出したり、目の前に割り 込んだりしたとき

- ・対象物との距離が極端に近いとき、または極端に遠いとき
- ・自車が進路変更をして対象物に接近したとき
- 対象物 (前方車、白線 (黄線)、標識) に汚れや 擦れがあるとき
- ・前方車が特殊な形状のとき (キャリアカーなど)
- ・前方車が荷台の低いトラックのとき
- ・前方車の車高が極端に低いとき、または極端 に高いとき
- ・前方車がヘッドランプの照射範囲外にいると き
- ・先行車のテールランプ点灯面積が小さいとき
- ・先行車のテールランプが暗いとき、または消 灯しているとき
- ・対向車のヘッドランプが暗いとき、または消 灯しているとき
- ・天候が悪いとき(雨、霧、雪など)
- ・前方の視界状況が悪いとき (前方車が水、雪、砂などをまき上げて走行するなど)
- ・前方から強い光を受けたとき (逆光、ヘッド ランプ上向き (ハイビーム) など)
- ・周囲が暗いとき(夜間、夕方、朝方、トンネル、 屋内駐車場など)
- ・周囲に光源があるとき (街灯、電光掲示、信号機など)
- ・周囲に光を反射する物があるとき (反射板、標識など)
- ・周囲の明るさが急に変わるとき (トンネルの 出入り口など)
- ・自車のヘッドランプの明るさが十分でないとき(ヘッドランプのレンズが汚れて照射が弱いとき、ヘッドランプの光軸がずれているときなど)
- ・自車のタイヤが指定サイズと異なるとき(タイヤチェーン装着時、応急用タイヤ装着時など)
- ・自車のタイヤの偏摩耗が著しいとき
- ・フロントガラスに異物が付着しているとき (氷、曇り、雪、霜、雨滴、汚れ、ビニールなど)
- ・フロントガラスが汚れたり、曇ったりしてい るとき
- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) 付近に遮 へい物があり、前方が見えないとき (ルーフレ ールを装着して長尺物を載せたときなど)
- ・ウォッシャーを使用しているとき
- ・降雨時にワイパーを使用していないとき
- ・自車が傾いているとき (荷室や後席に重い荷物を載せたときなど)
- ・急カーブ、急な上り坂、急な下り坂を走行して いるとき
- ・カーブの多い道、起伏の激しい道を走行して いるとき
- ・凸凹な道を走行しているとき

- ・模様のない壁の横を走行しているとき (フェンスや縦じま模様の壁を含む)
- ・路面から強い光の反射があるとき

レーダーセンサーについて

レーダーセンサーは、特定方向に電波を送信しつつ反射してもどってきた電波を受信することで対象物を検知します。

車両前方



1. フロントレーダーセンサー*

車両後方



1. リアサイドレーダーセンサー

⚠ 注意

- ▶ レーダーセンサーを正しく機能させるために、次のことをお守りください。
 - ▶ サスペンションを改造しないでください。
 - ▶ タイヤは指定されたサイズを使用し、4 輪ともに同一種類のタイヤを使用して ください。また、摩耗状態が著しく異 なるタイヤや空気圧が著しく異なるタ イヤを、混ぜて使用しないでください (応急用スペアタイヤを含む)。
 - ▶ レーダーセンサーに強い水圧を与えたり、強くこすったりしないでください。
 - レーダーセンサー付近の部品に、ステッカーなどを貼り付けないでください。
 - ➤ レーダーセンサー付近の部品に異物が 付着した場合は、異物を取り除いて車 両の電源を OFF にしてください。 車両 の電源を OFF にすることで、異物検知 の状態がリセットされます。

- ▶ レーダーセンサー付近の部品を修理、 交換、塗装する場合は、マツダ販売店に ご相談ください。
- ▶ レーダーセンサーの前面を覆うような 部品を取り付けないでください。
- フロントレーダーセンサーのカバーを 正規品以外の物に取り替えないでくだ さい。
- > レーダーセンサー付近の部品に強い力が かかった場合は、レーダーセンサーが故 障したり、レーダーセンサーの向きがず れたりして、各システムが正常に作動し なくなるおそれがあります。ただちに各 システムの使用を中止し、マツダ販売店 で点検を受けてください。

📖 知識

- ・レーダーセンサーは、センサーの異常や 前面の汚れなどを検知して運転者に知ら せる機能を備えています。対処可能なメ ッセージが画面に表示された場合は、メ ッセージに従ってください。
- ・レーダーセンサーは、日本国内の電波法 の認可を受けています。日本国外で走行 する際には、その国の認可を受ける必要 があります。
 - ・本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けております。
 - ・本製品の改造は禁止されています。 (適合証明番号などが無効となります。)

フロントレーダーセンサー

次のシステムがフロントレーダーセンサーを利 用します。

ディスタンス&スピード・アラート (DSA)マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)

◯ 知識

- ・前方車が少ない道路を走行すると、フロントレーダーセンサーの汚れを示すメッセージが一時的に画面に表示されることがあります。
- ・片側に高架が続いている道路を走行する と、フロントレーダーセンサーの機能が 一時的に制限されることがあります。
- ・12V バッテリーが弱くなってきた場合は、 フロントレーダーセンサーの検知性能が 低下して各システムが正常に作動しなく なるおそれがあります。
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合は、フロントレーダーセンサーが前方車や障害物を正確に検知できないことがあります。
 - ・天候が悪いとき
 - ・前方の視界状況が悪いとき
 - ・強力な電波を発する施設や物体などの 近くを走行しているとき
 - ・前方車の後面が電波を反射しにくいとき
 - ・前方車の電波反射面積が小さいとき
 - ・自車が傾いているとき
 - フロントレーダーセンサー付近の部品 に異物が付着しているとき
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合は、フロントレーダーセンサーが隣接車線の車両や周辺の障害物を検知したり、前方車や障害物を検知できなかったりすることがあります。
 - ・カーブの始まりやカーブの終わりを走 行しているとき
 - カーブが連続する道路を走行しているとき
 - ・上り坂と下り坂が繰り返される道路を 走行しているとき
 - ・車線幅の狭い道路を走行しているとき
 - ・悪路や未舗装の道路を走行しているとき
 - ・前方車がフロントレーダーセンサーの 死角にいるとき
 - ・前方車との距離が極端に近いとき
 - ・前方車が不安定な走行をしているとき
 - 割り込みなどで車両が急接近してきたとき

リアサイドレーダーセンサー

次のシステムがリアサイドレーダーセンサーを 利用します。

- ・ブラインド・スポット・モニタリング (BSM)
- ・ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) の降車時警告機能付
- ·後側方接近車両検知 (RCTA)
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の後進時 左右接近物検知機能

二 知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合は、リアサイドレーダーセンサーが対象物を検知できないことがあります。
 - ・天候が悪いとき
 - ・急カーブや凸凹道路を走行していると き
 - ・隣接した車両のレーダーセンサーによって、電波干渉を受けているとき
 - ・隣接した壁や車両によって、フロントサイドレーダーセンサーの検知範囲がさまたげられたり、レーダーが反射されたりしているとき
 - ・自車の前方または側方から、車両など が検知範囲に突然進入してきたとき
 - 対象物が非常に小さいとき
 - ・対象物が非常に低い/高いとき
 - ・車両が旋回しながら接近してくるとき
 - ・停止していた車両などが突然動き始め たとき
 - ・複数の物体が同時に移動しているとき
 - ・リアサイドレーダーセンサー付近のバ ンパーが変形しているとき
 - リアサイドレーダーセンサー付近のバンパーに異物が付着しているとき
 - ・リアサイドレーダーセンサー付近の温度が非常に高いとき
- ・リアサイドレーダーセンサーは、次のような対象物を検知できないことがあります。
 - 動物
 - ・歩行者
 - ・低速で移動している、自転車および小型の二輪車
 - ・ショッピングカート
 - ・道路上および道路端の静止物体
 - ・レーダーが反射しにくい形状の車両



・自車とほとんど速度差がなく、長い時間並走している車両

超音波センサーについて

超音波センサーは、特定方向に超音波を送信し つつ反射してもどってきた超音波を受信するこ とで対象物を検知します。

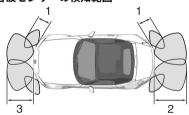
フロント超音波センサー



リア超音波センサー



超音波センサーの検知範囲



- 1. 約50 cm
- 2. 約1m50cm
- 3. 約1m

注意

- ▶ 超音波センサーを正しく機能させるため に、次のことをお守りください。
 - ▶ サスペンションを改造しないでくださ U10
 - ▶ 超音波センサーに強い水圧を与えた り、強くこすったりしないでください。

注意

- ▶ 超音波センサーにステッカーなどを貼 り付けないでください。
- ▶ バンパーを修理、交換、塗装する場合 は、マツダ販売店にご相談ください。
- ▶ 対象物の種類や周囲の条件によっては、超 音波センサーが対象物を検知できる距離 が短くなったり、対象物を検知できなか ったりすることがあります。必ず周囲の 安全を直接確認しながら運転してくださ い。
- ▶ 超音波センサー付近の部品に強い力がか かった場合は、超音波センサーが故障し たり、超音波センサーの向きがずれたり して、各システムが正常に作動しなくな るおそれがあります。ただちに各システ ムの使用を中止し、マツダ販売店で点検 を受けてください。



知識

- ・超音波センサーは、センサーの異常や前 面の汚れなどを検知して運転者に知らせ る機能を備えています。対処可能なメッ セージが画面に表示された場合は、メッ セージに従ってください。
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、超音波センサーが対象物を検知でき ず各システムが正常に作動しないことが あります。
 - ・対象物が針金、ロープ、ポールなどの細 いもののとき
 - ・対象物が綿、雪などの音波を吸収しや すいもののとき
 - ・対象物が鋭角的な形を持つもののとき
 - ・対象物の背が高く、上部が張り出して いるとき
 - ・対象物の背が低いとき
 - 対象物が複数あるとき
 - 対象物がセンサーに近づきすぎている とき
 - ・センサー部に氷、雪、泥などが付着した とき
 - ・センサー部にどしゃぶりの雨や水しぶ きがかかったとき
 - ・センサー部が凍結したとき
 - センサーを手でふさいだとき

□ 知識

- ・センサー付近に強い衝撃が加わったとき
- ・車両姿勢が大きく傾いたとき
- ・炎天下や寒冷時
- ・他車のホーン、オートバイのエンジン 音、大型車のエアブレーキ音、他車のセンサーなど、超音波を発生するものが 近づいたとき
- ・市販のフェンダーポールや無線機用ア ンテナを車に取り付けたとき
- ・背の高い縁石、直角の縁石、急な坂道に 向かって進んだとき
- ・凹凸のある壁、階段に向かって進んだ とき
- ・天井の低い場所を走行しているとき
- ・凹凸道、坂道、砂利道、草むら、グレーチ ングなどを走行しているとき
- ・超音波センサーは、バンパーの真下付近の対象物を検知しません。超音波センサーよりも低い位置にある対象物を一度検知しても、接近すると突然検知しなくなることがあります。

フロント超音波センサー

次のシステムがフロント超音波センサーを利用 します。

· AT 誤発進抑制制御 [前進時]

リア超音波センサー

次のシステムがリア超音波センサーを利用しま す。

- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) の後進時 検知機能
- · AT 誤発進抑制制御 [後退時]
- ・パーキングセンサー

ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) について*

HBC は、夜間走行時に前方の状況を判断して、 ヘッドランプの上向き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を自動的に切り替えるシステムで す。





ハイ・ビーム・コントロールシステ ム (HBC) 使用上の警告・注意

⚠ 注意

- ➤ HBC を正常に作動させるために、次のことをお守りください。
 - ▶ サスペンションを改造しないでください。
 - ▶ ヘッドランプユニットを改造しないでください。
 - ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) を 取りはずさないでください。
- ▶ システムを過信せず、必要に応じて上向 き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を 手動で切り替えてください。

ハイ・ビーム・コントロールシステ ム (HBC) の使いかた

□ 知識

- ・HBC が対象物を認識できる距離は、周囲の状況によって異なります。
- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できず、HBC が正常に作動しないことがあります。
 →5-82 ページ「フォワードセンシングカ

→5-82 ページ「フォワードセンシングカ メラ (FSC) について」

HBC を使用する

ランプスイッチが AUTO の位置にあることを 確認する。



HBC が周囲の状況を判断して自動で作動します。

HBC が作動すると、メーター内の HBC 表示灯 一人が点灯します。

ヘッドランプが上向き (ハイビーム) に切り替 わるとき

次の条件をすべて満たしている場合に、HBC が ヘッドランプを上向き (ハイビーム) に切り替え ます。

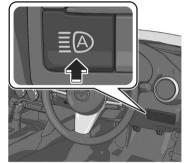
- ・車速が約30km/h以上のとき
- ・システムが前方車を検知していないとき

ヘッドランプが下向き (ロービーム) に切り替 わるとき

次の条件のいずれかを満たしている場合に、 HBC がヘッドランプを下向き (ロービーム) に 切り替えます。

- ・車速が約 20 km/h 未満のとき
- ・街灯が並んでいるエリアや路面の明るい街中 を走行しているとき
- ・システムが前方車のランプ類を検知したとき

作動中の HBC を停止する



HBC が停止すると、メーター内の HBC 表示灯 画が消灯します。

もう一度 HBC スイッチを押すと、HBC が作動 可能な状態にもどります。

📖 知識

HBC を停止したまま車両の電源を OFF にすると、次に車両の電源を ON にしたときにHBC が自動的に ON になります。

HBC を OFF にする

マツダコネクトで HBC を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

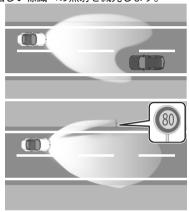
アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) について^{*}

ALH は、夜間走行時に前方の状況を判断して、 ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変 化させるシステムです。

ALH には、次の4つの機能があります。

グレアフリー (防眩) ハイビーム

ヘッドランプ上向き (ハイビーム) 時に、前方車 や眩しい標識への照射を減光します。

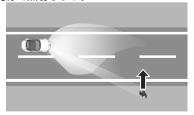


マーキングライト

自車と衝突する可能性がある歩行者をヘッドランプで強調照射します。

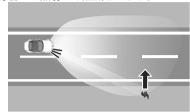
ヘッドランプが下向き (ロービーム) のとき

歩行者をヘッドランプ上向き (ハイビーム) の一 部光源で照射します。



ヘッドランプが上向き (ハイビーム) のとき

歩行者への照射のみ点滅させます。



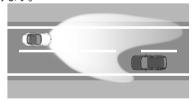
ワイド配光ロービーム

ヘッドランプ下向き (ロービーム) の照射範囲を 拡大します。



ハイウェイモード

高速走行時にヘッドランプの照射角度を上方に 向けます。



アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 使用上の警告・注意

⚠ 注意

- ➤ ALH を正常に作動させるために、次のことをお守りください。
 - サスペンションを改造しないでください。
 - ▶ ヘッドランプユニットを改造しないでください。
 - ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) を 取りはずさないでください。
- システムを過信せず、必要に応じて上向 き (ハイビーム) と下向き (ロービーム) を 手動で切り替えてください。

アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) の使いかた

知識

- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できず、ALH が正常に作動しないことがあります。
 - →5-82 ページ「フォワードセンシングカ メラ (FSC) について」
- ・標識の位置や眩しさによっては、グレアフリー (防眩) ハイビームが正常に作動しないことがあります。
- ・歩行者の位置や動きによっては、マーキン グライトが正常に作動しないことがあり ます。

ALH を使用する

ランプスイッチが AUTO の位置にあることを 確認する。



ALH が周囲の状況を判断して自動で作動します。

ALH が作動すると、メーター内の ALH 表示灯 Aが点灯します。

グレアフリー (防眩) ハイビームが作動すると き

対象に応じた条件をすべて満たしている場合に、グレアフリー (防眩) ハイビームが作動します。

- ・(対象が前方車の場合)
 - ・車速が約 30 km/h 以上のとき
 - ・システムが前方車を検知しているとき

・(対象が標識の場合)

- ・車速が約 60 km/h 以上のとき
- ・システムが眩しい標識を検知しているとき

マーキングライトが作動するとき

車速が約 20 km/h から約 80 km/h の場合に、 システムが自車と衝突する可能性のある歩行者 を検知すると、マーキングライトが作動します。

ワイド配光ロービームが作動するとき

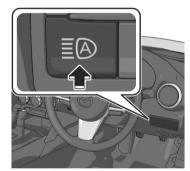
次の条件のいずれかを満たしている場合に、ワイド配光ロービームが作動します。

- ・車速約 40 km/h 未満で走行中のとき
- ・停車中に方向指示灯を点滅させたとき

ハイウェイモードが作動するとき

車速が約 95 km/h 以上のときにハイウェイモードが作動します。

作動中の ALH を停止する



ALH が停止すると、メーター内の ALH 表示灯 (線) A が消灯します。

もう一度 ALH スイッチを押すと、ALH が作動可能な状態にもどります。



知識

・ALH を停止したまま車両の電源を OFF にすると、次に車両の電源を ON にした ときに ALH が自動的に ON になります。

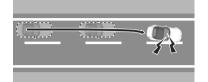
ALH を OFF にする

マツダコネクトで ALH を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

5-94

車線逸脱警報システムについて

車線逸脱警報システムは、自車が車線から逸脱 する可能性があることを知らせるシステムで す。自車が車線から逸脱する可能性があると、 警報と画面表示で運転者に危険を知らせます。



車線逸脱警報システム使用上の警 告·注意

警告

車線逸脱警報システムを過信しない。

- ▶ 車線逸脱警報システムには限界がありま す。システムを過信せず、常にハンドル の操作で進路を修正してください。
- ▶ 車線逸脱警報システムは、前方不注意を 補助するものではありません。システム を過信すると思わぬ事故につながるおそ れがあります。



⚠ 注意

車線逸脱警報システムを正常に作動させる ために、次のことをお守りください。

- ▶ サスペンションを改造しないでください。
- ▶ 前後輪とも必ず指定されたサイズのタイ ヤを装着してください。タイヤ交換など を行なうときは、マツダ販売店にご相談 ください。

車線逸脱警報システムの使いかた

車線逸脱警報システムが作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、自車が 車線から逸脱する可能性があるとシステムが判 断すると、車線逸脱警報システムが作動します。

- ・車速が約60km/h以上のとき
- ・車線の白線 (黄線) を検知しているとき

車線逸脱警報システムが作動している場合は、 画面表示と警報 (ハンドルの振動、警報音) で運 転者に危険を知らせます。

メーター



3

🕽 知識

- ・車線逸脱警報システムは、白線 (黄線) を検知している側のみ作動します。
- ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が対象物を検知できず、車線逸脱警報システムが正常に作動しないことがあります。 →5-82 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」
- ・マツダコネクトで車線逸脱警報システム の警報種類を変更できます。 →マツダコネクト"設定"で設定する、ま たはマツダ販売店にご相談ください。

<u>車線逸脱警報システムが一時的に解除されると</u> き

次の条件のいずれかを満たすと、車線逸脱警報システムが一時的に解除されます。 なお、車線逸脱警報システムは、作動可能な状態になると自動で復帰します。

- ・方向指示器を操作したとき
- アクセル操作をしたとき

ハンドル操作をしたときブレーキ操作をしたとき

警報音を OFF にする

車線逸脱警報システム作動時の警報音を OFF にする方法は 2 つあります。

- ・マツダコネクトで警報音を OFF にする →マツダコネクト "設定" で設定する、または マツダ販売店にご相談ください。
- i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで警報音を OFF にする →5-81 ページ「i-ACTIVSENSE ミュートスイッチの使いかた」

車線逸脱警報システムを OFF にする

マツダコネクトで車線逸脱警報システムを OFF にできます。

→マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

車線逸脱警報システムが OFF になると、車線逸 脱警報システム OFF 表示 OFF が点灯します。

ブラインド・スポット・モニタリン グ (BSM) について

BSM は、車線変更時における運転者の後方確認を支援するシステムです。 自車の後方から接近する車両を検知すると、各種表示と警報音で運転者に危険を知らせます。



降車時警告機能付

降車時警告機能は、降車時における運転者の後 方確認を支援するシステムです。 自車の後方か ら接近する車両や自転車を検知すると、各種表 示と警報音で運転者に危険を知らせます。

ブラインド・スポット・モニタリン グ (BSM) 使用上の警告・注意



警告

車線変更時には、必ず目視にて周辺状況を 確認する。

BSM は、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。システムの作動には各種の制約がありますので、隣接車線に車両が存在する場合でも接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れたりすることがあります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

降車時には、必ず目視にて周辺状況を確認 する。

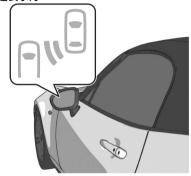
降車時警告機能は、降車時の後方確認を支援するシステムです。システムの作動には各種の制約がありますので、自車周辺に車両が存在する場合でも接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れたりすることがあります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

ブラインド・スポット<u>・モニタリン</u> グ (BSM) の使いかた

BSM が作動するとき

車速が約 15 km/h 以上の場合にシステムが接 近車両を検知すると、BSM が作動します。 BSM が作動している場合は、接近表示灯の点灯 と画面表示(白)*1で運転者に接近車両の存在を 知らせます。

接近表示灯



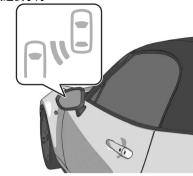
メーター



*1 メーターの画面表示 (白) は、メーターを i-ACTIVSENSE 画面に設定している場合のみ に表示されます。

接近車両を検知している方向に方向指示器のレ バーを操作すると、接近表示灯の点滅、警報音、 警告表示(橙)で運転者に危険を知らせます。

接近表示灯



メーター



知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、BSM が正常に作動しないことがあり ます。
 - ・リアサイドレーダーセンサーが対象物 を検知できないとき →5-85 ページ「レーダーセンサーにつ いて」
 - 道路が急勾配のとき
 - ・道路幅が極端に広いとき
 - ・2 車線以上の車線変更をしているとき
- ・市街地の交差点を曲がる場合や、道路上 および道路端の停止物 (ガードレール、側 壁、駐車車両など) に対して、BSM が作動 することがあります。

知識

- ・車両後部に自転車のキャリアなどを装着 する場合は、BSM を OFF にしてくださ い。レーダーの電波がさえぎられるた め、BSM が正常に作動しない可能性があ ります。
- ・接近表示灯の明るさは、パネルライトコ ントロールと連動しています。 →5-25 ページ「パネルライトコントロー ルの使いかた」

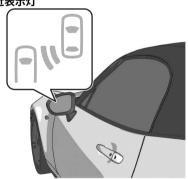
降車時警告機能が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合にシステム が接近車両を検知すると、降車時警告機能が作 動します。

- ・自車が停止しているとき
- ・車両の電源が ON のとき、または車両の電源 が OFF になってから 3 分以内のとき

降車時警告機能が作動している場合は、接近表 示灯の点灯とメーターの画面表示(白)*1で接近 車両の存在を知らせます。

接近表示灯



メーター



*1 メーターの画面表示(白)は、メーターを i-ACTIVSENSE 画面に設定している場合のみ に表示されます。ただし、車両の電源が OFF の場合は、メーターの画面表示(白)が表示 されません。

さらに、接近車両を検知している方向のドアを 開けると、接近表示灯の点滅、警報音、メーター の警告表示(橙)で危険を知らせます。

接近表示灯



メーター



□ 知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、降車時警告機能が正常に作動しない ことがあります。
 - ・リアサイドレーダーセンサーが対象物 を検知できないとき →5-85ページ「レーダーセンサーにつ いて」
 - ・自車の近くに駐車車両があるとき
 - 人が車に近づいてきたとき
 - 移動物の速度が遅いとき
- ・道路上および道路端の停止物 (ガードレール、側壁、駐車車両など) に対して、降車時警告機能が作動することがあります。
- ・車両後部に自転車のキャリアなどを装着 した場合は、レーダーの電波がさえぎられて降車時警告機能が正常に作動しない 可能性があります。
- ・接近表示灯の明るさは、パネルライトコントロールと連動しています。 →5-25ページ「パネルライトコントロールの使いかた」

警報音を OFF にする

BSM および降車時警告機能作動時の警報音を OFF にする方法は 2 つあります。

- ・マツダコネクトで警報音を OFF にする →マツダコネクト"設定"で設定する、または マツダ販売店にご相談ください。
- i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで警報音を OFF にする →5-81 ページ「i-ACTIVSENSE ミュートスイッチの使いかた」

BSM および降車時警告機能を OFF にする

マツダコネクトで BSM および降車時警告機能 を OFF にできます。

→マツダコネクト"設定"で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

交通標識認識システム (TSR) につ いて*

TSR は、走行中に車両が認識した交通標識を画 面に表示することで、運転者に交通標識を知ら せるシステムです。

交通標識認識システム (TSR) 使用 上の警告・注意



҈ 警告

走行中は、必ず目視にて交通標識を確認す

TSR は、天候状況や交通標識の状況などに よって交通標識を認識できなかったり、実際 とは異なる交通標識を表示したりすること があります。交通標識の確認を怠ると思わ ぬ事故につながるおそれがありますので、 必ず、運転者の責任において実際の交通標識 を確認してください。

交通標識認識システム (TSR) の使いかた

知識

- ・TSR はナビゲーションシステムの SD カードが挿入されていない場合でも作動しますが、実際と は異なる交通標識を表示することがあります。
- ·次の条件のいずれかを満たしている場合は、TSRが正常に作動しないことがあります。
 - ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が交通標識を正しく検知していないとき →5-82 ページ「フォワードセンシングカメラ (FSC) について」
 - ·(ナビゲーションシステム装備車)
 - ・地図が最新バージョンに更新されていないとき
 - ・地図に含まれている最高速度標識が不正確なとき
 - ・地図に最高速度標識が含まれていないとき
 - ナビゲーションシステムの自車位置がずれているとき
 - →ナビゲーションシステム取扱書「自車位置がずれていたら」
- ・TSR は、次のいずれかのパターンで標識を同時に表示することがあります。
 - ・単一の交通標識のみを同時に表示
 - ・最高速度標識と条件付き速度標識を同時に表示(システムが条件付き速度標識を正確に判断で きないとき)
 - ・最高速度標識とこの先の速度標識を同時に表示
 - ・最高速度標識と、一時停止/車両進入禁止/追い越し禁止のいずれかを同時に表示
- ・アクティブ・ドライビング・ディスプレイの TSR 表示を OFF にできます。
 - →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

関連機器をアップデートする

TSR の性能を維持するために、地図データを定期的にアップデートしてください。 地図データのアッ プデートについては、ナビゲーションシステム取扱説明書をご参照ください。 フォワードセンシングカメラ (FSC) のアップデートが必要となった場合は、マツダ販売店にご相談くだ さい。

最高速度標識 (補助標識も含む) が表示されるとき

次のいずれかの条件を満たしている場合に、システムが認識した最高速度標識 🕙 が画面に表示され ます。

- ・認識した標識を自車が通過したとき
- ・走行中、ナビゲーションシステムに保存されている最高速度標識をシステムが読み込んだとき

知識

- ・システムが何らかの条件付き標識を正しく認識できない場合は、□!□が表示されます。
- ・システムが最高速度標識を認識できない場合は、最高速度標識表示が終了します。
- ・システムが速度規制終わりの標識を認識した場合は、
 が表示されます。
- ・最高速度標識の表示が変化すると、通知音が鳴ります。なお、この通知音はマツダコネクトまた は i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで OFF にできます。
 - →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
- →5-81ページ「i-ACTIVSENSE ミュートスイッチの使いかた」



・(ナビゲーションシステム装備車)

・ナビゲーションシステムがこの先の速度標識の切り替わりを判断できている場合は、その最高 速度標識が表示されます。



なお、この表示はマツダコネクトで OFF にすることができます。
→マツダコネクト "設定" で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

車両進入禁止標識が表示されるとき

システムが車両進入禁止標識を認識した場合は、車両進入禁止標識
が画面に表示されます。



知識

自車が標識を通過してから一定の時間が経過すると、画面表示が終了します。

一時停止標識が表示されるとき

自車が一定速度以下で走行している場合に、システムが認識した一時停止標識 w が画面に表示されます。



)知識

標識を画面表示してから一定の時間が経過すると、画面表示が終了します。

追い越しのための右側部分はみ出し禁止標識が表示されるとき

追い越しのための右側部分はみ出し禁止標識をシステムが認識して、自車がその標識を通過すると、追い越しのための右側部分はみ出し禁止標識 ③ が画面に表示されます。

□ 知識

- ・次の条件のいずれかを満たす場合は、追い越しのための右側部分はみ出し禁止標識の表示が終了 します。
 - ・追い越し禁止終わりの標識をシステムが認識して、自車がその標識を通過したとき
 - ・自車が同じ道を走行してから一定の距離を走行しても、標識を見つけられなかったとき
 - ・右左折などの運転操作をしたとシステムが判断したとき

TSR を OFF にする

マツダコネクトで TSR を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

交通標識認識システム (TSR) の便利な使いかた

自車の速度が最高速度標識の速度を超えた場合に、速度超過の警報が出るように設定できます。

マツダコネクトで速度超過警報を ON にする。

→マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

自車の速度が最高速度標識の速度を超えると、最高速度標識の表示のまわりが橙色に点滅 80 して警報音が鳴ります。また、速度超過の状態が続くと点灯に切り替わります。 なお、警報音はマツダコネクトまたは i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで OFF にできます。 \rightarrow マツダコネクト "設定" で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。 \rightarrow 5-81 ページ 「i-ACTIVSENSE ミュートスイッチの使いかた」

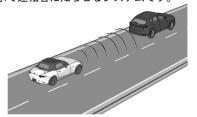


知識

マツダコネクトで警報パターンおよび警報タイミングを変更できます。 →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

ディスタンス&スピード・アラー ト (DSA) について*

DSA は、先行車との車間距離が近いことを画面 表示で運転者に知らせるシステムです。



ディスタンス & スピード・アラー ト (DSA) 使用上の警告・注意

҈ 警告

DSA を過信しない。

DSA は、先行車の種類や状態、天候状況、道 路状況などによって、先行車を検知できない ことがあります。また、先行車との車間距 離を維持する機能ではありませんので、アク セルやブレーキの適切な操作を怠ると、思 わぬ事故につながるおそれがあります。 周囲の状況を確認してブレーキペダルやア クセルペダルを踏むなど、前方車や後続車 との車間距離を十分に確保してください。

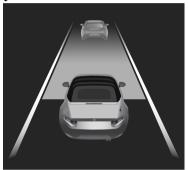
ディスタンス & スピード・アラー ト (DSA) の使いかた

DSA が作動するとき

車速が約30km/h以上の場合に、自車と先行車との車間距離が近いとシステムが判断すると、DSAが作動します。

DSA が作動している場合は、先行車との車間距離が近いことを画面表示で運転者に知らせます。

メーター



□ 知識

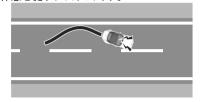
- ・DSA の作動対象は4輪車両です。ただし、バイクや自転車などにも DSA が作動することがあります。
- ・停止車両には DSA が作動しません。
- ・先行車の速度が極めて遅い場合は、DSA が正常に作動しないことがあります。

DSA を OFF にする

マツダコネクトで DSA を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

ドライバー・アテンション・アラー ト (DAA) について

DAA は、各種車両情報から運転者の疲労や注意 力低下を検知して、画面表示と警報音で運転者 に休憩を促すシステムです。



ドライバー・アテンション・アラー ト (DAA) 使用上の警告・注意

⚠ 警告

DAA を過信しない。

DAA は運転者の疲労や注意力低下を防止するものではありませんので、システムを過信すると思わぬ事故につながるおそれがあります。運転に集中し、適切にハンドルを操作してください。

また、道路状況や走行状況などによっては、 システムが運転者の疲労や注意力低下を適 切に検知できないことがあります。 運転者 は十分に休憩を取り、安全運転を心がけてく ださい。

ドライバー・アテンション・アラー ト (DAA) の使いかた

DAA が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、システムが運転者の疲労や注意力低下を検知すると、 DAAが作動します。

- ・運転者の走行データ学習が完了したとき
- ・車線の白線(黄線)を検知しているとき
- ・運転開始後、1時間経過したとき
- ・車速が約 65 km/h 以上のとき

DAA が作動している場合は、画面表示と警報音 で運転者の注意力が低下していることを知らせ ます。





1. "休憩をおすすめします"

知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、DAA が作動しません。
 - ・急カーブを走行しているとき
 - ・車線変更をしたとき
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合は、DAA が正常に作動しないことがあります。
 - ・車線の白線(黄線)が見えにくいとき
 - ・強風や悪路走行で車両が揺れ続けたと
- DAA は、車速が約 65 km/h 以上で約 20 分間走行したときの走行データをもとに、運転者の疲労や注意力低下を検知します。次の条件のいずれかを満たすと、学習した走行データがリセットされます。
 - ・15 分以上停車したとき
 - ・車速約 65 km/h 未満で約 30 分間走行 したとき
 - ・車両の電源を OFF にしたとき
- ・DAA は一度休憩を促すと、60 分間は次回 休憩をお知らせしません。

DAA を OFF にする

マツダコネクトで DAA を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

後側方接近車両検知 (RCTA) につ いて

RCTA は、駐車場などで自車が後退する際の後方確認を支援するシステムです。 左右後方から接近する車両を検知すると、各種表示と警報音で運転者に危険を知らせます。



後側方接近車両検知 (RCTA) 使用 上の警告・注意

⚠ 警告

必ず目視にて周辺状況を確認する。

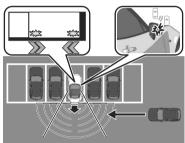
RCTA は、車両後退時の後方確認を支援するシステムです。システムの作動には各種の制約がありますので、自車後方に車両が存在する場合でも接近表示灯が点滅しなかったり、点滅が遅れたりすることがあります。必ず、運転者の責任において後方を確認してください。

後側方接近車両検知 (RCTA) の使 いかた

RCTA が作動するとき

車両を後退させようとしている場合に、システ ムが後側方から接近する車両を検知すると、 RCTA が作動します。

RCTA が作動している場合は、接近表示灯の点 滅、警告表示、警報音で運転者に危険を知らせま す。



〕知識

- ・自車の周辺状況によっては、車両が接近し ていなくてもシステムが作動することが あります。
- 次の条件のいずれかを満たしている場合 は、RCTA が正常に作動しないことがあり ます。
 - ・リアサイドレーダーセンサーが対象物 を検知できないとき →5-85ページ「レーダーセンサーにつ いて」
 - ・後退時の車速が約 10 km/h 以上のとき
 - ・自車の真後ろから車両が接近してきた とき
 - ・自車の斜め後ろから車両が接近してき たとき
- ・車両後部に自転車のキャリアなどを装着 する場合は、RCTA を OFF にしてくださ い。レーダーの電波がさえぎられるた め、RCTA が正常に作動しない可能性があ ります。
- ・接近表示灯の明るさは、パネルライトコ ントロールと連動しています。 →5-25 ページ「パネルライトコントロー ルの使いかた」

警報音を OFF にする

RCTA 作動時の警報音を OFF にする方法は 2 つあります。

- ・マツダコネクトで警報音を OFF にする →マツダコネクト"設定"で設定する、または マツダ販売店にご相談ください。
- · i-ACTIVSENSE ミュートスイッチで警報音を OFF にする →5-81 ページ 「i-ACTIVSENSE ミュートスイ

ッチの使いかた」 RCTA を OFF にする

マツダコネクトで RCTA を OFF にできます。 →マツダコネクト "設定" で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

マツダ・レーダー・クルーズ・コン トロール (MRCC) について*

MRCC は、定速走行と追従走行によって運転者 の負担を軽減するシステムです。運転者がアク セルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、 設定した速度で定速走行をしたり、先行車との 車間距離を保って追従走行をしたりします。

マツダ・レーダー・クルーズ・コン トロール (MRCC) 使用上の警告・ 注意

҈ 警告

MRCC を過信しない。

MRCC は、先行車の種類や状態、天候状況、道 路状況などによって、先行車を検知できない ことがあります。また、先行車が急ブレー キをかけたときや他車が割り込んできたと きなどは十分な減速ができず、思わぬ事故 につながるおそれがあります。

周囲の状況を確認してブレーキペダルやア クセルペダルを踏むなど、先行車や後続車 との車間距離を十分に確保してください。

思わぬ事故につながるおそれがあるため、 次のような状況では MRCC を使用しない。

- ▶ 自動車専用道路以外を走行するとき
- ▶ 急なカーブや交通量が多く車間距離が十 分にとれない道路を走行するとき
- ▶ 頻繁に加減速を繰り返すような道路を走 行するとき
- ▶ 高速道路などで、インターチェンジ、サー ビスエリア、パーキングエリアに進入す るなど、本線から出るとき
- ▶ 凍結路、積雪路、未舗装路などのすべりや すい路面を走行するとき
- ▶ 長い下り坂を走行するとき
- ▶ 勾配が急な坂を走行するとき
- ▶ バイクや自転車などの二輪車が前方を走 行しているとき

MRCC を使用しないときは、MRCC を OFF にする。

常に使用できる状態にしておくと、誤って MRCC を作動させ、思わぬ事故につながるお それがあります。

MRCC 制御によるブレーキで停車した場合 は、必ずブレーキペダルを踏む。(オートマ チック車のみ)

MRCC は、先行車に追従して停車するまで MRCC 制御によるブレーキを行ないますが、 停車状態を保持しません。そのため、停車後 に車両が動き出し思わぬ事故につながるお それがあります。

⚠ 警告

MRCC 制御によるブレーキで停車した場合は、必ずブレーキペダルを踏んでください。

注意

-) けん引されるとき、または他の車をけん 引するときは、MRCC を OFF にしてくだ さい。
- ➤ シャシーローラーを使用するときは、 MRCC を OFF にしてください。

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) の使いかた

MRCC が作動する条件

次の条件をすべて満たしている場合に、MRCC を設定できます。

(マニュアル車)

- ブレーキペダルを踏んでいないとき
- ・車速が 30 km/h 以上のとき
- クラッチペダルを踏んでいないとき

(オートマチック車)

- ブレーキペダルを踏んでいないとき
- ・車速が0km/h以上のとき

MRCC を設定する

1. MRCC スイッチを押して、システムを ON にする。



システムが ON になると、MRCC スタンバイ表示 (白) が画面に表示されます。

- 2. 設定したい速度まで加速する。
- 3. RES スイッチを押し上げる (SET+) または押し下げ (SET-) て、速度を設定する。



速度を設定すると、定速走行が開始されます。また、設定した速度が画面に表示され、MRCC スタンバイ表示 (白) が MRCC セット表示 (緑) に変わります。

定速走行中に先行車を検知すると、追従走行に切り替わります。追従走行中は、先行車表示が画面に表示されます。

± %= 412 445	メータ	一表示
走行状態	i-ACTIVSENSE 画面	i-ACTIVSENSE 画面以外
定速走行時	100	/ \ 100 -●
追従走行時	100	100-1

- 1. 設定速度
- 2. 先行車表示



知識

- ・前方の地上から低い位置に道路構造物や障害物がある場合は、システムが先行車と認識することがあります。
- ・定速走行中または追従走行中は、アクセルペダル操作による加減速が優先されます。 アクセルペダルを離すと、設定速度での定速走行または追従走行にもどります。
- ・先行車が極低速の場合は、先行車を正しく検知できないことがあります。
- ・MRCC を使用して走行しているときは、セレクトレバー/チェンジレバーを操作しても意図したエンジンブレーキがかかりません。
- ・MRCC 制御によるブレーキ作動中は、ブレーキランプが点灯します。
- ・車両の電源を OFF にすると、MRCC も自動的に OFF になります。
- ・マツダコネクトで車間制御を無効に設定すると、クルーズコントロールに切り替わります。このとき、MRCC スイッチはクルーズコントロールスイッチとして機能します。
 - →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
 - 車間制御を無効にしたまま車両の電源を OFF にすると、次に車両の電源を ON にしたときに車間制御が自動的に有効になります。

マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC)

(マニュアル車)

MRCC 作動中に、シフトアップ要求表示またはシフトダウン要求表示が表示されることがあります。 この場合はギヤの位置が不適切であるため、シフトチェンジをしてください。

知識

・シフトアップ/シフトダウン要求表示が表示されてもシフトアップ/シフトダウンしない場合は、 MRCC が自動的に解除されることがあります。また、エンジンが損傷したり、エンストしたりす るおそれがあります。

設定した速度を変更する

RES スイッチで設定速度を変更する

希望の速度になるまで、RES スイッチを押し上げる (SET+) または押し下げる (SET-)。

・短押し:1km/h ・長押し: 10 km/h

アクセルペダルで設定速度を変更する

アクセルペダルを踏んで希望の速度になったところで、RES スイッチを押し上げる (SET+) または押し 下げる (SET-)。

RES スイッチで速度標識から設定速度を取り込む

速度標識セット表示 RES が点灯しているときに RES スイッチを押す。

△ 注意

▶ 速度標識を認識する機能には限界があります。必ず、取り込まれた設定速度を確認してくださ い。

知識

- ・速度標識連動型は、ナビゲーションシステムのSDカードが挿入されている場合のみ作動しま す。
- ・速度標識連動型は、交通標識認識システム (TSR) を利用しています。
 - →5-101 ページ「交通標識認識システム (TSR) について」
- ・速度標識連動型は、30 km/h 未満の速度を取り込めません。
- ・速度標識から取り込む設定速度を調整することができます。
- →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
- ・速度標識連動型を OFF にすることができます。
- →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

追従走行時の車間距離を設定する

1. CNCL スイッチを押し上げる (車間距離を長くする)、または押し下げる (車間距離を短くする)。



MRCC 非作動時 (白)

車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)	メーター表示
長 (約 50 m)	
中 (約 40 m)	

車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)	メーター表示
短 (約 30 m)	
極短 (約 25 m)	

MRCC 作動時 (緑)

車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)	メーター表示
長 (約 50 m)	
中 (約 40 m)	
短 (約 30 m)	

車間距離の目安 (約 80 km/h 走行時)	メーター表示
極短 (約 25 m)	

□ 知識

- ・車間距離は、長、中、短、極短の4段階で設定できます。
- ・車間距離は速度によって異なり、速度が遅いほど車間距離は短くなります。

接近警報

追従走行中に先行車に接近した場合は、画面表示と警報音で運転者に注意を促します。

メーター



1. "ブレーキペダルを踏んでください"

📖 知識

- ・次のような場合は、接近警報が作動しないことがあります。
 - ・先行車と同程度の速度で走行しているとき
 - ・MRCC を設定した直後
 - ・アクセルペダルから足を離した直後
 - ・他の車が割り込んできたとき
- ・接近警報が頻繁に作動するような状況では、MRCC を使用しないでください。

MRCC が一時的に解除されるとき

次の条件のいずれかを満たすと、MRCC が一時的に解除されます。

- ブレーキペダルを踏んだとき
- ・CNCL スイッチを 1 回押したとき
- ·DSC が作動したとき
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) が作動したとき
- ・フロントレーダーセンサーが対象物を検知できなくなったとき
- ・パーキングブレーキがかかったとき
- いずれかのドアを開けたとき
- ・運転席のシートベルトをはずしたとき
- ・MRCC 制御によるブレーキの作動頻度が高いとき
- ・(オートマチック車)
 - ・MRCC 制御によるブレーキで停車したとき
- ・(マニュアル車)
 - ・車速が 25 km/h 以下になったとき
 - ・クラッチペダルを一定時間踏んだとき
 - ・チェンジレバーを N の位置にしたまま一定時間が経過したとき

MRCC が一時的に解除された場合は、RES スイッチを押すと一時的に解除される前の設定速度で MRCC が作動します。

MRCC を OFF にする

MRCC スイッチを押す。

MRCC セット表示 (緑) 🦳 /MRCC スタンバイ表示 (白) 🧺 が消灯して MRCC が OFF になります。

スマート・ブレーキ・サポート (SBS) について

SBS は、ブレーキ制御をすることで衝突回避および衝突時の被害軽減を図るシステムです。車両に搭載されたセンサーやカメラで対象物を検知し、その対象物と自車とが衝突する可能性があるとブレーキ制御をします。

SBSには、自車が前進する際に機能を発揮するものと、自車が後退する際に機能を発揮するものとがあります。

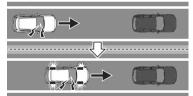
前進時検知機能

前方検知機能

前方検知機能は、前方の対象物(前方車、歩行者、 自転車、自動二輪車)との衝突回避および衝突時 の被害軽減を図る機能です。

自車が前方の対象物と衝突する可能性があると、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせます。さらに、衝突の可能性が高まったときには、ブレーキ制御をすることで衝突の回避/衝突時の被害軽減をします。

また、運転者がブレーキペダルを踏んだときには、ブレーキが素早く確実にかかるようアシストします。



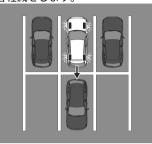
後進時検知機能

後進時検知機能には、次の2つの機能があります。

後方検知機能

後方検知機能は、後方の対象物 (障害物) との衝突回避および衝突時の被害軽減を図る機能です。

自車が後方の対象物と衝突する可能性がある と、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせ ます。さらに、衝突の可能性が高まったときに は、ブレーキ制御をすることで衝突の回避/衝突 時の被害軽減をします。



後進時左右接近物検知機能

後進時左右接近物検知機能は、後側方から接近する車両との衝突回避および衝突時の被害軽減を図る機能です。

自車が後側方から接近する車両と衝突する可能性があると、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせます。さらに、衝突の可能性が高まったときには、ブレーキ制御をすることで衝突の回避/衝突時の被害軽減をします。



スマート・ブレーキ・サポート (SBS) 使用上の警告・注意

҈ 警告

SBS を過信しない。

SBS は、衝突時の被害を軽減するシステム です。システムを過信してアクセルやブレ ーキの適切な操作を怠ると、思わぬ事故に つながるおそれがあります。

SBS を正しく作動させるために、次のこと を守る。

- ▶ サスペンションを改造しないでください。
- ▶ フォワードセンシングカメラ (FSC) を適 切に取り扱ってください。フォワードセ ンシングカメラ (FSC) が対象物を正しく 検知できない場合、思わぬ事故につなが るおそれがあります。
 - →5-82 ページ「フォワードセンシングカ メラ (FSC) について L
- ▶ レーダーセンサーを適切に取り扱ってく ださい。レーダーセンサーが対象物を正 しく検知できない場合、思わぬ事故につ ながるおそれがあります。
 - →5-85ページ「レーダーセンサーについ てı
- ▶ 超音波センサーを適切に取り扱ってくだ さい。超音波センサーが対象物を正しく 検知できない場合、思わぬ事故につなが るおそれがあります。
 - →5-88ページ「超音波センサーについて」

必ず目視にて周辺状況を確認する。

SBS の作動には各種の制約があります。必 ず周囲の安全を直接確認しながら運転して ください。

⚠ 注意

- ▶ 次の条件のいずれかを満たす場合は、誤 作動を防ぐために SBS を停止してくださ L10
 - ▶ トレーラーなどをけん引したり、車両 後部に自転車のキャリアなどを装着し たりするとき

△ 注意

- ▶ 草の生い茂った場所やオフロードなど の悪路を走行するとき
- ▶ タイヤは指定されたサイズを使用し、4輪 ともに同一種類のタイヤを使用してくだ さい。また、摩耗状態が著しく異なるタ イヤを混ぜて使用しないでください。タ イヤを混ぜて使用すると、SBS が正常に 作動しなくなるおそれがあります。

スマート・ブレーキ・サポート (SBS)の使いかた

知識

SBS のブレーキ制御中は、ブレーキペダル が奥に入ったり、固くなったりすることが あります。ブレーキは作動していますが、ブ レーキペダルを踏み続けてください。

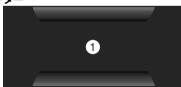
前方検知機能が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、自車が 前方の対象物と衝突する可能性があるとシステ ムが判断すると、前方検知機能が作動します。

- ・(対象が前方車/自動二輪車の場合)
 - ・車速が約 4 km/h 以上のとき
- ・(対象が自転車/歩行者の場合)
 - ・車速が約 10 km/h から約 80 km/h のとき
- ・DSC が作動していないとき

前方検知機能が作動している場合は、画面表示 と警報音で運転者に危険を知らせます。 さらに、車速が約80km/h以下の場合に衝突の 可能性が高まったときは、ブレーキ制御をしま す。

メーター



1. "ブレーキ!"

知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、前方検知機能が正常に作動しないこ とがあります。
 - ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が 対象物を検知できないとき →5-82 ページ「フォワードセンシング カメラ (FSC) について」

知識

- ・対象物と部分的な接触の可能性がある とき
- ・運転者が意図的に運転操作(アクセル ペダル操作、ハンドル操作、セレクトレ バー操作、方向指示器操作など)を行な っているとき
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、前方検知機能が作動することがあり ます。
 - ・動物や路側物を検知したとき
 - カーブで対向重とすれ違うとき
 - ・狭いゲートや天井が低いゲートなどに 准入するとき
 - ・路面上に、金属物、段差、突起物などが あるとき
- ・前方検知機能がブレーキ制御をして自車 が停止した際、運転者がブレーキペダル を踏み込んでいない場合は、約2秒後に ブレーキが自動的に解除されます。
- ・(マニュアル車)

前方検知機能がブレーキ制御をして自車 が停止した際、運転者がクラッチペダル を踏み込んでいない場合はエンジンが停 止します。

- ・衝突警報の作動距離や音量を変更できま

→マツダコネクト"設定"で設定する、ま たはマツダ販売店にご相談ください。

後方検知機能が作動するとき

車速が約2km/h から約15km/h の場合に、自 車が後方の対象物と衝突する可能性があるとシ ステムが判断すると、後方検知機能が作動しま す。

後方検知機能が作動している場合は、画面表示 と警報音で運転者に危険を知らせます。さら に、衝突の可能性が高まった場合はブレーキ制 御をします。

メーター



1. "ブレーキ!"

🗋 知識

- ・リア超音波センサーが対象物を検知でき ず、後方検知機能が正常に作動しないこ とがあります。
- →5-88 ページ 「超音波センサーについ
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、後方検知機能が作動することがあり ます。
 - 垂れ幕などがあるとき
 - ・狭いゲートや天井が低いゲートなどに 准入するとき
 - ・路面上に、金属物、段差、突起物などが あるとき
- ・後方検知機能がブレーキ制御をして自車 が停止した際、運転者がブレーキペダル を踏み込んでいない場合は、約2秒後に ブレーキが自動的に解除されます。
- ・(マニュアル車)

後方検知機能がブレーキ制御をして自車 が停止した際、運転者がクラッチペダル を踏み込んでいない場合はエンジンが停 止します。

後進時左右接近物検知機能が作動するとき

車速が約 15 km/h 以下の場合に、自車が後側方 から接近する車両と衝突する可能性があるとシ ステムが判断すると、後進時左右接近物検知機 能が作動します。

後進時左右接近物検知機能が作動している場合 は、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせ ます。さらに、衝突の可能性が高まった場合は ブレーキ制御をします。





"ブレーキ!"

知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、後進時左右接近物検知機能が正常に 作動しないことがあります。
 - ・リアサイドレーダーセンサーが対象物 を検知できないとき →5-85ページ「レーダーセンサーにつ いて」
 - ・自車の真後ろから車両が接近してきた とき
 - ・自車の斜め後ろから車両が接近してき たとき
 - ・角度が急な方向から車両が接近してき たとき
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、後進時左右接近物検知機能が作動す ることがあります。
 - ・垂れ幕などがあるとき
 - ・狭いゲートや天井が低いゲートなどに 進入するとき
- ・後進時左右接近物検知機能がブレーキ制 御をして自車が停止した際、運転者がブ レーキペダルを踏み込んでいない場合 は、約2秒後にブレーキが自動的に解除 されます。
- ・(マニュアル車)

後進時左右接近物検知機能がブレーキ制 御をして自車が停止した際、運転者がク ラッチペダルを踏み込んでいない場合は エンジンが停止します。

SBS を OFF にする

マツダコネクトで SBS を OFF にできます。 →マツダコネクト"設定"で設定する、またはマ ツダ販売店にご相談ください。

SBS が OFF になると、SBS OFF 表示。 が点灯 します。

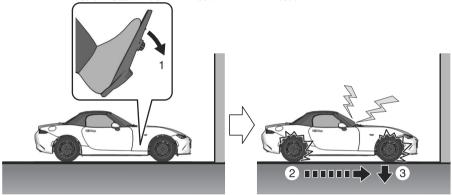
AT 誤発進抑制制御について

AT 誤発進抑制制御は、アクセルペダルの踏み間違いによる急発進を抑制して衝突時の被害軽減を図るシステムです。

AT 誤発進抑制制御には、自車が前進する際に機能を発揮するものと、自車が後退する際に機能を発揮するものとがあります。

AT 誤発進抑制制御 [前進時]

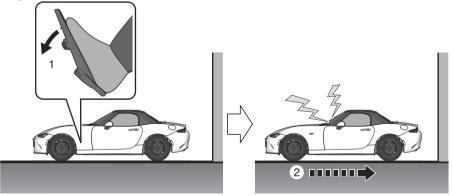
前方に対象物 (障害物、先行車、歩行者) がある状態で運転者がアクセルペダルを踏み込んだ場合に、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が画面表示と警報音で運転者に危険を知らせるとともに、エンジン出力を抑 制します。さらに、衝突の可能性が高まった場合にはブレーキ制御をします。



- 1. アクセルペダルの踏み間違い
- 2. エンジン出力抑制
- 3. ブレーキ

AT 誤発進抑制制御 [後退時]

後方に対象物 (障害物) がある状態で運転者がアクセルペダルを踏み込んだ場合に、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が画面表示と警報音で運転者に危険を知らせるとともに、エンジン出力を抑制します。



- 1. アクセルペダルの踏み間違い
- 2. エンジン出力抑制

AT 誤発進抑制制御使用上の警告・ 注意

⚠ 警告

AT 誤発進抑制制御を過信しない。

AT 誤発進抑制制御は、ペダルの踏み間違いによる事故を回避するものではありません。 発進時は、セレクトレバーの位置とペダル の位置を十分に確認してください。

停車中、むやみにアクセルペダルを踏まな い。

停車状態を保ったり、発進を緩やかにしたりするものではありません。また、障害物の近くで故意にアクセルを踏み込まないでください。意に反して車が動き出し、思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ▶ 踏切内に閉じ込められた場合、AT 誤発進抑制制御が遮断機を障害物と判断して作動することがあります。遮断機を押しのけて進む場合、あわてずにアクセルを踏み続ける、または踏み直して発進してください。その際、車両が急加速することがありますので注意してください。
- ➤ AT 誤発進抑制制御 [前進時] がブレーキ制御をして自車が停止した際、運転者がブレーキペダルを踏み込んでいない場合は、約2秒後にブレーキが自動的に解除されます。
- ➤ 次のいずれかの条件を満たす場合は、誤 作動を防ぐために AT 誤発進抑制制御を 停止してください。
 - ▶ けん引されるとき、または他の車をけん引するとき
 - ▶ 草の生い茂った場所やオフロードなど の悪路を走行するとき

AT 誤発進抑制制御の使いかた

AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、自車が 前方の対象物と衝突する可能性があるとシステ ムが判断すると、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が 作動します。

- ・(対象が歩行者または先行車の場合)
- ・車速が約 50 km/h 以下のとき
- 方向指示灯を点けていないとき
- ・方向指示灯が消灯してから約2秒経過し ているとき
- ・(対象がその他の障害物の場合)
 - ・車速が約 15 km/h 以下のとき
- アクセルペダルを踏んだとき

AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動している場合は、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせます。さらに、衝突の可能性が高まった場合はブレーキ制御をします。

メーター



1. "アクセルを踏んでいます"

アクセルペダルが踏み込みこまれると、画面表示と警報音が切り替わります。

メーター



1. "ブレーキ!"

◯ 知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合は、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が正常に 作動しないことがあります。
 - ・フォワードセンシングカメラ (FSC) が 対象物を検知できないとき

□ 知識

- →5-82 ページ「フォワードセンシング カメラ (FSC) について」
- ・フロント超音波センサーが対象物を検知できないとき
 - →5-88 ページ「超音波センサーについて」
- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、AT 誤発進抑制制御 [前進時] が作動す ることがあります。
 - ・急な登坂路があるとき
 - ・狭いゲートや天井が低いゲートなどに 進入するとき
 - ・路面上に、金属物、段差、突起物などが あるとき
 - ・対象物に接近して通過するとき

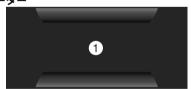
AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動するとき

次の条件をすべて満たしている場合に、自車が後方の対象物と衝突する可能性があるとシステムが判断すると、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動します。

- ・車速が約 15 km/h 以下のとき
- アクセルペダルを踏んだとき

AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動している場合は、画面表示と警報音で運転者に危険を知らせます。

メーター



1. "アクセルを踏んでいます"

知識

- ・リア超音波センサーが対象物を検知できず、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が正常に作動しないことがあります。
- →5-88 ページ 「超音波センサーについて」

知識

- ・次の条件のいずれかを満たしている場合 は、AT 誤発進抑制制御 [後退時] が作動す ることがあります。
 - ・急な登坂路があるとき
 - 垂れ幕などがあるとき
 - ・狭いゲートや天井が低いゲートなどに 進入するとき
 - ・路面上に、金属物、段差、突起物などが あるとき

AT 誤発進抑制制御を OFF にする

マツダコネクトで AT 誤発進抑制制御を OFF にできます。

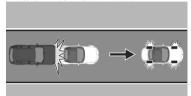
→マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

AT 誤発進抑制制御が OFF になると、SBS OFF 表示。 が点灯します。

衝突二次被害軽減システムについ て

衝突二次被害軽減システムは、走行中にエアバッグが作動するほどの衝突被害を受けた際に、 車両を減速させて二次被害を軽減するシステム です。

走行中にエアバッグが作動するほどの衝突事故が起きると、非常点滅灯を点滅させて周辺車両に注意を促しつつ、ブレーキ制御をして障害物などに衝突した際の被害を軽減します。



衝突二次被害軽減システムの警告・注意



警告

衝突二次被害軽減システムを過信しない。

- ▶ 車両の状態、構成部品の損傷状態、対象物の状態、天候状況、道路状況などの条件によっては、衝突二次被害軽減システムが正常に作動しないことがあります。システムを過信せず、運転者の責任において運転してください。
- ▶ 衝突二次被害軽減システムの機能には限界があります。ブレーキペダルやアクセルペダルの適切な操作を怠ると、重大な傷害につながるおそれがあります。

衝突二次被害軽減システムの使い かた

衝突二次被害軽減システムが作動するとき

走行中にエアバッグが作動するほどの衝突被害を受けた場合に、衝突二次被害軽減システムが 作動します。

衝突二次被害軽減システムが作動すると、システム制御によるブレーキがかかり、非常点滅灯が点滅し続けます。

△ 知識

・システム制御によるブレーキ作動中は、 ブレーキランプが点灯します。

システム制御によるブレーキが解除されるとき

次の条件のいずれかを満たすと、システム制御 によるブレーキが解除されます。

- ・システムが作動してから一定時間が経過した とき
- ・システム制御による停車後、アクセルペダル を強く3回踏み込んだとき

◯ 知識

- ・システムのブレーキ制御よりも運転者の ブレーキペダル踏力が強い場合は、運転 者のブレーキ操作が優先されます。
- ・システム制御による非常点滅灯の点滅は、次のいずれかの操作をすると解除されます。
 - ・非常点滅灯スイッチを押す
 - ・車両の電源を OFF にする

クルーズコントロールについて^{*}

クルーズコントロールは、定速走行によって運 転者の負担を軽減するシステムです。運転者が アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくて も、設定した速度で定速走行をします。

クルーズコントロール使用上の警 告·注意

҈ 警告

クルーズコントロールを過信しない。 クルーズコントロールの機能には限界があ ります。周囲の状況を確認してブレーキペ ダルやアクセルペダルを踏むなど、安全運転 を心がけてください。

思わぬ事故につながるおそれがあるため、 次のような状況ではクルーズコントロール を使用しない。

- ▶ 自動車専用道路以外を走行するとき
- ▶ 急なカーブや交通量が多く車間距離が十 分にとれない道路を走行するとき
- ▶ 凍結路、積雪路、未舗装路などのすべりや すい路面を走行するとき
- ▶ 長い下り坂を走行するとき
- ▶ 勾配が急な坂を走行するとき

クルーズコントロールを使用しないときは、 クルーズコントロールを OFF にする。

常に使用できる状態にしておくと、誤ってク ルーズコントロールを作動させ、思わぬ事故 につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ▶ けん引されるとき、または他の車をけん 引するときは、クルーズコントロールを OFF にしてください。
- ▶ シャシーローラーを使用するときは、ク ルーズコントロールを OFF にしてくださ L١٥

クルーズコントロールの使いかた

クルーズコントロールを設定する

1. クルーズコントロールスイッチを押して、 システムを ON にする。



システムが ON になると、クルーズスタン

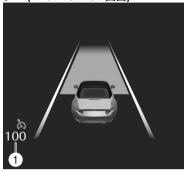
バイ表示(白) が表示されます。

- 2. 25 km/h 以上の設定したい速度まで加速する (ただし、設定速度の下限は 30 km/h)。
- 3. RES スイッチを押し上げる (SET+) または 押し下げ (SET-) て、速度を設定する。



速度を設定すると定速走行が開始されます。また、設定速度が画面に表示され、クルーズスタンバイ表示(白) が がクルーズセ

ット表示 (緑) に変わります。 クルーズコントロールが作動している場合は、 作動状況を画面表示で運転者に知らせます。 メーター (i-ACTIVSENSE 画面)



1. 設定速度

メーター (i-ACTIVSENSE 画面以外)



1. 設定速度



- ・定速走行中は、アクセルペダル操作による加減速が優先されます。 アクセルペダルから足を離すと、設定速度での定速走行にもどります。
- · (マツダ·レーダー·クルーズ·コントロー ル装備車)

マツダコネクトで車間制御を無効にすると、クルーズコントロールに切り替わります。このとき、MRCC スイッチはクルーズコントロールスイッチとして機能します。

→マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。 車間制御を無効にしたまま車両の電源を OFFにすると、次に車両の電源を ON にしたときに車間制御が自動的に有効になります。

・急な上り坂または下り坂など、道路条件 によっては設定速度を保てないことがあ ります。

□ 知識

- ・車速が 20 km/h 未満になると、クルーズ コントロールが解除されます。再度クル ーズコントロールを使用する場合は、ク ルーズコントロールを設定し直してくだ さい。
- ・クルーズコントロール制御によるブレーキ作動中は、ブレーキランプが点灯します。
- (オートマチック車)
 クルーズコントロールを使用して走行している場合には、手動で低速ギヤにシフトダウンしてもクルーズコントロールが解除されず、エンジンブレーキが効きません。減速が必要なときは、設定速度を下げるかブレーキペダルを踏んでください。

設定した速度を変更する

RES スイッチで設定速度を変更する

希望の速度になるまで、RES スイッチを押し上げる (SET+) または押し下げる (SET-)。

・短押し:1km/h ・長押し:10km/h

アクセルペダルで設定速度を変更する

アクセルペダルを踏んで希望の速度になったと ころで、RES スイッチを押し上げる (SET+) また は押し下げる (SET-)。

<u>クルーズコントロールが一時的に解除されると</u> <u>き</u>

次の条件のいずれかを満たすと、クルーズコン トロールが一時的に解除されます。

- ブレーキペダルを踏んだとき
- ・CNCL スイッチを 1 回押したとき
- ·DSC が作動したとき
- ・スマート・ブレーキ・サポート (SBS) が作動し たとき
- ・システムによるブレーキの作動頻度が高いとき
- · (マニュアル車)
 - ・クラッチペダルを一定時間踏んだとき
 - チェンジレバーを N の位置にしたままー 定時間が経過したとき

クルーズコントロールが一時的に解除された場合は、RES スイッチを押すと一時的に解除され

る前の設定速度でクルーズコントロールが作動 します。

クルーズコントロールを OFF にする

クルーズコントロールスイッチを押す。 クルーズスタンバイ表示 (白) (クルーズセット表示 (緑) (が消灯してクルーズコントロールが OFF になります。

パーキングセンサーシステムについて

パーキングセンサーは、駐車時などに車両周辺の障害物を検知して運転者に知らせることで、運転者の安全確認を補助するシステムです。 障害物を検知すると、画面表示と警報音で障害物までの距離を運転者に知らせます。

パーキングセンサーシステム使用上の警告・注意



必ず車両周辺の安全を直接確認しながら運転する。

パーキングセンサーはあくまでも前進時または後退時の補助装置です。また、センサーの検知範囲は限られていますので、システムを過信して前進/後退すると、障害物に接触するなどの思わぬ事故につながるおそれがあります。

パーキングセンサーシステムの使いかた

パーキングセンサーが作動するとき

システムが障害物を検知すると、障害物の存在を画面表示と警報音で運転者に知らせます。この画面表示と警報音は、障害物との距離に応じて変化します。

なお、複数箇所の障害物を検知した場合は、最も近い障害物との距離に応じて吹鳴します。 リア

車両と障害物の距離	表示	ブザーの鳴りかた
約 1 m 50 cm~60 cm	赤	遅い継続音
約 60 cm~50 cm	赤	継続音

車両と障害物の距離	表示	ブザーの鳴りかた
約 50 cm~40 cm	赤	早い継続音
約 40 cm 以内	赤	連続音

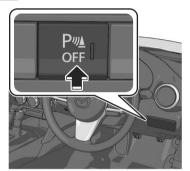
コーナー

車両と障害物の距離	表示	ブザーの鳴りかた
約 50 cm~40 cm	赤	継続音
約 40 cm~30 cm	赤	早い継続音
約 30 cm 以内	赤	連続音



- ・超音波センサーが対象物を正確に検知できないときは、システムが正常に作動しないことがあります。
 - →5-88ページ「超音波センサーについて」
- ・6 秒以上同じ検知範囲で障害物を検知し続けている場合は、警報音のみを停止します (ただし、最も近い検知範囲を除く)。 検知範囲が近い側に変わった場合は、警報音を再開します。

パーキングセンサーを OFF にする



パーキングセンサーが OFF になり、パーキングセンサー OFF スイッチの表示灯が点灯します。 ただし、チェンジレバー/セレクトレバーを R の位置にすると、パーキングセンサーは自動的に ON になります。

パーキングセンサーが OFF の状態でスイッチを押すと、パーキングセンサーが作動可能な状態になります。また、同時にスイッチの表示灯が消灯します

知識

チェンジレバー/セレクトレバーを R の位置にするとパーキングセンサーは自動的に ON となりますが、このときにパーキングセンサー OFF スイッチを押すとパーキングセンサーを OFF にすることができます。

こんなときは

・異常が発生した場合は、次の表示で運転者に知らせます。システムの異常が考えられるため、マツダ 販売店で点検を受けてください。



・特定の検知表示が表示し続ける場合は、検知表示に対応するセンサー部に異物が付着していないか 確認をしてください。 直らない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

スノータイヤについて



指定サイズ以外のタイヤを使用しない。ま た、異なる種類のタイヤを混ぜて使用しな い。

走行安定性が損なわれ、思わぬ事故につなが るおそれがあります。また、法令違反にな る場合があります。

運転席ドアを開けたボディー側にあるラベ ルに記載されているサイズのタイヤを使用 してください。また、4輪ともに同一種類の タイヤを使用してください。

タイヤチェーンについて

タイヤチェーンは後輪に取り付けます。

⚠ 注意

- ▶ 標準タイヤのみタイヤチェーンを装着で きます。標準タイヤ以外のタイヤにタイ ヤチェーンを装着すると、チェーンがボデ ィーなどに干渉し、傷をつけることがあ ります。詳しくはマツダ販売店にご相談 ください。
- ▶ 純正品以外のタイヤチェーンを使用する とボディーなどに干渉し、傷をつけるお それがあります。詳しくはマツダ販売店 にご相談ください。
- ▶ 積雪路、凍結路以外ではタイヤチェーン を装着して走行しないでください。チェ ーンの摩耗を早める原因になります。
- ▶ タイヤチェーンを装着したときは、30 km/h 以下で走行してください。30 km/h 以上で走行すると、タイヤチェーン にかかる負担が大きくなるため、チェー ンが切れやすくなります。

MEMO

6 車内を快適にする装備

フルオートエアコン6	-2
吹き出し口について6	-2
吹き出し口の使いかた6	-2
フロントフルオートエアコンに	
ついて*6	-4
フロントフルオートエアコンの	
概略図6	-5
フルオートエアコンの使いか	
た6	-6
各スイッチの使いかた6	-7
マニュアルエアコン6	-9
吹き出し口について6	-9

	吹き出し口の使いかた マニュアルエアコンの概略	6-9
	図マニュアルエアコンの使いた	
	た* 各スイッチの使いかた	
シ-	-トヒーター	
	シートヒーターについて* シートヒーター使用上の警告	
	注意	. 6-17
	シートヒーターの使いか	

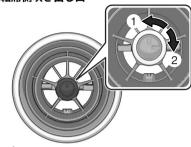
吹き出し口について

吹き出し口を調整することにより、風の出る位 置や方向などが変わります。

吹き出し口の使いかた

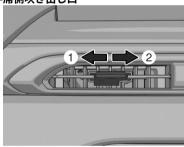
吹き出し口の開閉 全開また全閉方向にノブをいっぱいまで動か す。

運転席側吹き出し口



- 1. 全開 2. 全閉

助手席側吹き出し口

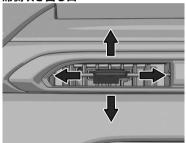


- 1. 全開
- 2. 全閉

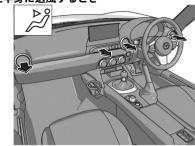
<u>風向きの調節</u> 運転席側吹き出し口



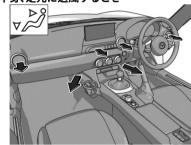
助手席側吹き出し口



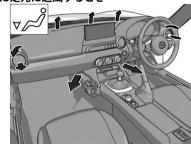
吹き出し口の選択 上半身に送風するとき



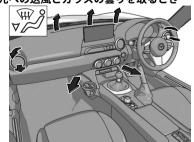
上半身、足元に送風するとき



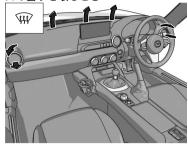
主に足元に送風するとき



足元への送風とガラスの曇りを取るとき



ガラスの曇りを取るとき



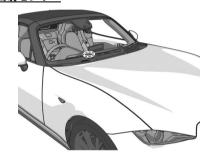
フロントフルオートエアコンにつ いて*

設定温度にあわせて、次の機能が自動制御され ます。

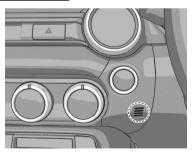
- ・吹き出し風の温度調節
- ・吹き出し風量調節
- ・吹き出し口の切り替え
- ・内気循環/外気導入の切り替え
- ・エアコン (冷房機能) の作動/停止

フルオートエアコンは、日射/室内温度センサーを使用して、内外の温度、日射を測定し、室内の温度を制御しています。 日射/室内温度センサーをふさがないでください。

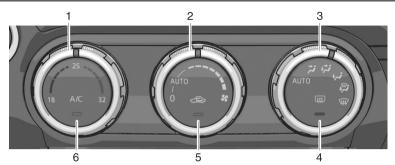
日射センサー



室内温度センサー



フロントフルオートエアコンの概略図



- 1. 温度設定ダイヤル
- 2. ファン調節ダイヤル
- 3. 吹き出し口切り替えダイヤル
- 4. リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ
- 5. 内外気切り替えスイッチ
- 6. エアコンスイッチ

フルオートエアコンの使いかた

- 1. エンジンを始動する。
- 2. 吹き出し口切り替えダイヤルを AUTO の位置にする。



3. 内外気切り替えスイッチを外気導入 (表示 灯消灯) にする。



4. ファン調節ダイヤルを AUTO の位置にする。



 エアコンスイッチを押してエアコンを作動 (表示灯点灯) させる。



- 6. 温度設定ダイヤルをまわして希望の温度に 調節する。
- 7. 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤルを 0 の位置にする。

ガラスの曇りを取るとき

- 1. エンジンを始動する。
- 2. 吹き出し口切り替えダイヤルを (にする。



3. ファン調節ダイヤルをまわして希望の風量 に調節する。

自動的に外気導入に切り替わります。また、エアコンが自動的に作動し、除湿された吹き出し風がフロントガラス、窓ガラスに 送風されます。

⚠ 警告

ガラスの曇りを取るときは、吹き出し風の 温度を低くしない。

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ 事故につながるおそれがあります。

📖 知識

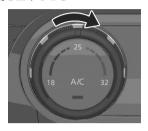
次の操作をすると、より早くガラスの曇りが取れます。

- ファン調節ダイヤルを操作して、風量を 増す。
- ・温度設定ダイヤルを操作して、吹き出し 風の温度を上げる。

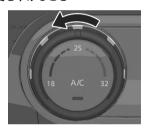
各スイッチの使いかた

温度設定ダイヤル

設定温度を上げるとき



設定温度を下げるとき



ファン調節ダイヤル

風量は7段階に調節できます。 作動を停止したいときは、ファン調節ダイヤル を0の位置にします。

風量を増やすとき



風量を減らすとき



AUTO 位置



設定温度にあわせて、吹き出し風量が自動制御 されます。

吹き出し口切り替えダイヤル



使用目的にあわせて吹き出し口を選択すること ができます。

→6-2 ページ「吹き出し口の使いかた」

AUTO 位置

設定温度にあわせて吹き出し口の切り替えを自 動で行ないます。



知識

- ・吹き出し口切り替えダイヤルを・グの位置にし、温度調節ダイヤルを中間付近で使用すると暖められた風が足元から吹き出し、比較的温度の低い風がインストルメントパネル中央および左右から吹き出します。
- ・ファン調節ダイヤルが 0 以外の位置のとき、吹き出し口切り替えダイヤルを の位置に設定すると、エアコンが自動的に作動し、また自動的に外気導入に切り 替わり除湿された吹き出し風がフロントガラス、窓ガラスに送風されます。

エアコンスイッチ



スイッチを押すごとに冷房・除湿機能の作動と 停止が切り替わります。機能の作動中は表示灯 が点灯します。



知識

外気温が 0 ℃近くまで下がると、システム 保護のためエアコンが作動しない場合があ ります。

内外気切り替えスイッチ



スイッチを押すごとに内気循環と外気導入が切り替わります。

⚠ 警告

寒いときや湿度が高いときに内気循環にし ない。

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ 事故につながるおそれがあります。

内気循環 (表示灯点灯)

トンネル内や渋滞など外気が汚れているとき や、急速に冷房したいときなど外気を遮断した いときに使用します。

外気導入(表示灯消灯)

外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの 曇りを取るときに使用します。

<u>リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイ</u>ッチ

リアウインドーの曇りを取りたいときに使用し ます。

→5-60 ページ「リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチの使いかた」

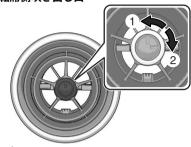
吹き出し口について

吹き出し口を調整することにより、風の出る位 置や方向などが変わります。

吹き出し口の使いかた

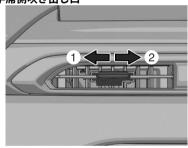
吹き出し口の開閉 全開また全閉方向にノブをいっぱいまで動か す。

運転席側吹き出し口



- 1. 全開 2. 全閉

助手席側吹き出し口

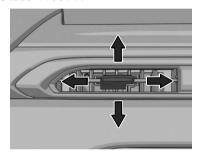


- 1. 全開 2. 全閉

<u>風向きの調節</u> 運転席側吹き出し口



助手席側吹き出し口



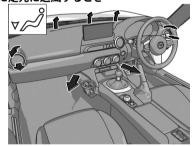
<u>吹き出し口の選択</u> 上半身に送風するとき



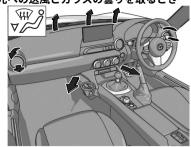
上半身、足元に送風するとき



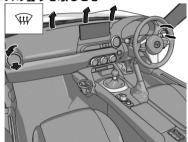
主に足元に送風するとき



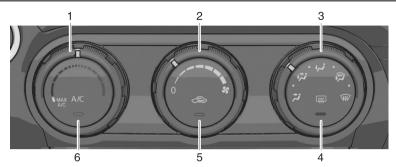
足元への送風とガラスの曇りを取るとき



ガラスの曇りを取るとき



マニュアルエアコンの概略図



- 1. 温度調節ダイヤル
- 2. ファン調節ダイヤル
- 3. 吹き出し口切り替えダイヤル
- 4. リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ
- 5. 内外気切り替えスイッチ
- 6. エアコンスイッチ

マニュアルエアコンの使いかた^{*}

暖めるとき

- 1. エンジンを始動する。
- 2. 吹き出し口切り替えダイヤルを**ジ**の位置に する。



- 3. 内外気切り替えスイッチを外気導入 (表示 灯消灯) にする。
- 4. 温度設定ダイヤルを高温の位置にする。
- 5. ファン調節ダイヤルで風量をお好みにあわせて調節する。
- 6. 除湿しながらあたためたいときは、エアコンをオン (表示灯点灯) にする。



知識

- ・ガラスが曇りやすいときは、吹き出し口切り替えダイヤルを夢の位置にしてください。
- ・上半身への風の温度を低くしたいとき は、吹き出し口切り替えダイヤルをがの 位置にしてから、温度設定ダイヤルでお 好みの温度に調節してください。
- ・足元への風は、上半身への風よりも比較 的温度の高い風が出ます。(温度設定ダイ ヤルを左右いずれかいっぱいまでまわし ている場合を除く)

冷やすとき

1. エンジンを始動する。

2. 吹き出し口切り替えダイヤルを**洋**の位置にする。



- 3. 温度設定ダイヤルを低温の位置にする。
- 4. ファン調節ダイヤルで風量をお好みにあわせて調節する。
- 5. A/C スイッチを押してエアコンをオン (表示灯点灯) にする。
- 6. 冷たい風が出始めたら、お好みにあわせて 温度、風量を調節する。

長い上り坂が続くときや長時間の渋滞中に エアコンを使用するときは、高水温警告灯 が点灯していないか確認してください。 →8-45ページ「高水温警告灯」 エアコンの使用がオーバーヒートにつなが る場合があります。高水温警告灯が点灯し たときは、エアコンをオフにしてください。 →8-19ページ「オーバーヒートを処置す る」

〕知識

- ・室内を素早く冷やしたいときは、温度設定ダイヤルを左側いっぱいまでまわし、内外気切り替えスイッチを内気循環(表示灯点灯)にして、ファン調節ダイヤルで風量を最大に設定してください。
- ・足元への風の温度を高めにしたいとき は、吹き出し口切り替えダイヤルをがの 位置にしてから、温度設定ダイヤルでお 好みの温度に調節してください。
- ・足元への風は、上半身への風よりも比較 的温度の高い風が出ます。(温度設定ダイヤルを左右いずれかいっぱいまでまわしている場合を除く)

換気するとき

- 1. エンジンを始動する。



- 3. 内外気切り替えスイッチを外気導入 (表示 灯消灯) にする。
- 4. 温度設定ダイヤルで温度をお好みにあわせて調節する。
- ファン調節ダイヤルで風量をお好みにあわせて調節する。

<u>ガラスの曇りをとるとき</u>

- 1. エンジンを始動する。
- 2. 吹き出し口切り替えダイヤルをWの位置に する。



- 3. 温度設定ダイヤルで温度をお好みにあわせ て調節する。
- 4. ファン調節ダイヤルで風量をお好みにあわせて調節する。
- 5. 除湿しながらあたためたいときは、エアコンをオン (表示灯点灯) にする。



警告

吹き出し風の温度を低く設定かつ吹き出し口を ((平に設定した状態でガラスの曇りとりをしない。

҈ 警告

吹き出し風の温度を低く設定した状態で、吹き出し口を「中に設定してガラスの曇り取りを行なうと、ガラスの外側が曇り、視界不良により思わぬ事故につながるおそれがあるため、危険です。吹き出し口を「中に設定するときは、温度設定を高めにしてください。



〕知識

- ・素早く曇りをとりたいときは、エアコン を ON にし、温度設定ダイヤルを右側い っぱいまでまわして、ファン調節ダイヤ ルで風量を最大に設定してください。
- ・暖かい風にしたいときは、吹き出し口切 り替えダイヤルを**浮**の位置にしてくださ い。
- ・吹き出し口切り替えダイヤルを一の位置にすると自動的に外気導入に切り替わります。

除湿するとき

気温が低いときは、エアコンを作動させると吹き出し風が除湿されるため、効果的に曇りをとることができます。

- 1. エンジンを始動する。
- 吹き出し口切り替えダイヤルをお好みの位置に設定する。
- 3. 内外気切り替えスイッチを外気導入 (表示 灯消灯) に設定する。
- 4. 温度設定ダイヤルで温度をお好みにあわせ て調節する。
- ファン調節ダイヤルで風量をお好みにあわせて調節する。
- 6. A/C スイッチを押してエアコンをオン (表示灯点灯) にする。



知識

エアコンの機能の1つとして除湿機能があるため、温度を低温に設定する必要はありません。室内の空気を除湿したいときは、温度調整ダイヤルをお好みの位置(高温または低温)に設定して、エアコンをオンにしてください。

各スイッチの使いかた

温度設定ダイヤル

設定温度を上げるとき



設定温度を下げるとき



MAX A/C

温度調節ダイヤルを反時計回りに完全にまわすと、MAX A/C (最大冷却) になります。



知識

吹き出し口切り替えスイッチが♪ または
▽♪ モードで、ファン調節ダイヤルが 0 以外で温度調節ダイヤルを MAX A/C の位置にすると、自動的に内気循環に切り替わり、エアコンが作動します。 エアコンの作動を停止させたいときは、エアコンスイッチを押してください。

ファン調節ダイヤル

風量を増やすとき



風量を減らすとき



風量を7段階に調節できます。

吹き出し口切り替えダイヤル



使用目的にあわせて、吹き出し口を選択することができます。



(知識

ダイヤルは各モードの中間位置● に固定することができます。風量を少し調節したいときは、ダイヤルを中間位置に固定してください。

J 5

】知識

例えば、ダイヤルを んという の間の ●位置 に固定すると、足元からの吹き出し風量は んんとまりも減少します。

エアコンスイッチ



ファン調節ダイヤルが 0 以外のとき、スイッチを押すごとに冷房機能の作動と停止が切り替わります。機能の作動中は表示灯が点灯します。

知識

外気温が 0 ℃近くまで下がると、システム 保護のためエアコンが作動しない場合があ ります。

内外気切り替えスイッチ



スイッチを押すごとに、内気循環 (外気を遮断する) と外気導入 (外気を室内に入れる) が切り替わります。

҈ 警告

寒いときや湿度が高いときは、内気循環にしない。

ガラスの外側が曇り、視界不良などで思わぬ 事故につながるおそれがあります。

知識

寒いときや湿度が高いときは、内気循環に するとガラスが曇りやすくなります。

内気循環 (表示灯点灯)

トンネル内や渋滞など外気が汚れているとき や、急速に冷房したいときなど外気を遮断した いときに使用します。

外気導入 (表示灯消灯)

外気を取り入れて換気したいときや、ガラスの 曇りを取るときに使用します。

<u>リアウインドーデフォッガー (</u>曇り取り) スイッチ

リアウインドーの曇りを取りたいときに使用し ます。 →5-60 ページ「リアウインドーデフォッガー

→5-60 ページ「リアウインドーデフォッガ (曇り取り) スイッチの使いかた」

シートヒーターについて*

シートを温めることができます。

シートヒーター使用上の警告・注 意



警告

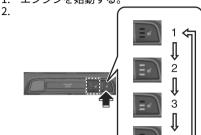
- 次のような方がご使用になる場合は、熱すぎたり、低温やけどを起こしたりするおそれがありますので、十分注意してください。
 - ▶ 乳幼児、お子さま、お年寄り、病人、体の 不自由な方
 - ▶ 皮膚の弱い方
 - ▶ 疲労の激しい方
 - ➢ 深酒や眠気をさそう薬 (睡眠薬、かぜ薬など)を服用された方
- ▶ 低温やけどを起こさないために、次のことをお守りください。
 - ▶ 毛布や座布団など保温性のよいものを かけた状態で使用しないでください。 異常加熱するおそれがあります。
 - ▶ 仮眠するときは使用しないでください。
 - 突起のある重量物をシートの上に置いたり、針金やピンなどでシートクッションや背もたれをつきさしたりしないでください。異常加熱するおそれがあります。



シートの清掃にベンジンやガソリンなど の有機溶剤を使用しないでください。ヒ ーターやシートの表面を損傷するおそれ があります。

<u>シート</u>ヒーターの使いかた

1. エンジンを始動する。



- 1. OFF
- 2. 高
- 3. 中

4. 低 シートヒータースイッチ内の表示灯が設定 温度に応じて点灯します。 シートヒータースイッチを押すごとに、設 定温度が切り替わります。

その他装備

マンダコネント1-4
マツダコネクトについて7-4 マツダコネクト使用上の警告・
注意7-6
マツダコネクトの概略図7-7
マツダコネクトの使いか
<i>t</i> =7-8
付録7-13
13.2
Alexa7-17
Alexa について
Alexa 使用上の警告・注意7-17
Alexa の使いかた
/ (CAG 05)
マツダエマージェンシーコー
ル 7-19 マツダエマージェンシーコールに
ついて7-19 マツダエマージェンシーコール使
用上の警告·注意7-19
イングライング マツダエマージェンシーコールの
使いかた7-20
使いがた1-20
्रो∏ 6th 7.01
収納7-21 収納使用上の警告・注意7-21
収納使用上の書音・注息 7-21
カップホルダー7-22
カップホルダー使用上の警告・
注意7-22
カップホルダーの使いか
た7-22
センターコンソールボックス 7-24
センターコンソールボックスの使
いかた7-24

リアコンソールボックス リアコンソールボックスの 注意 リアコンソールボックスの かた	警告・ 7-25 使い
リアストレージボックス リアストレージボックスの 注意 リアストレージボックスの かた	警告・ 7-26 使い
サンバイザー サンバイザーの使いかた	7-2 7 7-27
バニティミラー バニティミラーの使いかた	
ルームランプ イルミネーテッドエントリーテムについてイルミネーテッドエントリーテムの使いかた ルームランプの使いかたトランクルームランプの使いた	ーシス 7-29 ーシス 7-29 7-30 いか
電源ソケット 電源ソケットについて 電源ソケット使用上の警告 意 電源ソケットの使いかた	7-31 ·注 7-31

エアロボード7 エアロボードについて7	
アクセサリー7 電気・電子部品/機器使用上の警告・注意7	<u>女</u>
7077	25
フロアマット7 フロアマット使用上の警告・ 注意7	

発炎筒	
発炎筒について	
発炎筒使用上の警告・注意	7-37
ジャッキ	7-38
ジャッキ ジャッキについて	
ジャッキについて	7-38

MEMO

マツダコネクトについて

マツダコネクトとは、車両情報の表示、音楽の再生、モバイル機器との接続、車両設定の変更など、さまざまな機能を利用できるシステムです。

マツダコネクトのホーム画面



本書にはマツダコネクト取り扱い情報の一部を記載しています。取り扱い情報の詳細は、マツダコネクト取扱説明書を参照してください。

マツダコネクトの機能

マツダコネクトには、次の8つの機能があります。

情報

車両に記録されている情報を確認できます。

オーディオ

ラジオや音楽などを聴くことができます。

通知一覧

車両からのお知らせを確認できます。重大な故障が発生しているときは、お知らせ表示の背景が橙色 または赤色になります。

コミュニケーション

スマートフォンなどのモバイル機器とマツダコネクトとを Bluetooth®で接続することで、ハンズフリー通話やショートメッセージ機能を利用できます。

ナビゲーション

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれている場合は、ナビゲーションシステムを利用できます。

ナビゲーションシステム用 SD カードが差し込まれていない場合は、車両の進行方向を示すコンパスが表示されます。

設定

マツダコネクトの設定や車両機能の設定を変更できます。

Apple CarPlay

Apple CarPlay に対応した iPhone を接続することで、Apple CarPlay を利用できます。

Android Auto™

Android Auto™に対応した Android™スマートフォンを接続することで、Android Auto™を利用できます。



知識

- ・本書に記載されている機能の説明、画面やボタンの文字および形状などは、実際とは異なる場合があります。また、これらのコンテンツは、今後のソフトウェアアップデートによって予告なしに変更されることがあります。
- ・車内や車両の近くで携帯電話や無線機を使用すると、ノイズ(雑音)が発生することがあります。

マツダコネクト使用上の警告・注意



オーディオは、車を止めてから操作する。

走行中の操作は、運転操作がさまたげられ思わぬ事故につながるおそれがあります。

USB 端子に接続したコードが、チェンジレバー/セレクトレバーに絡まないようにする。 運転操作がさまたげられ、思わぬ事故につながるおそれがあります。

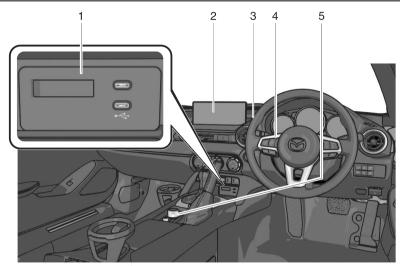
運転中にポータブルオーディオ機器などを調節しない。

走行中に調節すると前方不注意で重大な事故につながるおそれがあります。ポータブルオーディ オ機器などの調節は必ず車両を停止した状態で行なってください。



安全運転をさまたげないように、運転中は車外の音が聞こえる程度の音量で使用してください。

マツダコネクトの概略図



- 1. USB ポート/SD カードスロット *1
- 2. センターディスプレイ
- 3. マイク
- 4. オーディオリモートコントロールスイッチ
- 5. コマンダースイッチ
- *1 ナビゲーションシステム用の SD カードスロットです。 ナビゲーションシステム用の SD カード (マツダ純正品) を差し込んでください。

マツダコネクトの使いかた

マツダコネクトの操作方法

車両の電源が ACC または ON の場合に、マツダコネクトを操作できます。 マツダコネクトの操作方法は 3 つあります。

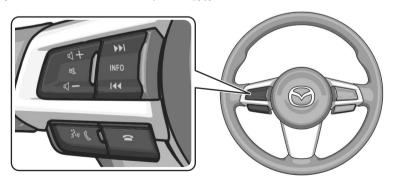
コマンダースイッチでの操作



	ボタン	説明
音量ノブ	音量を調節する	
		・音量ノブをまわすことで、音量を調節できます。・音量ノブを短押しすると消音できます。再度音量ノブを 短押しすると、消音を解除できます。
	音量ノブ	電源を OFF/ON にする
	・音量ノブを長押しすると、マツダコネクトの電源を OFF にすることができます。 再度音量ノブを押すと、マツダコネクトの電源を ON に することができます。	
A	オーディオボタン	オーディオボタンを押すと、最後に再生されたオーディオ ソース画面が表示されます。
		カーソルを操作する
	・コマンダーノブをまわす/スライドすることで、画面上の カーソルを操作できます。	
	コマンダーノブ	決定する
	・コマンダーノブを押すと、カーソルがあわさっている機 能を決定します。	

	ボタン	説明
4	マップボタン	マップボタンを押すと、ナビゲーション画面/コンパス画面が表示されます。
5	バックボタン	バックボタンを押すと、前の画面が表示されます。
	ホームボタン	ホーム画面を表示する ・ホームボタンを短押しすると、ホーム画面が表示されます。 画面を切り替える ・ホームボタンを長押しすると、Apple CarPlay/Android Auto™の画面とマツダコネクトの画面とを切り替えることができます。
*	お気に入りボタン	お気に入り画面を表示する ・お気に入りボタンを短押しすると、お気に入り画面が表示されます。 お気に入り登録をする ・お気に入りボタンを長押しすると、現在表示中の連絡先、放送局、ナビゲーションの地点などをお気に入りに登録できます。

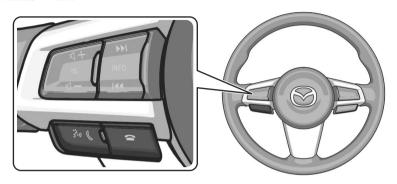
オーディオリモートコントロールスイッチでの操作



	ボタン	説明
А Н Н	音量調節ボタン	音量調節ボタンを押すことで、音量を調節できます。
K.	ミュートボタン	 消音する ・ミュートボタンを押すと消音できます。 ・再度ミュートボタンを押すと、消音を解除できます。 オーディオを一時停止する ・一時停止が可能なオーディオソースを再生中にミュートボタンを押すと、オーディオソースが一時停止されます。
KK	選局ボタン	選局ボタンを押すと、ラジオ/テレビの放送局や、オーディ オの楽曲を切り替えることができます。
3/11 6	トーク/ピックアップ ボタン*1	電話を着信中にボタンを押すと、電話に応答できます。
	ハングアップボタン ^{*1}	通話を終了する・通話中にハングアップボタンを押すと、通話を終了できます。通話を保留する・電話を着信中にハングアップボタンを押すと、応答保留になります。

^{*1} トーク/ピックアップボタンとハングアップボタンは、音声認識での操作でも使用します。

音声認識機能での操作



	ボタン	説明
જેના હ	トーク/ピックアップ ボタン	 音声認識を起動する ・トーク/ピックアップボタンを押すと、音声認識を起動できます。また、音声認識のトップ画面が表示されます。 音声認識を終了する ・トーク/ピックアップボタンを長押しすると、音声認識を終了できます。 音声ガイダンスをスキップする ・音声ガイダンスが流れているときにトーク/ピックアップボタンを押すと、音声ガイダンスをスキップできます。
	ハングアップボタン	ハングアップボタンを押すと、音声認識を終了できます。

音声認識のトップ画面では、それぞれのカテゴリーにおいて有効な音声コマンドの例が表示されます。 有効な音声コマンドではないものは、システムに認識されません。

知識

- ・車両の仕様やモバイル機器の接続状況によっては、使用できない音声コマンドがあります。
- ・Apple CarPlay または Android Auto™を接続中にトーク/ピックアップボタンを短押しすると、マツダコネクトの音声認識/Alexa が起動します。また、トーク/ピックアップボタンを長押しすると、Siri または Android Auto™の音声認識が起動します。
- ・音声ガイダンスが流れている間でも音声コマンドを発話して操作することができます (バージイン機能)。ただし、ガイダンス音量を大音量に設定すると、音声コマンドが正しく認識されないことがあります。
 - "バージイン"の設定はマツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
- ・音声認識を失敗しないようにするために、次のポイントに注意してください

知識 知識

- ・必要以上にゆっくり発話せず、通常話すときの速さで発話してください。
- ・少し大きめの声で発話すると認識されやすくなりますが、過度に大声を出す必要はありません。同乗者に話しかけるよりも少し大きめの声が目安です。
- ・単語や数字の間で区切らないように発音してください。
- ・マイクの方を向いたり、マイクに近づいたりする必要はありません。運転姿勢を維持したまま、音声コマンドを発話してください。
- ・車外の雑音や車内の気流の乱れにより、音声コマンドが正しく認識されないことがあります。
- ・モバイル機器側の電話帳にふりがな情報が未登録の場合、音声認識で電話帳を呼びだすことができません。
- ・モバイル機器側の電話帳の人物を音声認識で呼びだす場合、登録されている名前が長いほど認識率が向上します(「はは」、「いえ」、「つま」などのように短い場合、認識に失敗することがあります)。

マツダコネクトを OFF/ON にする

OFF にする

音量ノブを長押しすると、マツダコネクトが OFF になり画面が消えます。

ON にする

マツダコネクトを ON にする方法は2つあります。

- ・音量ノブを押す
- コマンダーノブを押す

付録

Gracenote® データベース

USB オーディオ、Bluetooth $^{\circ}$ オーディオを再生した場合、車両に収録されているデータベースの中からアルバムアートを検索し、情報がデータベースに収録されていると、情報を自動で付与します。 本機に収録されているデータベース情報は、Gracenote $^{\circ}$ 音楽認識サービスのデータベース情報を使用しています。

テレビ*

⚠ 注意

- ▶ 本機は、ARIB (電波産業会) 規格にもとづいた商品仕様になっております。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ▶ 各社の商標および製品商標に対しては、特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。
- > 本機に搭載されているソフトウェア、またはその一部につき、改変、翻訳、翻案、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルを行なったりそれに関与してはいけません。
- ▶ 本機を、法令により許されている場合を除き、日本国外に持ち出してはいけません。

コンテンツ権利保護専用方式について

本機は、コンテンツ権利保護専用方式 (ソフトウェア方式) を採用しています。 そのため、B-CAS カードは不要です。

Apple CarPlay

注意

- ➤ 適用法によって認められる最大の範囲で Apple CarPlay (以下「アプリケーション」) およびその情報は、瑕疵 (かし) の有無を問わずかつ一切の保証をともなわない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客さまの責任の下で使用されるものとします。
 - アプリケーションの商品性、満足すべき品質、特定目的への適合性、正確性、平穏享有、第三者の権利の非侵害性に関する明示的、黙示的または法的な保証を含め、マツダは一切の保証はしません。適用法により禁止されない限り、アプリケーションとその使用または使用不能に起因/関連する、人身傷害または付随、特別、間接もしくは派生損害などについて、いかなる場合もマツダおよびマツダ関連会社は一切の責任を負いません。
 - なお、当該損害などには以下のものを含みます。
 - ▶ 挽失利益
 - ▶ データの破損または損失
 - ▶ 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失など
- ➤ Apple CarPlay を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Apple CarPlay を使用してください。

□ 知識

- ・Apple CarPlay は Apple 社によって提供されています。使用するには Apple iOS 利用規約および Apple CarPlay 利用規約に同意していることを条件としています。
- ・Apple CarPlay 使用中は、場所や速度などの車両データが iPhone に転送されます。詳しくは Apple プライバシーポリシーを参照ください。

Android Auto™

⚠ 注意

▶ 適用法によって認められる最大の範囲で Android Auto™(以下「アプリケーション」) およびその情報は、瑕疵(かし)の有無を問わずかつ一切の保証をともなわない「現状有姿」かつ「利用可能な限り」提供され、お客さまの責任の下で使用されるものとします。

なお、当該損害などには以下のものを含みます。

- ▶ 逸失利益
- ▶ データの破損または損失
- ▶ 事業の中断またはその他のいかなる商業的損害もしくは損失など
- ➤ Android Auto™を使用するときは、運転に集中して周囲の状況を十分に確認し、運転者の責任において Android Auto™を使用してください。

□ 知識

- ・Android Auto™は Google 社によって提供されています。使用するには Android Auto™利用規約に同意していることを条件としています。
- ・Android Auto™使用中は、場所や速度などの車両データが Android™スマートフォンに転送されます。詳しくは Google プライバシーポリシーを参照ください。

商標について

- iPhone, iPod touch, iPod nano, Siri and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- · Apple CarPlay is trademarks of Apple Inc.
- Use of the Apple CarPlay logo means that a vehicle user interface meets Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this vehicle or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this product with iPhone, iPod may affect wireless performance.
- iOS is a trademark or registered trademark of Cisco in the U.S. and other countries and is used under license.

 "Made for iPhone" and "Made for iPod" mean that an accessory has been designed to connect specifically to iPhone or iPod, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards.

Please note that the use of this accessory with iPhone or iPod may affect wireless performance.

Made for iPhone 12 Pro Max iPhone 12 Pro iPhone 12 iPhone 12 mini iPhone SE (2nd generation) iPhone 11 Pro Max iPhone 11 Pro iPhone 11 iPhone XS Max iPhone XS iPhone XR iPhone X iPhone 8 Plus iPhone 8 iPhone 7 Plus iPhone 7 iPhone SF iPhone 6s Plus iPhone 6s iPhone 6 Plus iPhone 6 iPhone 5s

iPod touch (7th generation) iPod touch (6th generation)



- · Google, Android, Android Auto and other related marks are trademarks of Google LLC.
- ・AUDIOPILOT は、ボーズコーポレーションの登録商標です。
- Windows Media and Microsoft are registered trademarks of Microsoft Corporation U.S. in the United States and other countries.
- This product is protected by certain intellectual property rights of Microsoft. Use or distribution
 of such technology outside of this product is prohibited without a license from Microsoft.
- Bluetooth®のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、パナソニック(株)はこれらのマークをライセンスにもとづいて使用しています。その他の商標およびトレードネームは、それぞれの所有者に帰属します。



· SDHC Logo is a trademark of SD-3C, LLC.



- ・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における
- HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。 ・Gracenote、Gracenote ロゴとロゴタイプ、"Powered by Gracenote"ロゴ、Gracenote MusicID は、米 国およびその他の国における Gracenote Inc. の登録商標または商標です。



- ・本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio License、AVC Patent Portfolio License および VC-1 Patent Portfolio License にもとづきライセンスされており、以下に記載する行為に係るお客さまの個人的 かつ非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
- ・画像情報を MPEG-4 Visual、AVC、VC-1 規格に準拠して (以下、MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ) を記録する こと。
- ・個人的活動に従事する消費者によって記録された MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオ、または、ライセンスを うけた提供者から入手した MPEG-4/AVC/VC-1 ビデオを再生すること。 詳細については MPEG LA, L.L.C. (http://www.mpegla.com) をご参照ください。
- ・Amazon、Alexa、Echo およびこれらに関連するすべての商標は、Amazon.com, Inc. またはその関 連会社の商標です。

Alexa について

車内で Alexa に話しかけることができます。 Alexa はハンズフリーで簡単に使用でき、運転 姿勢のまま、発話によって車両機能の操作が可 能です。

Alexa の音声認識により車両のナビゲーショ ン、ハンズフリー電話、オーディオ機能などが操 作できます。

また、Alexa のさまざまな機能(天気予報、ニュ ース機能、ショッピング、スマートホーム*1 な ど) も利用できます。

*1 Alexa の一部の機能は、お使いの際にスマー トホーム製品との連携が必要です。

Alexa は Amazon が提供するサービスで、 Amazon 利用規約およびプライバシーポリシー が適用されます。マツダはお客さまの Amazon アカウントにアクセスできません。

Alexa 使用上の警告・注意



҈ 注意

Amazon アカウントにサインインしている ときは、Alexa は同乗者やお客さま以外の方 でも操作できます。Alexa および Amazon アカウントの不正使用を避けるため、車両 を他人に貸し出し、売却する場合は、 Amazon アカウントからサインアウトして ください。Amazon アカウントからのサイ ンアウトは、設定初期化でも可能です。

Alexa の使いかた

Alexa を利用する前に

- ・Alexa を利用するために、車両と Amazon クラウドとで通信を行なう必要があります。 次のどちらかの機能を有効にしてください。 なお、Alexa でストリーミング配信の音楽などを再生するには、Wi-Fi クライアント機能で通信する必要があります。
 - ·コネクティッドサービス機能*1
 - ・Wi-Fi クライアント機能*2
- *1 コネクティッドサービス取扱説明書を参照 してください。
- *2 次の手順で Wi-Fi クライアント機能を設定 してください。
 - 1. マツダコネクトのホーム画面から"設 定"を選択する。
 - 2. "モバイル機器連携"を選択する。
 - 3. "Wi-Fi クライアント設定"を選択する。
 - 4. "Wi-Fi クライアント"が有効になっているか確認する。
 - 5. "周辺ネットワーク検索"または"簡単接続"から、使用するデバイスとの Wi-Fi 接続を行なうことができます。

Wi-Fi クライアント機能は、お客さまのモバイル機器を利用して通信するため、通信料はお客さまのご負担となります。

- ・次の手順で Amazon アカウントにサインイ ンしてください。
 - 1. マツダコネクトのホーム画面から"設定" を選択する。
 - 2. "Alexa"を選択する。
 - 3. "サインイン"を選択する。
 - マツダコネクトの画面にしたがって、サインインしてください。

□ 知識

・Alexa でストリーミング配信の音楽など を再生しているとき、電波状態などによ り、ノイズが発生したり、音楽が途切れた りすることがあります。

□ 知識

・12 V バッテリーを脱着した後、GPS 信号を受信するまで Alexa を利用できません。GPS 信号を受信できる場所に車両を移動してください。

Alexa を利用するとき

Alexa の利用方法は2つあります。

- ・"アレクサ"と発話する*1
- ・トーク/ピックアップボタンを押す*2
- *1 マツダコネクトの"Alexa"で"Alexa ハンズ フリー"を有効にしているときに利用できま す。
- *2 マツダコネクトの"Alexa"で"トークボタンで起動"を有効にしているときに利用できます。

Alexa で操作できる主な機能は次のとおりです。これら以外の機能例もマツダコネクトで確認できます。

- ・ナビゲーションの目的地の設定と消去
- ハンズフリー電話

Alexa の機能例を確認するとき

- 1. マツダコネクトのホーム画面から"設定"を 選択する。
- 2. "Alexa"を選択する。
- 3 "試してみよう!"を選択する。

Amazon アカウントからサインアウトするとき

- "Alexa"のメニュー画面から"サインアウト"を選択する。
- マツダコネクトの画面にしたがって、サインアウトしてください。

マツダエマージェンシーコールに ついて

エアバッグが展開される衝突事故を車両が検知した場合や、SOS ボタンを押した場合に、緊急通報オペレーターを通じて緊急車両の手配などを行なうことができます。

また、交通事故発生時、車両データの活用によりお客さまの重症度を推定し、ドクターへリなどの早期出動判断を行なう D-Call Net®にも対応しています。

⚠ 注意

マツダエマージェンシーコールを作動させるためには、コネクティッドサービスの契約が必要になります。

詳しくはコネクティッドサービス取扱説明 書をご確認ください。

(URL)

https://www.mazda.co.jp/carlife/connected/

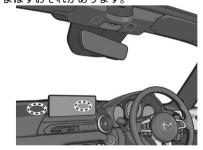
マツダエマージェンシーコール使用上の警告・注意

\triangle

警告

コネクティッドサービス使用時、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の医療用機器を使用している方はアンテナから約22cm以内に医療用機器を近づけない。

電波により、医療用機器の作動に影響をお よぼすおそれがあります。

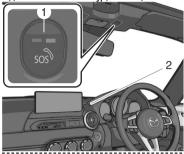


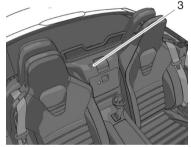
マツダエマージェンシーコールの 使いかた

詳しくはコネクティッドサービス取扱説明書を ご確認ください。

(URL)

https://www.mazda.co.jp/carlife/connected/





- 1. SOS ボタン
- 2. マイク
- 3. スピーカー

収納使用上の警告・注意

<u></u> 警告

荷物を積むときは確実に固定する。

荷物を確実に固定しないと、走行中や急ブレーキ時などに荷物が移動したりくずれたりして、けがや思わぬ事故につながるおそれがあります。

注意

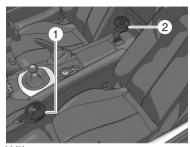
- フタ付きの収納は走行中は、必ずフタを 閉めてください。急ブレーキ時や衝突時 にフタや内部の物でけがをするおそれが あります。
- ➤ フタのついていない収納スペースに物を 入れるときは、収納のしかたに注意して ください。収納の状態により、急ブレー キや急旋回時、急加速時などに内部の物 が飛び出すなど思わぬ事故につながるお それがあります。
- > 炎天下に駐車するときは、収納ボックス内にメガネやライターを放置しないでください。 収納ボックス内が高温になるため、ライターが爆発したり、プラスチックレンズ・プラスチック素材のメガネが変形・ひび割れを起こしたりすることがあります。

カップホルダー使用上の警告・注 意

⚠ 注意

- 走行中は熱い飲み物を置かないでください。熱い飲み物がかかると、やけどをするおそれがあります。
- ペットボトル、カップ、缶以外のものを置かないでください。走行中に落ちて、けがをするおそれがあります。
- ふたのないペットボトルなどは置かないでください。走行中にペットボトルなどの中身がこぼれるおそれがあります。
- 手をついたり、ひじをかけたりして無理 な力をかけないでください。無理な力を かけると破損するおそれがあります。
- ▶ 同乗者がいる場合は、前側のカップホル ダーをリアコンソールに取り付けて使用 してください。前側で使用すると、ひざ などが当たり、中身がこぼれるおそれが あります。
- > カップホルダーを取り付けるときは、取り付け穴の奥まで差し込み、固定されていることを確認してください。 固定されていないと、走行中にカップホルダーがはずれて、飲み物などがこぼれるおそれがあります。

カップホルダーの使いかた



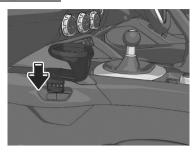
- 1. 前側
- 2. 後側*

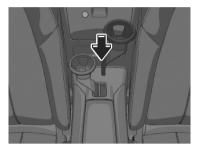
取りはずすとき

取りはずすときは両手で取りはずします。



取り付けるとき





◯ 知識

・前側のカップホルダーは取りはずして、 リアコンソールに取り付けることができます。



・後側のカップホルダーはリアコンソール 専用のため前側に取り付けることはできません。



センターコンソールボックスの使 いかた



リアコンソールボックスの警告・ 注意

⚠ 注意

コンソール後側のカップホルダーを使用している場合は、カップなどを取り除いてからリアコンソールボックスを開いてください。カップなどを置いたまま、リアコンソールボックスを開くとフタがカップなどに当たり、中身がこぼれるおそれがあります。

リアコンソールボックスの使いか た

ノブを下に押しながらリアコンソールボックス を開く。



閉めるときは、カチッと音がするまでリアコン ソールボックスを押さえる。

補助キーを差し込みまわすと施錠/解錠します。



- 1. 解錠
- 2. 施錠

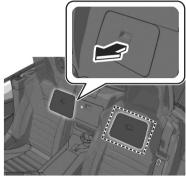
リアストレージボックスの警告・ 注意

⚠ 注意

リアストレージボックスに無理に物を押しこまないでください。無理に押しこむと破損するおそれがあります。

リアストレージボックスの使いか た

- 1. シートをいちばん前へスライドさせ、背もたれを前に倒す。
- 2. (ソフトトップ車)

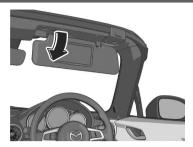


(ハードトップ車)



使用後はシートをもとの位置にもどします。 もどした後は、シート、背もたれを前後に軽くゆ さぶって、確実にロックされていることを確認 してください。

サンバイザーの使いかた



バニティミラーの使いかた

バニティミラーは、サンバイザーの裏側にあり ます。

イルミネーテッドエントリーシス テムについて

運転席ドアの開閉や車両の電源に連動して、室内照明が点灯/消灯します。

イルミネーテッドエントリーシス テムの使いかた

ルームランプスイッチが DOOR の位置で、次のような操作をすると、ルームランプが点灯します。

- ・車両の電源が OFF で、ドアを解錠したとき。
- ・すべてのドアが閉まっている状態で、車両の 電源を OFF にしたとき。

次のような操作をすると、ルームランプが消灯 します。

- ・運転席ドアを施錠したとき
- ・車両の電源を ON にしたとき

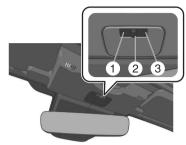
車両の電源が OFF で室内照明が点灯したままのときは、一定時間経過後に消灯します。



知識

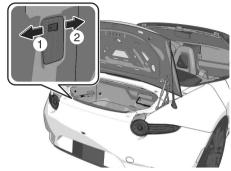
- ・イルミネーテッドエントリーシステムが 消灯するまでの時間を変更することができます。
 - マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。
- ・ルームランプスイッチが ON または OFF の位置のときは、イルミネーテッドエン トリーシステムは連動しません。

ルームランプの使いかた



- 1. ON
- 2. DOOR
- 3. OFF
- ・スイッチを ON の位置にする。 ルームランプが点灯します。
- ・スイッチを DOOR の位置にする。 ドアを開けるとルームランプが点灯し、閉め ると消灯します。
 - イルミネーテッドエントリーシステムの作動 により点灯/消灯します。
- ・スイッチを OFF の位置にする。 ルームランプが消灯します。

トランクルームランプの使いかた



- ON
 OFF
- ・スイッチを ON の位置にする。 トランクを開けるとトランクルームランプが 点灯し、閉めると消灯します。
- ・スイッチを OFF の位置にする。 トランクルームランプが消灯します。

電源ソケットについて

車両の電源が ACC または ON のとき、電気製品の電源として使用します。

最大消費電力 120 W (DC 12 V—10 A) 以下の電気製品を使用してください。

| 電源ソケット使用上の警告・注意

⚠ 注意

- 使用しないときは、必ずフタを閉めておいてください。ソケットに異物が入ったり、飲料水などがかかったりすると、故障につながるおそれがあります。
- ▶ 電気製品のプラグはソケットに確実に差し込んでください。プラグが確実に差し込まれていないと、異常に発熱することがあり、ヒューズが切れるおそれがあります。
- 消費電力が 120 W (DC12 V-10 A) を超える電気製品は使用しないでください。故障につながるおそれがあります。
- 電源ソケットに接続される機器によってはオーディオにノイズが発生することがあります。
- ▶ シガーライターを差し込まないでください。
- ➤ 電源ソケットに接続される製品によっては、警告灯が点灯するなど車両のシステムに影響をおよぼすおそれがあります。接続されている機器をはずし、問題が改善されるか確認してください。改善された場合、機器をソケットからはずした後、車両の電源を OFF にしてください。問題が継続する場合、マツダ販売店にご相談ください。

電源ソケットの使いかた

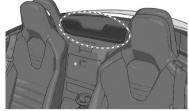
フタを開けて、使用するプラグを差し込みます。



使用後は、プラグを抜き、フタを閉めます。

エアロボードについて

エアロボードは、ソフトトップ/リトラクタブル ハードトップを開けて走行するとき、後方から の風の巻き込みを防ぎます。 **(ソフトトップ車)**



(ハードトップ車)



電気・電子部品/機器使用上の警 告・注意

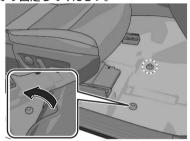
⚠ 注意

車両の電気・電子部品/機器の取り付け、取りはずし、交換をする場合は、マツダ販売店に相談してください。車両や他の部品への悪影響、誤動作や破損、故障の原因になる可能性があります。

フロアマット使用上の警告・注意

⚠ 注意

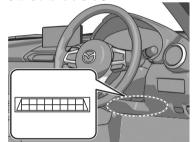
- ▶ フロアマットは車にあったものを使用してください。
- ▶ フロアマットは重ねて使用しないでください。
- プロアマットはフロア上のフックでしっかり固定してください。



故障診断コネクターについて

⚠ 注意

故障診断コネクターには、点検整備用の故障診断機以外を接続しないでください。 故障診断機以外の機器を接続すると、車の電子機器に悪影響をおよぼしたり、バッテリーがあがったりするなど、思わぬ故障につながるおそれがあります。

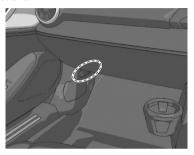


発炎筒について

事故や故障で停車したとき、周囲に危険を知らせるために使います。

発炎筒に記載されている次のことをよく読み、 あらかじめ確認しておいてください。

- · 使用方法
- ・使用トの注意事項
- · 発炎時間
- · 有効期限



発炎筒使用上の警告・注意



҈へ 警告

油、ガソリンなど可燃物の近くでは使用しない。

火災につながるおそれがあります。

使用するときは筒先を顔や体に向けたり近 づけたりしない。

やけどなど、重大な傷害につながるおそれがあります。

お子さまにはさわらせない。

誤って使用すると、やけどや思わぬ事故につながるおそれがあります。

トンネル内では発炎筒を使用しない。

トンネル内で発炎筒を使用すると、煙で視界が悪くなるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。必要なときは非常点滅灯を使用してください。

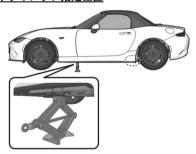
ジャッキについて



知識

ジャッキはお客さまのお車に標準で搭載されておりません。

ジャッキアップ指定位置



ジャッキ使用上の警告・注意

⚠ 警告

ジャッキアップするときはチェンジレバーを1またはRの位置(マニュアル車)/セレクトレバーをPの位置(オートマチック車)に入れ、パーキングブレーキをかけ、ジャッキをかける位置と対角の位置に輪止めをする。

パーキングブレーキをかけて輪止めをしないと、車が動きジャッキがはずれて思わぬ事故につながるおそれがあります。

ジャッキアップ指定位置以外にジャッキをかけたり、ジャッキの上下に台やブロックなどを入れたりしない。

車体が変形したり、ジャッキがはずれたりして思わぬ事故につながるおそれがあります。

必要以上にジャッキアップしない。 車体が不安定になるため、思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

ジャッキアップした状態で車のエンジンを 始動しない。

ジャッキがはずれた場合、思わぬ事故につながるおそれがあります。

ジャッキアップした車の下には絶対に入らない。

万一ジャッキがはずれた場合、重大な傷害に つながるおそれがあります。



↑ 注意

人を乗せたままジャッキアップしないでく ださい。

8 いざというときの対処法

緊急を要するとき8-4
事故に対処する8-4
マツダエマージェンシーコールを
利用する8-4
冠水や浸水しているときの対処を
する8-5
車両が動けなくなったとき8-6
路上で動けなくなったときの対
如左て動がなくなったことの人
処をする8-6 踏切内で動けなくなったときの
対処をする8-6
スタックしたときの対処をす
る8-7
フェーナリリッドが明けられたくか
フューエルリッドが開けられなくな
ったとき8-8
フューエルリッド を荷室から開
ける8-8
けん引が必要なとき8-9
けん引してもらう8-9
けん引フックを使う8-10
キーが作動しないとき 8-12
キーの一時停止機能を解除す
る8-12
電池切れしたキーでエンジンを始
動する 8-13
エンジンかからないとき 8-14
12V バッテリーあがりを処置す
る8-14

エンジンか停止できないとき 8-17 エンジンを強制的に停止す る8-17
セレクトレバーが操作できないとき
オーバーヒートしたとき 8-19 オーバーヒートを処置す る8-19
パンクやバースト (破裂) したとき
ルーフが閉められなくなったとき
トランクリッドが開けられなくなったとき8-35 トランクリッドを車内から開ける8-35
パワーウインドーが操作できないとき8-40 自動開閉機構を復帰する8-40 はさみ込み防止機構を解除する8-40

フロントワイパーが高速作動す とき	
とき マツダ販売店で点検を受ける	
ウォッシャー液が噴射しないとき	. 8-42 を確
警告灯が点灯したとき 警告灯について ブレーキ警告灯 充電警告灯 オイル警告灯	8-43 8-43 8-44 8-45
灯ABS 警告灯	8-45 8-46 8-47 8-47 8-48 8-48
DSC-TRACK 表示灯*	…8-49 パリテ …8-50 …8-51 …8-51 プ警告 …8-52

	アダプティブ・LED・ヘッドラ (ALH) 警告灯 (橙)* i-ACTIVSENSE 警告灯 エクステリアランプ警告灯 燃料残量警告灯 シートベルト警告灯	8-53 8-53 8-54 8-54 8-55
	半ドア警告灯/トランクリット 警告灯 KEY 表示灯 (緑) (点滅) レンチ表示灯	8-55 8-56 .8-56
チ +	マイムがなったとき	8-57
	ランプ消し忘れ防止チャイ	0 57
	ム リトラクタブルハードトップ	8-51
	チャイム*	言古
	電源オフ忘れ警告チャイム	.6-51
	电源力 ノ心化言ロブヤイム	
	キー車外持ち出し警報チャイ	0-30
	ム	8-58
	キー車内閉じ込み警報チャイ	
	ム	8-59
	トランク内キー閉じ込み警報	チ
	ャイム (アドバンストキーレ	ス機
	能装備車)	8-59
	ドアロック不作動警告チャイ	
	(アドバンストキーレス機能装	
	車) 電動ハンドルロック警告チャ	8-60
	電動ハントルロック書音ナヤ	0 60
	ム ブレーキシステム警告チャイ	0-00
	ム 12V バッテリー充電量低下チ	8-61
	イム	8-61
۱le	exa が作動しないとき	
	Alexa の設定を確認する	8-62

MEMO

事故に対処する

事故が起きたときは、あわてず次の処置をして ください。

- 1. 事故の続発を防止する。
 - 他の交通のさまたげにならない安全な場所 (路肩、空き地など) に車を移動させ、エンジンを停止します。
- 2. 負傷者の救護をする。
 - 負傷者がいる場合は、医師、救急車などが到着するまでの間、可能な応急手当を行ないます。
 - この場合、とくに頭部に傷を受けているようなときは、むやみに動かさないようにします。 ただし、後続事故のおそれがある場合は、安全な場所に移動させます。
- 3. 警察へ連絡する。
 - 事故の発生場所、状況、負傷の程度などを報告し、指示を受けます。
- 4. 相手の氏名、住所などを確認する。
- 5. マツダ販売店、保険会社へ連絡する。

マツダエマージェンシーコールを 利用する

緊急通報オペレーターを通じてコネクティッド サービスを利用することができます。 →7-19 ページ「マツダエマージェンシーコー ル」

冠水や浸水しているときの対処を する

⚠ 警告

冠水した道路や冠水のおそれがある道路 は、走行しない。

水位がフロアを超えると、パワーウインドーが作動しなくなったり、エンジンやモーターが停止したりして車が移動できなくなるおそれがあります。

水没し車が移動できなくなったときは

- ・ドアを開けることができる場合は、ドアを開 け車外に出る
- ・ドアを開けることができない場合、ドアの窓 ガラスを開けて窓から車外に出る

🕮 知識

車内が浸水していない状態で、車外の水位が ドア高さの半分を超えると、水圧で車内から ドアを開けるのが難しくなります。 車内の 水位が車外の水位と同じになると、ドアを 開けることができる可能性が高まります。

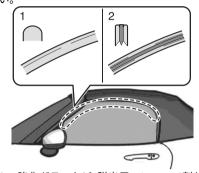
緊急脱出用ハンマーの使用について

使用方法は、脱出用ハンマーに付属している取 扱説明書をお読みください。

- ・フロントガラスは合わせガラスのため、脱出 用ハンマーで割ることはできません。
- ・窓ガラスに合わせガラスを使用しているお車があります。その場合も脱出用ハンマーでは 割ることはできません。

📖 知識

ガラスの断面から、ガラスの種類を見分ける ことができます。 平常時にご確認くださ い。



- 1. 強化ガラスなど: 脱出用ハンマーで割れるガラス
- 2. 合わせガラス: 脱出用ハンマーで割れないガラス

路上で動けなくなったときの対処 をする

Λ

警告

万一、事故や故障などで車から燃料が漏れている場合は、すぐにエンジンを停止する。 爆発、火災につながるおそれがあり危険です。また、発炎筒は車から離れたところで使用してください。

- 1. 車を路肩に止め、非常点滅表示灯を点滅させる。
 - →5-61ページ「非常点滅表示灯」
- 2. 必要に応じて停止表示板 (停止表示灯)、発 炎筒を使用し、後続車に故障車であること を知らせる。
 - →7-37ページ「発炎筒」
 - ・高速道路や自動車専用道路などでは車の 後方に停止表示板 (停止表示灯) を置くこ とが法律で義務付けられています。
 - ・停止表示板を置くときには、発炎筒を使って合図をするなど、後続車に十分注意 してください。



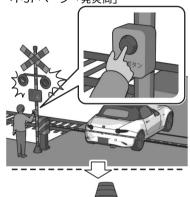
- 3. 全員が車から降り、ガードレールの外などの安全な場所に、すみやかに避難する。
- 4. 安全を確保した後、救援を求める。 故障の修理などお困りの際はマツダ販売店 に連絡してください。

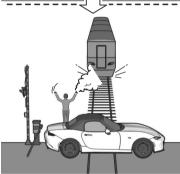
踏切内で動けなくなったときの対 処をする

脱輪などで動けなくなったとき

- 1. 踏切の非常ボタンを押す。
- 2. 緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図する。

→7-37 ページ「発炎筒」





3. 付近の人に救援を求める。

エンストで動けなくなったとき

- 1. エンジンをかけ直す。
- 2. エンジンがかからないときは、踏切の非常 ボタンを押す。
 - 緊急を要するときは、発炎筒で列車に合図 する。
 - →7-37 ページ「発炎筒」
- 3. 付近の人に救援を求める。
- 4. チェンジレバー/セレクトレバーを N の位置に入れ、安全な場所まで押し出す。

□ 知識

スターターを使って、車を緊急避難させることはできません。

スタックしたときの対処をする

ぬかるみ、砂地、深雪路などで駆動輪が空転したり、埋まり込んだりして動けなくなることをスタックといいます。

- ・周囲の安全を十分に確認してください。脱出 直後に車両が突然動き出し、思わぬ事故につ ながるおそれがあります。
- ・タイヤ前後の土や雪を取り除くか、タイヤの下に木や石をあてがい、マニュアル車はチェンジレバーを1またはRに、オートマチック車はセレクトレバーをDまたはRの位置に入れて、アクセルペダルを軽く踏みます。チェンジレバー/セレクトレバー操作中はアクセルペダルを踏まないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。また、車両のし、あてがった木や石が飛散し、重大な傷害につながるおそれがあります。
- ・タイヤを高速で回転させないでください。タイヤがバースト(破裂)したり、異常過熱したり思わぬ事故につながるおそれがあります。
- アクセルを過度に空ぶかししたり、タイヤを 空転させたりしないでください。トランスミッションなどを損傷するおそれがあります。

フューエルリッド を荷室から開ける

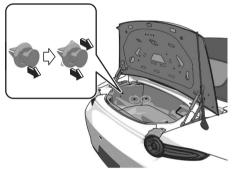
バッテリーがあがると、フューエルリッドが開けられなくなります。

この場合、バッテリーあがりの対処をすることでフューエルリッドを開けることができるようになります。

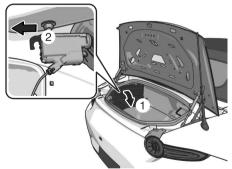
→8-14ページ「12V バッテリーを処置する」 バッテリーあがりの対処をしても、フューエル リッドを開けることができない場合は電気系統 の故障が考えられます。

この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

- 1. トランクを開ける。
 - →4-14ページ「トランクの使いかた」
- 2. ファスナーを取りはずす。



3. トランク内側のカバーをめくります。レバーを引いて、フューエルリッドを開ける。



けん引してもらう

けん引はできるだけマツダ販売店などに依頼してください。特に、エンジンがかかっているのに車が動かないときや異常な音がするときは駆動装置の故障が考えられます。必ずマツダ販売店などに連絡してください。

⚠ 警告

長い下り坂を走行するときは、レッカー車 でけん引する。

ロープでけん引をすると、車間距離を保つためにフットブレーキを多用し、ブレーキが 過熱して効かなくなります。このような状態でけん引を続けると、前の車に衝突する おそれがあります。

⚠ 注意

➤ 駆動輪が接地した状態でけん引しないでください。駆動装置が破損するおそれがあります。



吊り下げタイプのレッカー車の使用は避けてください。車体を傷つけるおそれがあります。



⚠ 注意

> パーキングブレーキが解除できないときのけん引は、図のように前後輪をすべて持ち上げた状態で搬送してください。 車輪を持ち上げないでけん引すると、ブレーキシステムが破損するおそれがあります。







オートマチック車をロープでけん引して もらうときは、速度30km/h以下、走行距 離は30km以内にしてください。

ロープでけん引してもらうときの手順について は、次の項目を参照してください。

→8-10ページ「けん引フックを使う」

けん引フックを使う

⚠ 注意

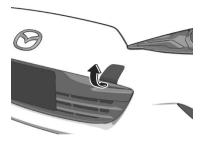
けん引するときは次の点に注意してください。けん引フックや車体および駆動装置を 損傷するおそれがあります。

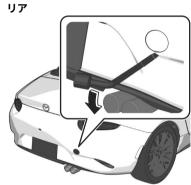
- ▶ 自車の重量より重い車はけん引しないでください。
- ▶ 急発進など、けん引フックやロープに大きな衝撃が加わる運転をしないでください。
- ▶ けん引フック以外にロープをかけないでください。
- ▶ 金属製のチェーンやワイヤーロープなどを使用するときは、ロープやロープ先端に付いているフック部に布などを巻いてください。直接バンパーにあたると、傷がつくおそれがあります。
- けん引フック、ホイールレンチをトランク ルームから取り出す。



- 1. 工具袋
- 2. ホイールレンチ
- 3. けん引フック
- ホイールレンチなどの先端に布を巻いてカバーを取りはずす。

フロント

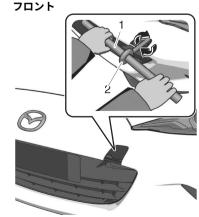




⚠ 注意

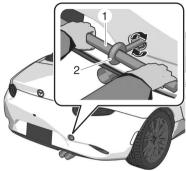
カバーはバンパーから完全に取りはずし、 紛失しないように保管してください。

3. けん引フックを取り付ける。

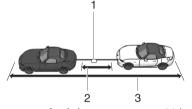


- 1. ホイールレンチ
- 2. けん引フック

リア



- 1. ホイールレンチ
- 2. けん引フック
- 4. けん引ロープをフックにかける。



- 1. ロープの中央に 0.3 m×0.3 m 以上の白 い布を必ず付ける。
- 2. ロープの長さは5m以内にする。
- 3. 全体の長さは 25 m 以内にする。

故障車をけん引するとき

故障した車をロープでけん引するときは、後ろ 側のけん引フックにロープをかけてけん引して ください。

自車をけん引してもらうとき

1. エンジンをかけ、チェンジレバー/セレクト レバーを N に入れる。エンジンがかからな いときは、電源ポジションを ON にする。

警告

エンジンがかかっていない状態でけん引き れる場合は、慎重に運転する。

エンジンがかかっていないときは、ブレーキ の効きが悪くなったり、ハンドル操作が重 くなったりするなど運転操作が困難にな り、思わぬ事故につながるおそれがありま す。



⚠ 注意

けん引中は電源ポジションを OFF にしない でください。OFF にするとハンドルがロッ クされ、操作できなくなり、思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

- 2. パーキングブレーキを解除する。
- 3. ロープをたるませないように走行する。

キーの一時停止機能を解除する

キーが車内にあるとき、車内に置いてあるキーの機能が、盗難防止のために一時停止する場合があります。

この場合は、車内から一時停止したキーのアン ロックスイッチを押すと復帰します。

補助キーを使って施錠・解錠する

1. ノブを押しながら、カバーを取りはずす。



- 2. 補助キーを取りはずす。
- 3. 補助キーをまわす。 ドアが解錠します。

施錠

次の場所が施錠されます。

- ・すべてのドア
- ・フューエルリッド
- ・トランクリッド

解錠

次の場所が解錠されます。

運転席のドア



- 1. 解錠
- 2. 施錠
- 4. 補助キーをもとの位置に取り付ける。
- 5. カバーのツメを差し込むように取り付け る。



電池切れしたキーでエンジンを始 動する

⚠ 注意

次のような状態にしないでください。車両がキーからの信号を正確に受信できず、エンジンが始動できない場合があります。

▶ キーに他のキーの金属部や金属製のものが接している。



▶ キーにスペアのキーや他の車両の盗難防 止システムキー(信号発信機内蔵のもの) が重なっている、または近くにある。



▶ キーの近くに電子部品を含んだ製品やクレジットカードなどの磁気カードがある。

キーの電池切れなどで、エンジンが始動できないときは、次の手順でエンジンを始動できます。

- クラッチペダル (マニュアル車)、またはブレーキペダル (オートマチック車) を踏む。 プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅します。
- ギーのエンブレム中心をプッシュボタンス タートの中心にあわせる。

プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点 灯します。



- 1. 表示灯
- 2. プッシュボタンスタート
- 3. +-
- 4. エンブレム
- 3. プッシュボタンスタートを押す。

□ 知識

- プッシュボタンスタート機能に異常があるときは、プッシュボタンスタートの表示灯(橙)が点滅します。この場合でもエンジンを始動できることがありますが、たちにマツダ販売店で点検を受けてください。
- ・プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が 点灯しない場合は、最初から操作を行な ってください。それでも点灯しない場合 はマツダ販売店で点検を受けてくださ い。
- ・車両の電源を切り替えるときは、プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点灯に変わった後、クラッチペダル (マニュアル車)、またはブレーキペダル (オートマチック車) を放してからブッシュボタンスタートを押してください。車両の電源が ACC、ON、OFF の順に切り替わります。なお、車両の電源が OFF になることができないため、エンジンを始動する場合は最初から操作してください。

12V バッテリーあがりを処置する

次のような状態は 12V バッテリーあがりです。

- ・エンジンが始動しない。
- ・ホーンの音が小さい、または鳴らない。
- ・ランプ類がいつもより極端に暗い。

別売りのブースターケーブルを使用して、救援車 (他の車) のバッテリーと自車の 12V バッテリーを接続してエンジンをかけます。

自車と同じ 12V バッテリーを搭載した救援車を依頼してください。

⚠ 警告

正しく安全に 12V バッテリーを取り扱うために、12V バッテリー使用前または点検前には必ず次の注意事項をお読みください。

必ず保護メガネを着用する。

12V バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目に入ると失明など重大な傷害につながるおそれがあります。また、12V バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあります。

12V バッテリーの近くでお子さまを遊ばせない。また、12V バッテリー液をこぼさない。 12V バッテリー液には有毒で腐食性の高い希硫酸が含まれており、目や皮膚に付着すると重大な傷害につながるおそれがあります。万一、目や皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗浄し、応急処置が済んだら、医師の診察を受けてください。

絶対に火気を近づけない。

12V バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。火気の発生を防ぐため、ブースターケーブルの接続、取りはずしのときは、端子同士やボディーに触れないように十分注意してください。

換気の悪い場所では、12V バッテリーの充電を行なわない。 また、充電中は 12V バッテリーに近づかない。

12V バッテリーから発生する可燃性ガスに引火して爆発するおそれがあり危険です。

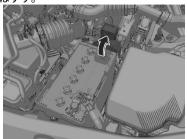
ブースターケーブルを使用してエンジンを始動する前に必ず 12V バッテリー液の量を点検する。 12V バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

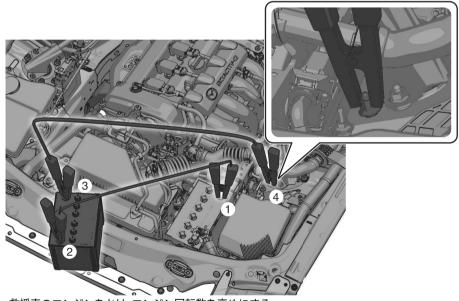
ブースターケーブルを接続するときは慎重に行なってください。ブースターケーブルがベルトなど の回転部に巻き込まれるおそれがあります。

1. ヘッドランプやエアコンなどの電源が切ってあることを確認する。

2. バッテリーキャップを取りはずす。



- 3. 救援車のエンジンを止めて、ブースターケーブルを次の順で接続する。 ブースターケーブルはエンジンの振動などではずれないよう確実に接続してください。
 - ·1本目
 - ①自車の 12V バッテリーの+端子
 - ②救援車の 12V バッテリーの+端子
 - · 2 本目
 - ③救援車の12Vバッテリーの-端子
 - ④図で表示の箇所 (12V バッテリーの-端子に接続しない)



- 4. 救援車のエンジンをかけ、エンジン回転数を高めにする。
- 5. 自車のエンジンをかける。約3分間エンジンを回転させて、応急的に自車の12Vバッテリーを充電する。
- 6. ブースターケーブルを接続したときと逆の順で取りはずす。
- 7. バッテリーキャップを取り付ける。

8. 早めにマツダ販売店で点検を受ける。

<u>押しがけについて</u>

押しがけによる始動はできません。

エンジンを強制的に停止する

プッシュボタンスタートを押し続ける、または 素早く何度も押す。

エンジンが停止し、車両の電源が ACC になります。

シフトロック装置を解除する (オ ートマチック車)

1. マイナスドライバーなどを使用してカバー をはずす。



- 1. カバー
- 2. ブレーキペダルを踏む。
- 3. マイナスドライバーなどを使用してシフトロック解除ボタンを押した状態でセレクトレバーボタンを押し、セレクトレバーを操作する。



1. シフトロック解除ボタンマツダ販売店で点検を受けてください。

オーバーヒートを処置する

次のようなときは、オーバーヒートです。

- ・高水温警告灯ったが点灯し、出力が急に低下 したとき。
- ・エンジンルームから蒸気が出ているとき。

エンジンルームから蒸気が出ているときは、 ボンネットを開けない。

エンジンルーム内が熱いとき、ボンネットを 開けると、蒸気や熱湯が噴き出してやけどな ど、重大な傷害につながるおそれがありま す。また、蒸気が出てない場合でも高温に なっている部分があります。ボンネットを 開けるときは十分に注意してください。



✔エンジンが十分に冷えるまでは ラジエーターとリザーバータンクのキャッ プを開けない。

エンジンが熱いときにラジエーターキャッ プをはずすと、蒸気や熱湯が噴き出してやけ どなど、重大な傷害につながるおそれがあ ります。



ン エンジンルーム内を点検するときは、 ファンやベルトなどの回転部に触れない。 特に、エンジンルームが高温のときは、エン ジンが停止していてもファンが回転するこ とがあるため、手や衣服などが巻き込まれ るなど、重大な傷害につながるおそれがあ ります。

- 1. 安全な場所に車を止める。
- 2. エンジンルームから蒸気が出ていないかど うかを確認する。

エンジンルームから蒸気が出ているときは エンジンを停止してください。蒸気が出な くなるまで待ち、風通しをよくするために ボンネットを開け、エンジンを始動してく ださい。

エンジンルームから蒸気が出ていないとき

<u></u>エンジンを作動させたままボンネットを開 け、エンジンを冷やします。 クーリングファンが作動していることを確 認し、高水温警告灯 が消灯したらエン ジンを停止します。

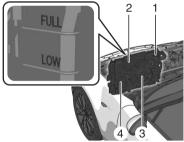
↑ 注意

クーリングファンが作動していないときは、 クーリングファンの故障が考えられます。 ただちにエンジンを停止し、マツダ販売店 にご連絡ください。

3. エンジンが十分に冷えてから、冷却水の量 を点検する。冷却水量が不足しているとき は①ラジエーター②リザーバータンクの 順に冷却水を補充する。

冷却水がない場合は一時的に水を補充して ください。

補充後はキャップを確実に取り付けてくだ さい。



- 1. ラジエーターキャップ
- 2. リザーバータンク
- 3. クーリングファン
- ラジエーター
- 4. 早めに最寄りのマツダ販売店で点検を受け る。

パンクやバースト (破裂) に対処す る

走行中タイヤがパンクやバースト (破裂) したときは、ハンドルをしっかり持ち、徐々にブレーキをかけスピードを落としてください。 急ブレーキをかけるとハンドルをとられるおそれがあります。

次のようなときはパンクやバースト (破裂) が 考えられます。

- ・ハンドルがとられるとき。
- ・異常な振動があるとき。
- ・車両が異常に傾いたとき。

タイヤパンク応急修理キットを使 う

タイヤパンク応急修理キットについて

本キットはタイヤの接地面に刺さった釘やネジ などによる軽度のパンクを一時的に修理するものです。

タイヤに刺さった釘やネジなどを抜かず、応急 修理してください。

♠ 警告

万一誤飲したときは、すぐに多量の水を飲み、応急処置が済んだら、医師の診察を受ける。

修理剤を誤飲すると健康に害があります。

修理剤が目に入ったり、皮膚に付着したり したときは、すぐに多量の水で洗浄する。 それでも異常を感じたときは、医師の診察を 受けてください。

お子さまには修理剤をさわらせない。 誤って使用すると、思わぬ事故につながるお それがあります。

天然ゴムに対するアレルギーを有する人は 修理剤に触れない。

アレルギー症状を発症する可能性がありま す。



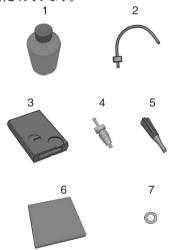
知識

- ・お客さまの車にはスペアタイヤが標準装備されておりません。パンクした場合は応急処置としてタイヤパンク応急修理キットをお使いください。お使いの際は、本キットに同梱されている取扱説時急処置後は、マツダ販売店などでできるだけ早くタイヤの修理または交換を行なってください。
- ・一度使用した修理剤は再使用できません。新しい修理剤をマツダ販売店でお求めください。

📖 知識

- ・次のようなときには、修理剤を使用する ことができません。マツダ販売店などに 連絡してください。
 - ・修理剤の有効期限が切れているとき (有効期限はボトルのラベルに記載され ています)
 - ・約4mm以上の切り傷や刺し傷がある とき
 - ・タイヤ側面、ホイール、バルブなど、タ イヤ接地部以外が損傷を受けたとき
 - ・タイヤがホイールからはずれているとき
 - ・タイヤが 2 本以上パンクしているとき

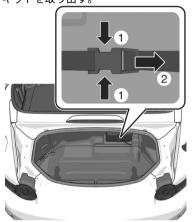
タイヤパンク応急修理キット内には、次のもの が格納されています。



- 1. 修理剤
- 2. 注入ホース
- 3. エアコンプレッサー
- 4. 予備バルブコア
- 5. コアまわし
- 6. 取扱説明書
- 7. 速度制限シール

タイヤパンク応急修理キットを使う

- 1. 車を交通のさまたげにならない、地面が平らで固い安全に作業できる場所に移動する。
- チェンジレバーを1またはRの位置(マニュアル車)/セレクトレバーをPの位置(オートマチック車)に入れ、車両の電源をOFFにする。
- 3. 必要に応じて、非常点滅表示灯を点滅させ、 停止表示板 (停止表示灯) を使用する。
- 4. 人や荷物を降ろし、タイヤパンク応急修理 キットを取り出す。



タイヤパンク応急修理キットの位置は仕様 により異なる場合があります。

5. 修理剤のボトルをよく振る。



҈ 警告

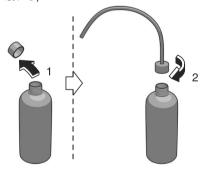
注入ホースをねじ込む前にボトルを振る。 注入ホースをねじ込んだ後にボトルを振る と、修理剤が注入ホースから飛び散り、衣服 などに付着すると取れないおそれがありま す。

知識

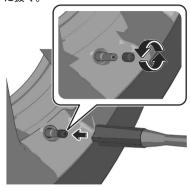
修理剤が使用可能な外気温は-30℃以上で す。

0 ℃以下の寒冷時では修理剤が固まりやす くなり、注入作業がしにくくなります。車 内などで温めると注入作業がしやすくなり ます。

6. ボトルのキャップをはずし、内ぶたをつけ たままの状態で注入ホースをボトルにねじ 込む。(ねじ込むことで、ボトルの内ぶたが 破れる)



7. パンクしたタイヤのバルブからキャップを 取りはずし、コアまわしの後ろでバルブ内 のバルブコアを押してタイヤの空気を完全 に抜く。



8. コアまわしでバルブコアを取りはずす。





҈ 注意

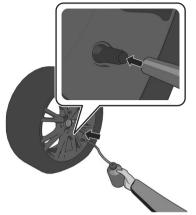
バルブコアをはずすとき、タイヤに空気が残 っているとバルブコアが飛び出すおそれが あります。バルブコアは慎重に取りはずし てください。



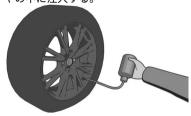
知識

バルブコアは汚れないように保管してくだ さい。

9. 注入ホースをバルブに差し込む。



10. 手でボトルを圧迫し、修理剤をすべてタイ ヤの中に注入する。



11. 注入ホースをバルブから引き抜き、コアま わしでバルブコアを右にまわしてバルブコ アを取り付ける。

> その後、残った修理剤が漏れないようにす るために、注入ホースをタブに取り付ける。



1. タブ

知識

注入が完了した空ボトルは、タイヤ交換また は修理の際に使用済み修理剤の回収に使用 しますので、ボトルは捨てずにマツダ販売 店までお持ちください。

12. 運転者のよく見えるところに速度制限シー ルを貼る。



ハンドルのパッド部に速度制限シールを貼 らない。

万一の場合エアバッグが正常に作動しなく なり、重大な傷害につながるおそれがあり ます。また、警告灯やスピードメーターが 見えなくなる位置には貼らないでください。



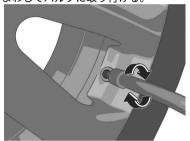
⚠ 注意

- ▶ 速度制限シールをメーターパネルやディ スプレイなどに貼らないでください。剥 がすときに傷がつくおそれがあります。
- ▶ 速度制限シールは、タイヤ修理交換後す みやかに剥がしてください。

13. エアコンプレッサーからコンプレッサーホースと電源プラグを引き出す。



14. エアコンプレッサーのホースの口金を右に まわしてバルブに取り付ける。



15. 電源ソケットのフタを開けてエアコンプレッサーのプラグを差し込み、車両の電源を ACC にする。



⚠ 注意

電源ソケットにエアコンプレッサーのプラグを抜き差しするときは、エアコンプレッサーのスイッチが OFF になっていることを確認してください。

⚠ 注意

- エアコンプレッサーの ON、OFF はエアコンプレッサー本体のスイッチで行なってください。
- 16. エアコンプレッサーのスイッチを ON にして、タイヤを適正空気圧まで昇圧する。

◯ 知識

- ・タイヤの適正空気圧は運転席ドアを開けたボディー側に貼り付けられているラベルで確認してください。
- ・エアコンプレッサーは長時間使用すると 故障につながるおそれがありますので、 10 分以上連続して作動させないでください。
- ・タイヤ空気圧が昇圧できない場合は修理できません。もし、10 分以内に適正空気圧にならなければ、タイヤがひどい損傷を受けている可能性があります。この場合は、本修理キットで応急修理することができません。マツダ販売店などに連絡してください。
- ・空気を入れすぎたときはエアコンプレッサーのホースの口金をゆるめて空気を抜いてください。
- 17. 適正空気圧まで昇圧できたら、エアコンプレッサーのスイッチを OFF にしエアコンプレッサーのホースの口金をバルブから抜く。
- 18. バルブキャップを取り付ける。
- 修理剤をタイヤ内にゆきわたらせるため、 ただちに走行を始める。

注意

80 km/h 以下の速度で慎重に運転してください。80 km/h を超えた速度で走行した場合、車体が振動することがあります。

20. 10 分間もしくは 5 km 程度走行後に手順 14 の方法でタイヤにエアコンプレッサー を接続し、エアコンプレッサーに付属して いる空気圧計でタイヤ空気圧を確認する。 適正空気圧より低下していたら、手順 15 の作業から再度行なう。

⚠ 警告

空気圧が 130 kPa (1.3 kgf/cm²) 以下に低 下していたら、運転を中止してマツダ販売店 などに連絡する。

本修理キットによる応急修理はできません。

手順 14~19 の作業を繰り返しても、空気圧 の低下が認められる場合は、運転を中止す る。

マツダ販売店などに連絡してください。

⚠ 注意

タイヤ空気圧を空気圧計で確認するときは、 エアコンプレッサーのスイッチを OFF にし てから確認してください。

21. 空気圧が低下していなければ、応急修理完了です。 すみやかにマツダ販売店まで慎重に運転し、新しいタイヤに交換をすることをおすすめします。 修理・再使用する場合はマツダ販売店にご相談ください。

知識

- ・タイヤパンク応急修理キットで応急修理 をしたタイヤは、できるだけ早く新しい タイヤに交換をすることをおすすめしま す。修理・再使用する場合はマツダ販売 店にご相談ください。
- ・ホイールは付着した修理剤をふき取れば 再使用できます。ただし、バルブは新し いものと取り替えてください。

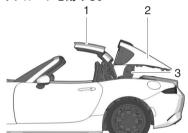
ルーフを手動で閉める

ルーフがリトラクタブルハードトップスイッチで閉まらなくなったときは、ルーフの作動条件を確認してください。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの 使いかた」

ルーフの作動条件をすべて満たしているにも関わらず閉まらない場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。 緊急時は、応急処置として手動でルーフを閉めることができます。 手動でルーフを閉める手順は以下のとおりで

- 1. リアルーフを開ける
 - リアルーフを固定しているロックを解除 し、リアルーフを開ける。
- 2. **フロントルーフを閉める** フロントルーフを持ち上げて閉める。
- リアルーフを閉める ロープをリアルーフのリンクに結びつけ、 リアルーフを閉める。



- 1. フロントルーフ
- 2. リアルーフ
- 3. リアルーフリンク

- ▶ ルーフが半開の状態では走行しないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 風が強いときには作業を行なわないでください。風にあおられ思わぬ事故につながるおそれがあります。
- ▶ 作業は必ず大人2人で行なってください。特に、フロントルーフを持ち上げる作業は、必ず大人2人以上で行なってください。2人いない場合は作業を行なわないでください。けがをするおそれや、車両を損傷させるおそれがあります。

⚠ 注意

作業には、複数の工具を同時に使用するなど、技術が必要な作業があります。また、長時間無理な姿勢を続ける作業、力が必要な作業や、けがをするおそれのある箇所が含まれます。マツダ販売店で点検を受けていただくことをおすすめします。

知識

- ・本作業は緊急時の応急処置として手動で ルーフを閉める処置です。作業後はマツ ダ販売店での復旧作業を行なうまで、電 動での操作はできません。
- ・懐中電灯等を使用すると、作業がしやす くなります。

手動で閉める前に

⚠ 警告

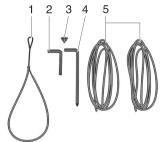
手動でルーフを閉める前に電源ポジションが OFF になっていることを確認する。 突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

- 1. 交通のさまたげにならず、安全に作業できる平らで固い地面がある場所に車を停車させる。
- マニュアル車はチェンジレバーを1または Rに、オートマチック車はセレクトレバー をPにいれる。
- ブレーキペダルを踏んだまま、パーキング ブレーキをかけ、電源ポジションを OFF に する。
- 4. 必要に応じて、非常点滅灯を点滅させ、停止 表示板 (停止表示灯) を使用する。

工具の準備

リアコンソールボックス内にある 5 種類の工具を用意します。

→7-25 ページ「リアコンソールボックスの使いかた」



- 1. ワイヤー
- 2. L型六角レンチ (小)
- 3. ギヤ
- 4. L型六角レンチ (大)
- 5. ロープ

リアルーフを開ける

⚠ 注意

ボルトを回す作業をするときは、フロントルーフの上に布を置いて作業をしてください。L型六角レンチがルーフに当たると、フロントルーフに傷がつくおそれがあります。ボルトを回す作業をするときは、格納されたフロントルーフとのすき間が狭いため、L型六角レンチがルーフに当たらないように注意してください。



🛴 知識

シートを最前部に移動させ、背もたれを前 方へ倒すと作業がしやすくなります。 →3-14 ページ「シートの使いかた」

1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずす。

2. モーターブラケットのボルトに L 型六角レンチ (大) の短い方を差し込む。



1. ボルト



🆺 知識

ボルトが確認しにくい場合は、エアロボードを取りはずして、車両中央から確認してください。



1. エアロボード

3. L型六角レンチ (大) を反時計回りにまわして、ボルトを少しゆるめる。

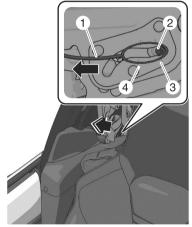


- 4. L型六角レンチ (大) をいったんボルトから 取りはずし、長い方をボルトに差し込む。
- 5. L型六角レンチ (大) をボルトに押し付けながら、反時計回りに 13 回転以上回す。



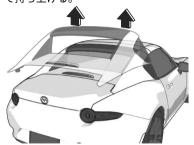
◯ 知識

- ・L 型六角レンチ (大) の長い方の先端は角度を付けて作業することができる形状になっています。少し上方に傾けて作業すると、格納されたフロントルーフとのすき間が広くなり、作業がしやすくなります。
- ・ボルトは完全には取りはずせません。
- ・ボルトが回りにくいときは、手順 3 を 2~ 3 回繰り返してください。
- 6. ワイヤーを図の位置に引っかけます。



- 1. ワイヤー
- 2. ピン
- 3. 施錠
- 4. 解錠
- 7. 1人がリアルーフを上から押さえながら、も う1人がカチッと音がするまでワイヤーを 引っ張って、リアルーフのロックを解除す
- 8. 反対側も同様の作業を行なう。

9. 車両の両側に立ち2人で左右の高さを平行 に保ちながら、リアルーフが止まる位置ま で持ち上げる。



リアルーフが完全に開くまで手を離さないでください。リアルーフが下がり、けがをするおそれがあります。

リアルーフは無理に持ち上げないでください。ロックが解除されていない場合、リアルーフを無理に持ち上げると車両部品を破損させるおそれがあります。

リアルーフは左右の高さがなるべく平行になるように持ち上げてください。左右の高さがねじれたままリアルーフを持ち上げるとリンク機構が変形するおそれがあります。

フロントルーフを閉める

⚠ 注意

作業には、長時間無理な姿勢を続ける作業、 力が必要な作業や、けがをするおそれのあ る箇所が含まれます。

フロントルーフを閉めるときは、手や指を挟まないように十分に注意しながら作業を行なってください。 手や指をはさみ、けがをするおそれがあります。

作業にはトップシーリングをはずす作業が 含まれますが、トップシーリングを取りは ずした状態では絶対に走行しないでくださ い。トップシーリングを取りはずした状態 での走行は法律で禁止されています。手順 にしたがって確実に作業を行なってくださ い。 1. 車両の両側に立ちフロントルーフの前側と 後側を持ち、フロントルーフを上方に引き 出す。



2. フロントルーフの後側の手をフロントルーフの前側に持ち替えて、フロントルーフを前方に引き出す。

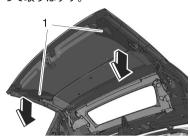


3. フロントルーフの前側が少し開いた状態で 止める。



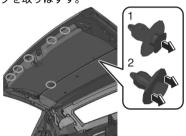
📖 知識

完全に閉めると、次の作業を行なうことが できません。 4. 車内から左右のリンクカバーを手で引っ張 って取りはずす。



1. リンクカバー

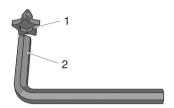
5. ファスナーを取りはずし、トップシーリン グを取りはずす。



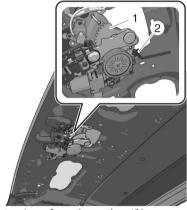
6. 車外からフロントルーフの前側を軽く押さ えて、フロントルーフを閉める。



7. 六角レンチ (小) の短い方を工具のギヤに差 し込む。



- 1. ギヤ
- 2. 六角レンチ (小)
- 8. 車内から、六角レンチを差し込んだままの ギヤの先端をトップロックモーターギヤ横 の穴に差し込む。

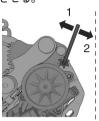


- 1. トップロックモーターギヤ 2. ギヤ

⚠ 注意

ギヤとトップロックモーターギヤの歯がか み合うまで、確実に差し込んでください。確 実に差し込んでいないと、不意にギヤがはず れ、破損するおそれがあります。

9. トップシーリングの開口部がフックに引っ かけられる程度のすき間を残すように、六 角レンチを回してフックを施錠方向に移動 させる。



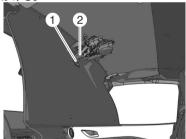


- 1. 施錠
- 2. 解錠

知識

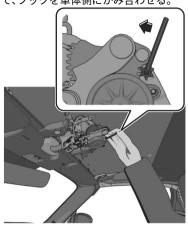
ギヤを回すときはモーターの抵抗により回 転させるときに力が必要です。ゆっくりと 六角レンチを回してください。

10. トップシーリングの開口部をフックに引っ かける。



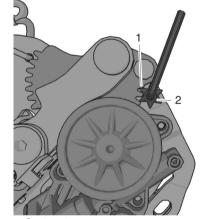
- 1. 開口部
- 2. フック

11. 六角レンチ (小) とギヤを反時計回りに回し て、フックを車体側にかみ合わせる。



知識

ギヤの歯とブラケットが接触する位置まで 回すと、フックが車体と完全に噛み合った 状態(ロック状態)になります。

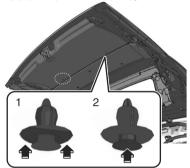


- 1. ブラケット 2. ギヤ

12. 開口部を軸にしてトップシーリングの後端 を持ち上げる。



13.2箇所のファスナーを取り付ける。



知識

トップシーリング前側の5箇所のファスナ ーは取り付けません。マツダ販売店での修 理で使用するため、ファスナーは紛失しな いように保管してください。

14. 左右のリンクカバーを取り付ける。



1. リンクカバー

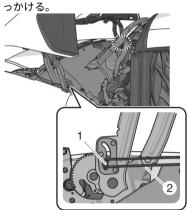
リアルーフを閉める

҈ 注意

リアルーフを閉めるときはゆっくり閉めて ください。急にリアルーフが閉まると手な どを挟み、重大な傷害につながるおそれが あります。

リアルーフは無理に押さないでください。 無理に押すと車両部品を破損することがあ ります。

1. ロープを2つ折りにし、リンクのピンにひ

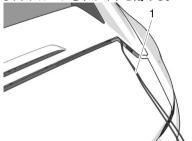


- 1. ピン 2. ロープ
- 2. 反対側も同様の作業を行なう。
- 3. 車両の両側に立って、リアルーフを下げる。

注意

リアルーフは左右の高さがなるべく平行に なるように下げてください。左右の高さが ねじれたままリアルーフを下げようとする とリンク機構が変形するおそれがありま す。

4. 引っかけたロープが外れないように、2人と も片方の手でロープを軽く引っ張りなが ら、リアルーフをゆっくりと閉める。



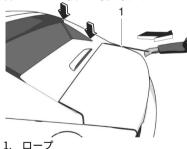
1. ロープ



〕知識

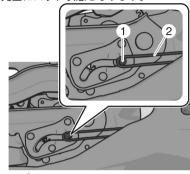
ロープは、リアルーフとトランクのすき間を 通してください。

5. 1人がリアルーフを上から押し付け、もう 1 人がロープを車両後方へ水平に"カチッ"と 音がするまで強めに引っ張る。



◯ 知識

・車室側から見たとき、図のようにロープを引っかけた位置がブラケット溝の車両 後方側の最後端にあれば、リアルーフが 完全にロック状態となります。



- 1. ピン 2. ロープ
- ・リアルーフが完全にロックしていない場合、電磁式トランクオープナー、キーのトランクスイッチを操作してもトランクが開きません。
- 6. 反対側も同様に作業を行なう。
- 7. トランクを開け、ロープの末端をトランク のヒンジ部にしっかりと結ぶ。



- 1. ロープ
- 2. ヒンジ 8. 反対側も同様にロープを結ぶ。
- 9. トランクを閉める。

作業が終わったあと

作業が終わったら必ずマツダ販売店で点検を受けてください。

҈ 警告

走行するときは車速を 40km/h 以下にす

走行中にルーフが開くなど思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

トランクリッドを車内から開ける

バッテリーがあがると、トランクの解錠ができず開けられなくなります。

この場合、バッテリーあがりの対処をすることでトランクの解錠ができるようになります。→8-14ページ「12Vバッテリーを処置する」バッテリーあがりの対処をしても、トランクの解錠ができない場合は電気系統の故障が考えられます。

この場合は応急処置として次の手順で開けることができます。

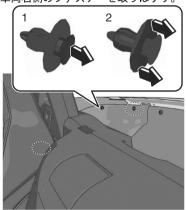
ソフトトップ車

- ソフトトップを閉める。
 →4-22 ページ「ソフトトップの使いかた」
- 2. エアロボードを取りはずす。



1. エアロボード

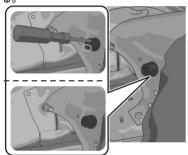
3. 車両右側のファスナーを取りはずす。



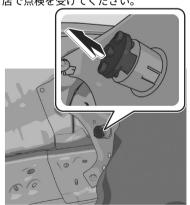
4. 車両右側のカバーをめくる。



5. キャップのネジを空回りするまでゆるめる。



6. キャップを引いて、トランクを開ける。 応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売 店で点検を受けてください。



⚠ 注意

キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。

ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。

<u>ハードトップ車</u>

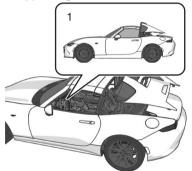
⚠ 注意

リンク機構やギヤに触らないでください。 エッジやギヤに触れるとけがをするおそれ があります。

ルーフが電動で動くとき

- 1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずす。
- 2. エンジンを始動する。
- 3. リアルーフが全開の状態になるまでリトラ クタブルハードトップスイッチを開方向へ 押し続ける。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの使いかた」



1. マルチインフォメーションディスプレ イ表示

□ 知識

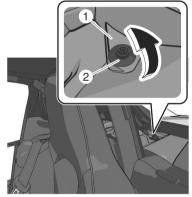
フロントルーフが開く前にスイッチの操作をやめてください。スイッチを操作し続けるとフロントルーフが開き、以降の作業ができなくなります。

4. 電源ポジションを OFF にする。

5. 車両右側のファスナーを取りはずす。



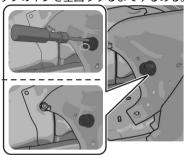
6. 車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせる。



- 1. カバー
- 2. ストッパーラバー
- 7. 車外から、カバーを持ち上げる。



8. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめる。

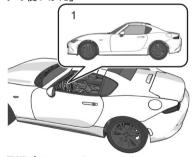


◯ 知識

この時点ではキャップを引っ張らないでください。キャップを引っ張ると、トランクのロックは解除されますが、リアルーフが電動で作動しなくなります。

- 9. エンジンを始動する。
- 10. リアルーフが全閉の状態になるまでリトラクタブルハードトップスイッチを閉方向へ押し続ける。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの使いかた」



11. 電源ポジションを OFF にする。

12. エアロボードを取りはずす。



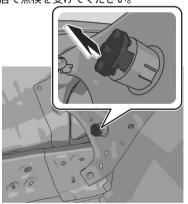
1. エアロボード

13. 車の中央部分から車両右側のカバーをめく



14. キャップを引いて、トランクのロックを解除する。

応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売 店で点検を受けてください。

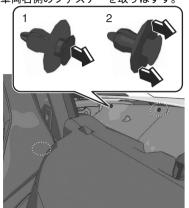


⚠ 注意

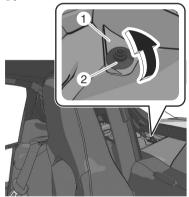
キャップを引くときは、ネジを引っ張らないでください。 ネジが脱落し、紛失するおそれがあります。

ルーフが電動で動かないとき

- 1. アンテナを取り付けている場合は、アンテナを取りはずす。
- 手動操作でリアルーフを持ち上げる。
 →8-26 ページ「ルーフを手動で閉める」
- 3. 車両右側のファスナーを取りはずす。

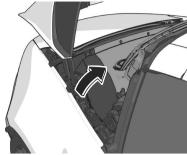


車両右側のカバーを軽く上方に持ち上げながら、ストッパーラバーを下側にくぐらせる。

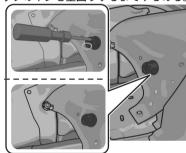


- 1. カバー
- 2. ストッパーラバー

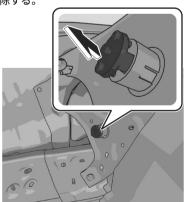
5. 車外から、カバーを持ち上げる。



6. 持ち上げたカバーの間から手を入れ、キャップのネジを空回りするまでゆるめる。



7. キャップを引いて、トランクのロックを解除する。



⚠ 注意

この時点ではトランクを開けないでください。リアルーフを完全に閉める前にトランクを開けるとリアルーフとトランクが干渉し、傷がつくおそれがあります。

- 8. 手動操作でリアルーフを閉める。 →8-26 ページ「ルーフを手動で閉める」
- 9. トランクを開ける。 応急処置後はできるだけ早めにマツダ販売 店で点検を受けてください。

自動開閉機構を復帰する

次の操作で復帰させてください。

- 1. 車両の電源を ON にする。
- 2. パワーウインドースイッチを押して窓ガラ スを全開にする。
- 3. パワーウインドースイッチを引き上げて窓 ガラスを全閉にし、そのまま約2秒間引き 上げ続ける。

ドア、ソフトトップ/リトラクタブルハードトップ開閉時の窓ガラスの自動作動が正常に作動しなくなったときも上記の操作を行なって復帰させてください。

はさみ込み防止機構を解除する

はさみ込み防止機構が作動して窓ガラスを閉められないときは、窓枠の周囲に異物がないか確認してください。

窓枠の周囲に異物がなければ、次の操作で窓ガラスを強制的に閉めてください。

- 1. 車両の電源を ON にする。
- 2. はさみ込み防止機構が作動して窓ガラスが 止まるまで、窓ガラスを閉める方向にスイ ッチを操作する。
- 3. 手順2を5回繰り返す。
- 4. スイッチを引き上げ続けて、窓ガラスを全 閉にする。

マツダ販売店で点検を受ける

ワイパーの制御に異常があると、フロントワイパーが高速作動する場合があります。 ワイパースイッチの操作にかかわらずフロントワイパーが高速作動するときはマツダ販売店で 点検を受けてください。

ウォッシャータンクの液量を確認 する

ウォッシャー液が噴射されないときは、ウォッシャータンクの液量を確認してください。 →9-6ページ「ウォッシャー液を補充する」 空のウォッシャータンクにウォッシャー液を補充したときなどにウォッシャーパイプに空気が入ると、ウォッシャー液が噴射されない場合があります。

ウォッシャー液が噴射されるまで、ワイパーレバーを操作してください。

ウォッシャー液を補充してもウォッシャー液が 噴射されないときは、マツダ販売店にご相談く ださい。

警告灯について

警告灯/表示灯が点灯、点滅した場合は、それぞれの方法で対処してください。警告灯/表示灯が消灯しない場合、または再度点灯、点滅する場合はマツダ販売店にご相談ください。

♠ 警告

7 **= H**

警告灯/表示灯が点灯、点滅した場合は、ただ ちに安全な場所に停車し適切な処置を行な う。

警告灯/表示灯の点灯、点滅を無視して運転を続けると、エンジンなどを損傷したり、思わぬ事故につながったりするおそれがあります。

センターディスプレイやメーターで詳細を確認 できる警告があります。

センターディスプレイで確認する

- 1. ホーム画面の"情報"を選択する。
- 2. "車両ステータスモニター"を選択する。
- 3. 確認したい警告を選択すると、警告の詳細が表示します。

メーターで確認する

ステアリングスイッチの INFO スイッチを押すと、メッセージ表示画面が表示します。 →5-20 ページ「マルチインフォメーションディスプレイの使いかた」

ブレーキ警告灯



- ・パーキングブレーキをかけているとき点灯し、解除すると消灯します。
- ・次のようなときは点灯し続けます。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店 に連絡してください。
 - ・ブレーキ液が不足しているとき。
 - ・ブレーキ装置 (電子制御制動力配分システム) に異常があるとき。

\triangle

警告

ブレーキ警告灯が点灯したまま走行しない。 ブレーキが効かなくなり思わぬ事故につな がるおそれがあります。また停車するとき は、ブレーキの効きが悪くなっているおそれ があるため、ブレーキペダルを通常より強 く踏んでください。

ブレーキ警告灯と ABS 警告灯 (小学) が同時 に点灯したときは、ただちに安全な場所に 停車し、マツダ販売店に連絡する。

急制動時に後輪が通常より早くロックしや すくなり、思わぬ事故につながるおそれが あります。

充電警告灯



充電システムに異常があると点灯します。 ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に 連絡してください。



警告

充電警告灯が点灯したまま走行しない。 エンジンが不意に停止して思わぬ事故につ ながるおそれがあります。

オイル警告灯



エンジンオイルの圧力が低下したときに点灯し ます。

⚠ 注意

オイル警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンオイルの圧力が低下している状態で走行すると、エンジン破損につながるおそれがあります。

走行中に、オイル警告灯が点灯したときは次の 手順でエンジンオイルを確認してください。

- 1. 安全な場所に停車する。
- 2. 車両の電源を OFF にする。
- 3. エンジンオイルがオイルパンに流れるのを 5 分間待つ。
- エンジンオイルの量を確認する。 →9-6ページ「エンジンオイルを点検、補 充する」 エンジンオイルが不足しているときは適量
- を補充する。 5. エンジンを始動し、オイル警告灯を確認す

エンジンオイルの量が不足していないのに点灯 するときや、補充しても消えないときは、エンジ ンを停止し、マツダ販売店に連絡してください。

高水温警告灯



エンジン冷却水の温度が異常に高くなったとき に点灯します。

表示されるメッセージの内容を確認して処置し てください。

⚠ 注意

高水温警告灯が点灯したまま走行しないでください。エンジンが冷却されない状態で 走行すると、エンジン破損につながるおそれがあります。

電動パワーステアリング警告灯



電動パワーステアリングに異常があると点灯し ます。

点灯したときは安全な場所に停車し、車両の電源を OFF にしてください。

しばらく経ってエンジンを再始動したときに警告灯が消灯した場合は問題ありません。 エンジンを再始動した後でも点灯するときは、マツダ販売店に連絡してください。

知識

- ・警告灯が点灯したときは電動パワーステアリングが正常に作動しません。この場合、ハンドル操作は可能ですが、通常に比べて操作が重くなります。
- ・停車中または低速走行時にハンドル操作を繰り返すと、システム保護のためハンドル操作が重くなる場合がありますが、 異常ではありません。安全な場所に停車し、ハンドル操作をしないでください。 しばらくするともとにもどります。

ABS 警告灯



システムに異常があるときは点灯し続けます。 マツダ販売店で点検を受けてください。

♠ 警

ブレーキ警告灯 と ABS 警告灯が同時 に点灯したときは、ただちに安全な場所に 停車し、マツダ販売店に連絡する。 急制動時に後輪が通常より早くロックしや すくなり、思わぬ事故につながるおそれが あります。

マスター警告灯



システムに異常があると点灯します。 センターディスプレイまたはメーターに表示されるメッセージの内容を確認して処置してください。

電動バキュームポンプ警告灯



システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

エンジン警告灯





҈ 警告

エンジン警告灯が点灯/点滅しているときに 12 V バッテリーケーブルをはずさない。 12 V バッテリーケーブルを再接続するとき にエンジンが損傷し、火災につながるおそ れがあります。

エンジン警告灯は次の異常が発生したときに、 点灯します。

ただちに安全な場所に停車し、マツダ販売店に 連絡してください。

- エンジンコントロールシステムに異常がある とき
- ・エミッションコントロールシステムに異常が あるとき
- ・トランスミッションコントロールシステムに 異常があるとき
- 燃料残量が異常に少ないとき

エンジン警告灯が点灯/点滅し続けるときは高 速走行をせず、すみやかにマツダ販売店で点検 を受けてください。

i-stop 警告灯 (橙)*



エンジン始動後、システムに異常があるときは 点灯/点滅し続けます。マツダ販売店で点検を 受けてください。

i-ELOOP 警告灯 (橙)*



システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店に連絡してください。

TCS/DSC 作動表示/表示灯



次のようなときは DSC、TCS、またはヒル・ロー ンチ・アシスト (HLA) の異常が考えられます。 マツダ販売店で点検を受けてください。

- ・車両の電源を ON にしても点灯しないとき、 または点灯したままのとき
- ・走行中に点灯したとき

DSC-TRACK 表示灯^{*}



DSC-TRACK スイッチを操作していないのに点灯したときは、システムの異常が考えられます。マツダ販売店で点検を受けてください。

エアバッグ/シートベルトプリテ ンショナー警告灯



次のようなときはシステムの異常が考えられま す。

マツダ販売店で点検を受けてください。

- ・車両の電源を ON にしても点灯しないとき
- ・点灯/点滅し続けるとき



҈ 警告

エアバッグ/シートベルトプリテンショナー 警告灯が点灯/点滅したまま走行しない。 衝突したときにエアバッグまたはシートベ ルトプリテンショナー機構が正常に作動せ ず、重大な傷害につながるおそれがありま す。

マツダ販売店で点検を受けてください。

アクティブボンネット警告灯



次のようなときはシステムの異常が考えられま す。

マツダ販売店で点検を受けてください。

- ・車両の電源を ON にしても点灯しないとき
- ・点灯/点滅し続けるとき

警告

アクティブボンネット警告灯が点灯または 点滅したまま走行しない。

歩行者に衝突したときにアクティブボンネ ット機構が正常に作動せず、本来の機能を 果たせないおそれがあります。 マツダ販売店で点検を受けてください。

KEY 警告灯(赤)



システムに異常があるときに点灯します。 表示されるメッセージの内容を確認して処置し てください。

⚠ 注意

同時にプッシュボタンスタートの表示灯 (橙)が点滅している場合は、エンジンが始動 できなくなるおそれがあります。 ただちに マツダ販売店で点検を受けてください。

セキュリティ表示灯



運転中にセキュリティ表示灯が点灯/点滅した場合はエンジンを停止せず、そのままマツダ販売店で点検を受けてください。エンジンを停止すると、再度エンジンを始動できない場合があります。

エンジンが始動できないときは一度、車両の電源を OFF にもどし、キーを作動範囲内の別の場所に置いて、再度エンジンを始動してください。セキュリティ表示灯を確認し、消灯しない場合は(点灯/点滅したままなど)、もう一度車両の電源を OFF にもどし、しばらく待って再度エンジンを始動してください。

3回行なってもエンジンが始動しないときはシステムの異常が考えられますので、マツダ販売店で点検を受けてください。

📖 知識

イモビライザーシステムを修理するときは キーのコードを再登録する必要がありま す。お手持ちのすべてのキーを、マツダ販売 店に持参してください。

リトラクタブルハードトップ警告 灯*



システムに異常があると点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。

ハイ・ビーム・コントロールシステ ム (HBC) 警告灯 (橙)*



システムに異常があると点灯します。 マツダ販売店で点検を受けてください。

アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 警告灯 (橙)^{*}



システムに異常があると点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。

i-ACTIVSENSE 警告灯



i-ACTIVSENSE 関連システムに異常があると点 灯します。

表示されるメッセージの内容を確認して処置し てください。

エクステリアランプ警告灯



エクステリアランプ (番号灯は含まない) に異常があると点灯します。マツダ販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

エクステリアランプ に異常がある状態で走行しないでください。視界不良やブレーキ、方向指示器の合図ができず、思わぬ事故につながるおそれがあります。また、ランプが点灯しない状態で走行すると、整備不良により法規に抵触するおそれがあります。

燃料残量警告灯



燃料残量が空に近づくと点灯/点滅します。 警告灯が点滅したとき、チャイムも鳴ります。 すみやかに燃料を補給してください。

□ 知識

走行状況や車両姿勢によっては、タンク内の 燃料が移動するため、点灯タイミングが変わる場合があります。

シートベルト警告灯





点灯するとき

車両の電源が ON のとき、運転席/助手席シートベルトを着用していないと点灯します。 シートベルトを着用してください。

点滅するとき

運転席/助手席シートベルトを着用しないまま 約 20 km/h 以上になると、しばらくの間点滅し ます。

一定時間経過すると、点滅は止まりますが、点灯し続けます。

また、警告灯が点滅したとき、チャイムも鳴ります。

シートベルトを着用してください。



🛴 知識

- ・助手席のシートに重いものを置くと、重 さによってシートベルト警告システムが 作動することがあります。
- ・助手席にお子さまを座らせた場合、シートベルト警告システムが作動しないとき があります。

半ドア警告灯/トランクリッド開 警告灯







いずれかのドア/トランクリッドが確実に閉まっていないときに点灯します。 また、いずれかのドア/トランクリッドが閉まっていないときに走行すると、チャイムも鳴りま

す。 ドア/トランクリッドを確実に閉めてください。

KEY 表示灯 (緑) (点滅)



キーの電池残量が少ないときに車両の電源を OFF にすると、点滅します。 キーの電池を交換してください。 →9-24 ページ「キーの電池交換のしかた」

レンチ表示灯



次のようなときにレンチ表示灯が点灯します。

・あらかじめ設定されたメンテナンス時期になったとき マツダ販売店で点検を受けてください。

⚠ 注意

- メンテナンス時期になったまま走行を続けないでください。メンテナンスを怠ると、車両性能の低下、さらには故障につながるおそれがあります。メンテナンス時期までに点検を受けてください。
- エンジンオイル交換時期をすぎたまま走 行を続けると、エンジン故障につながる おそれがあります。メンテナンス時期ま でにエンジンオイルを交換してください。

□ 知識

お車の使用状態によっては、別冊のメンテナンスノートに記載された交換時期よりも早く表示されることがあります。

ランプ消し忘れ防止チャイム

車両の電源を OFF にして運転席ドアを開けた ときに、エクステリアランプが点灯していると チャイムが鳴ります。

ヘッドランプスイッチを操作して、エクステリアランプを消してください。



マツダコネクトでランプ消し忘れ防止チャイムの音量を変更することができます。マツダコネクト"設定"で設定する、またはマツダ販売店にご相談ください。

リトラクタブルハードトップ警告 チャイム^{*}

システムに異常があるときは、リトラクタブル ハードトップスイッチを操作中にチャイムが鳴 り続けます。

安全な場所に停車し、エンジンを再始動してく ださい。

エンジン再始動後にリトラクタブルハードトップスイッチを操作しチャイムが鳴り続けるときはマツダ販売店で点検を受けてください。

電源オフ忘れ警告チャイム

車両の電源が ACC のときに、運転席ドアを開けると車内のチャイムが鳴り続けます。 車両の電源を OFF にしてください。

キー車外持ち出し警報チャイム

アドバンストキーレス機能装備車

車両の電源が ON または ACC の状態でキーを 車外に持ち出すと、すべてのドアを閉めたとき に車外のチャイムが 6 回鳴り、車内のチャイム が 1 回鳴ります。

アドバンストキーレス機能非装備車

車両の電源が ON または ACC の状態でキーを車外に持ち出すと、すべてのドアを閉めたときに車内のチャイムが 1 回鳴ります。

キーを携帯したまま車外に出ていないかを確認、または車両の電源を OFF にしてください。

キー車内閉じ込み警報チャイム

キーが車内にある状態で、運転席ドアを施錠し、 すべてのドアを閉めると次のようにお知らせし ます。

キーが車内に置いたままになっていないかを確認してください。

- · (アドバンストキーレス機能装備車) チャイムが鳴ります。
- · (アドバンストキーレス機能非装備車) ホーンが鳴ります。

トランク内キー閉じ込み警報チャイム (アドバンストキーレス機能 装備車)

ドアが施錠された状態で、キーをトランク内に 置いたままトランクリッドを閉めると、チャイ ムが鳴ります。

トランク内にキーを置いてないかを確認してください。

ドアロック不作動警告チャイム (アドバンストキーレス機能装備 車)

次のいずれかの状態のときに、キーを携帯して ドアのリクエストスイッチを押すと、チャイム が鳴ります。

- ・車両の電源が OFF 以外
- いずれかのドアが開いている

上記の状態になっていないことを確認して、再 度リクエストスイッチを押してください。

電動ハンドルロック警告チャイム

ハンドルがロックされた状態で、プッシュボタンスタートを押すとチャイムが鳴り、プッシュボタンスタートの表示灯 (緑) が点滅します。 ハンドルを左右に動かしながら、プッシュボタンスタートを押して、ハンドルのロックを解除してください。

ブレーキシステム警告チャイム

ブレーキシステムに異常が発生し、ブレーキが 意図通りに効かないおそれがある場合にチャイムが鳴ります。

周囲の安全を確認しながら減速し安全な場所に 停車してください。

停車後にマツダ販売店に連絡してください。

12V バッテリー充電量低下チャイ ム

電力消費が一定量を超えるとチャイムが鳴ります。

12 V バッテリーを充電させるため、5 分以上エンジンをかけてください。

Alexa の設定を確認する

問題	原因	解決方法
Alexa の操作でストリーミン グ配信の音楽などが再生でき ない	Wi-Fi クライアント機能の通信 ができていない。	次の手順で Wi-Fi クライアくだ けい。 コネクトのホーム 画面から"設定"を選択する。 2. "モバイル機器連携"を選択する。 3. "Wi-Fi クライアント"が有数になった。 4. "Wi-Fi クライアンか確認 する。 5. "周辺ネット 単接続"の Wi-Fi 接続を行なうことができます。
トーク/ピックアップボタンを 押しても Alexa が応答しない	Amazon アカウントにサイン インしていない、または"トー クボタンで起動"が無効になっ ている。	次の手順で Amazon アカかかで Amazon アカかかで Amazon アカかかで Amazon アカかかで Amazon アカかかで Amazon アカかがで Amazon アカかがで Amazon アカかがで Amazon アカかがで Amazon Amazon アカかがで Amazon Amaz

問題	原因	解決方法
"アレクサ"と発話しても Alexa が応答しない	Amazon アカウントにサイン インしていない、または"Alexa ハンズフリー"が無効になって いる。	次の手順で Amazon いっかで Amazon いるかいるかいるかいない。 1. でインにでは、カトウででは、カトウででは、カトウででは、カトウででは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カーでは、カ

MEMO

9

点検整備する/お手入れする

点核	矣、整備 S	9-2
	点検整備について	9-2
定道	朝点検	9-3
XL 7	を期点検のしかた	
	Z-MJ/M·IX 95 015 7C	, ,
	常点検)-4 \
	日常点検について	1-4
	日常点検についての警告・注	
	意	J-4
I)	ンジンルーム内の点検 9	9-5
	点検項目と点検箇所を確認す	
		9-5
	エンジンオイルを点検、補充す	
	るウォッシャー液を補充す	9-6
	۵	9-6
	12V バッテリーを点検する	••••
	9	9-7
車両	両外観の点検	9-8
	点検項目と点検箇所を確認す	
		9-8
	ワイパーブレードゴムを交換す	•
	る	11
	タイヤの位置交換 (タイヤロー	
	ーション) をする9-	13
	タイヤパンク応急修理キットを	
	点検する9-	

バルブを交換する9	-14
車室内の点検9 点検項目と点検箇所を確認す	-18
る9	
エアコンをお手入れする9	
ヒューズを交換する9	
ヒューズの受け持つ装置9	-22
キーの点検9	
キーの電池交換のしかた9	-24
外装のお手入れ9	-26
外装をお手入れする9	
アルミホイールをお手入れす	20
る9	-26
ソフトトップの手入れ9	
リトラクタブルハードトップ0	り手
入れ9	-29
内装のお手入れ9	-32
内装をお手入れする9	
インストルメントパネル上面を	きお
手入れする9	-32
布張り、合成皮革部分をお手入	れ
する9	-33
革張り部分をお手入れす	
る9 シートベルトをお手入れす	-33
シートベルトをお手入れする9	-34

点検整備について

点検整備について



廃棄物を処理するときは、法律などに沿って 適切に処置する必要があります。タイヤ、バッテリー、エンジンオイル、クーラントなど はそれらを購入した販売店に処分を依頼し てください。エアコンガスの大気放出を防 止するため、エアコンの点検、修理はマツダ 販売店、専門の修理業者に依頼してください。

安全で快適な運転をするために、日常点検整備 および定期点検整備を実施することが法律で義 務付けられています。

安心してお車に乗っていただくために、また、大 きなトラブルを防ぐ意味からも、定期的に点検 整備を実施してください。

点検要領については別冊のメンテナンスノート を参照してください。

いつもと違う点に気づいたら、早めにマツダ販売店で点検を受けてください。

定期点検のしかた

1年点検、2年点検はマツダ販売店で受けてください。



知識

新車登録後 1 か月 (または走行距離 1,000 km)、6 か月 (または走行距離 5,000 km) は 無料で点検が受けられます。

日常点検について

安全で快適な運転をするために、日常点検整備 および定期点検整備を実施することが法律で義 務付けられています。

日常点検はお客さまのお車の使用状況に応じ て、お客さま自身の判断で適切な時期に実施し ていただく点検です。

お客さま自身で実施可能な項目となっておりま すので、長距離走行前や洗車時、給油時などを目 安に実施してください。

日常点検整備のしかたは別冊のメンテナンスノ ートに記載しています。

点検の結果は別冊のメンテナンスノート内「メ ンテナンスレコード」に記入してください。

日常点検についての警告・注意

҈ 警告

点検は平らな場所で、車に輪止めをしてから 行なう。

車が不意に動き出すと、思わぬ事故につな がるおそれがあります。

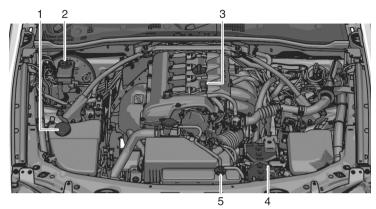
エンジンルーム内を点検するときは、ファン やベルトなどの回転部に触れない。

手や衣服などが巻き込まれるなど、重大な 傷害につながるおそれがあります。

⚠ 注意

- ➤ エンジンルーム内を点検するときは、エ ンジンの高温部に触れないようにしてく ださい。やけどをするおそれがありま
- ➤ エンジンルームを点検したときは、工具 や布を置き忘れないようにしてくださ い。置き忘れるとエンジンなどを損傷し たり、火災につながったりなど思わぬ事 故につながるおそれがあります。
- ▶ シャシーローラーを使用するときは、シ ャシーローラー上を走行中にシステムが 誤作動することを防ぐため、次のシステ ムを OFF にしてください。
 - ▶ マツダ・レーダー・クルーズ・コントロ ール (MRCC)
 - ➤ スマート・ブレーキ・サポート (SBS)
 - ➤ AT 誤発進抑制制御[前進時]
 - ▶ AT 誤発進抑制制御 [後退時]

点検項目と点検箇所を確認する



- ウォッシャー液の量
 ブレーキ液の量
 エンジンオイルの量
 12Vバッテリー液の量

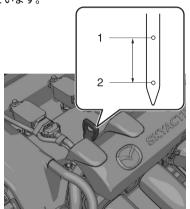
- 5. 冷却水の量

エンジンオイルを点検、補充する

オイルレベルゲージでエンジンオイルの量を点 検してください。

不足しているときは上限から下限の間になるよう補充してください。

点検の要領は別冊のメンテナンスノートに記載 しています。



- 1. 上限
- 2. 下限

オイル交換後は、記憶値の初期化を行なってください。 コンピューターの記憶値を初期化しなかった場合、レンチ表示灯が通常より早めに点灯することがあります。

→マツダコネクト取扱書「車両ステータスモニ ター」

ウォッシャー液を補充する

⚠ 注意

- エンジンがかかっているときやエンジン が熱いときはウォッシャー液を補充しないでください。ウォッシャー液がエンジンなどにかかると、出火するおそれがあります。
- ウォッシャー液のかわりにせっけん水や エンジン不凍液などを入れないでください。塗装のしみや、ポンプの故障により ウォッシャー液が出なくなるおそれがあります。

補充要領については別冊のメンテナンスノート を参照してください。

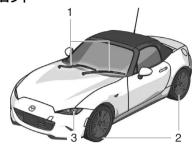


12V バッテリーを点検する

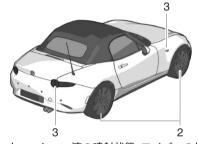
12V バッテリー液の量が下限 (LOWER LEVEL) より不足している状態でエンジンを始動すると、破裂 (爆発) につながるおそれがあり危険です。12V バッテリー液が不足しているときは、マツダ販売店などにご相談ください。 点検、補充の要領は別冊のメンテナンスノートを参照してください。
12V バッテリーを交換するときは、マツダ販売店にご相談ください。

点検項目と点検箇所を確認する

フロント



リア



- 1. ウォッシャー液の噴射状態、ワイパーの払 拭状態
- 2. タイヤの空気圧、き裂、損傷、異常摩耗、溝の深さなど
- 3. 灯火装置の点灯、方向指示灯の点滅具合お よび汚れ、損傷

ワイパーブレードゴムを交換する

⚠ 注意

- ▶ 自動洗車機でワックスが塗布されると、 ワイパーが作動することがあります。
- ▶ 撥水コートを使用すると、種類によっては 作動不良やふき性能の低下を発生させる 場合があります。
- ワイパーブレードの損傷を防ぐため、ワイパーブレードの上またはその付近でガソリン、灯油、シンナーまたはその他の溶剤を使用しないでください。
- 車両の電源が ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、次のような場合はワイパーが自動で作動することがあります。
 - ▶ フロントガラスのレインセンサー上部 に触れたとき
 - ▶ フロントガラスのレインセンサー上部 を布などでふいたとき
 - フロントガラスが手またはその他の物でたたかれたとき
 - ▶ レインセンサーが車両の中から手またはその他の物でたたかれたとき

けがやワイパーの故障につながるおそれがあるため、手や指を挟まないように注意してください。 洗車や整備を行なうときは、ワイパーレバーが OFF の位置になっていることを確認してください。

フロントガラスまたはブレードは異物または汚染物質により、ワイパーの効力を低減するおそれがあります。 共通の原因は、昆虫、樹液、市販の車用洗剤などです。



🗋 知識

ワイパーブレードはお客さま自身で交換できますが、ワイパーアームを交換することはできません。

ワイパーアームを交換するときはマツダ販 売店にご相談ください。

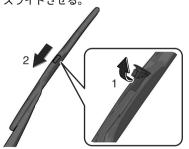
ワイパーブレードのゴムを交換する

⚠ 注意

- ▶ マツダ純正品のワイパーブレードに交換 してください。マツダ純正品以外のワイ パーブレードに交換すると、ふき取り性 能が低下するおそれがあります。
- ▶ ワイパーアームやその他の部品を破損す るおそれがあるため、手でワイパーアーム を掃除しないようにしてください。
- ▶ ワイパーゴムを交換するときは、必要以 上にワイパーゴムを曲げないでくださ い。ワイパーブレード内にある金属部分 が変形し、ワイパーのふき取りが悪くな るおそれがあります。
- ▶ ワイパーアームを立てるときに、ワイパー ブレードの先端を持たないでください。 ワイパーブレードの先端を持つと、部品 が変形してふき取り性能が低下するおそ れがあります。
- ▶ 立てたワイパーを勢いよくもどすとワイ パーアームやブレードが損傷したり、フロ ントガラスに傷や割れが生じたりするお それがあります。

A タイプ

- 1. ワイパーアームを立てる。
- 2. クリップを開いてブレードを矢印の方向に スライドさせる。

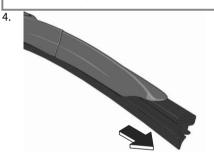


3. ブレードを立ててワイパーアームから取り はずす。



⚠ 注意

ワイパーアームはゆっくり下ろしてくださ い。ワイパーアームがフロントガラスに強 くあたると、フロントガラスが破損するお それがあります。



5. ブレードゴムからブレード部品を取りはず し、新しいブレードゴムに取り付ける。



҈ 注意

▶ ブレード部品を曲げたり廃棄したりしな いでください。再度使用する必要があり ます。

⚠ 注意

- ▶ 運転席側と助手席側のブレード部品を入れ替えないでください。ふき取り性能が低下するおそれがあります。
- ➤ ブレード部品は、ブレードゴムの向きが 交換前と交換後で同じになるように取り 付けてください。

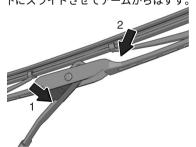
6.



7. ブレードをワイパーアームに、はずした手順と逆の手順で取り付ける。

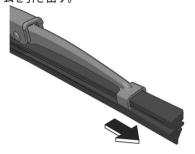
B タイプ

 ワイパーアームを立て、ロック用のクリップが見えるまでブレードを回転させる。 その後、クリップを押しながらブレードを下にスライドさせてアームからはずす。



⚠ 注意

ワイパーアームはゆっくり下ろしてください。ワイパーアームがフロントガラスに強くあたると、フロントガラスが破損するお それがあります。 2. ブレードゴムの端を持ち、ブレード部品からタブを取りはずせる位置までブレードゴムを引き出す。



3. ブレードゴムからブレード部品を取りはず し、新しいブレードゴムに取り付ける。



⚠ 注意

- ➤ ブレード部品を曲げたり廃棄したりしないでください。再度使用する必要があります。
- ▶ 運転席側と助手席側のブレード部品を入れ替えないでください。ふき取り性能が低下するおそれがあります。
- ブレード部品は、ブレードゴムの向きが 交換前と交換後で同じになるように取り 付けてください。

4.



5. ブレードをワイパーアームに、はずした手 順と逆の手順で取り付ける。



) 知識

タブがアームの付け根側に向くようにブレ ードを取り付けてください。

タイヤを点検する

タイヤの点検について

タイヤの点検は法律で義務付けられています。 点検要領については別冊のメンテナンスノート を参照してください。

タイヤは、正しい動作、安全、燃費向上のため、適 正空気圧を維持し、積載制限を守ってください。



҈へ 警告

指定サイズ以外のタイヤを使用しない。ま た、異なる種類のタイヤを混ぜて使用しな い。

走行安定性が損なわれ、思わぬ事故につなが るおそれがあります。また、法令違反にな る場合があります。

運転席ドアを開けたボディー側にあるラベ ルに記載されているサイズのタイヤを使用 してください。また、4輪ともに同一種類の タイヤを使用してください。



△ 注意

タイヤ、ホイール、ホイールナットは純正品 以外は使用しないでください。破損や故障 により思わぬ事故につながるおそれがあり ます。

タイヤ空気圧を点検する



҈ 警告

タイヤの空気圧が不足したままで走行しな い。

タイヤの空気圧が不足していると車両の安 定性を損なうばかりでなく、タイヤの偏摩 耗の原因となります。また、タイヤの空気圧 が不足したままで高速走行すると、タイヤが バースト(破裂)するなどして、思わぬ事故 につながるおそれがあります。

҈ 警告

タイヤバルブキャップは純正品を使用する。 タイヤバルブキャップは純正品以外を使用 しないでください。純正品以外を使用する とバルブの損傷により、適正空気圧になら ないおそれがあります。そのまま走行する と空気圧が低下し、思わぬ事故につながる おそれがあります。

き裂、損傷の点検をする

異常があるタイヤを装着すると、次の状況が 起こることがあり、思わぬ事故につながっ たり、故障の原因になったりするおそれが あるため、正常なタイヤと交換する。

- ▶ 走行中にハンドルがとられる
- ▶ 異常な振動を感じる
- ▶ パンクやバースト (破裂) する
- ▶ 車の性能 (燃費・走行安定性・制動距離な ど)が十分に発揮できない
- ≫ 部品に悪影響を与える

溝の深さ、異常摩耗を点検する

摩耗差の著しいタイヤを混ぜて使用しないでく ださい。

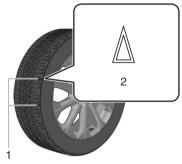


警告

タイヤの溝の深さが少ないタイヤや摩耗限 界表示 (ウェアインジケーター) が現れてい るタイヤを使用しない。

警告

そのまま使用すると、制動距離が長くなっ たり、雨の日にハイドロプレーニング現象 により、ハンドル操作ができなくなったり、 タイヤがバースト(破裂)するなど、思わぬ 事故につながるおそれがあります。摩耗限 界表示が現れたらすみやかに正常なタイヤ と交換してください。



- 1. 摩耗限界表示
- 2. 摩耗限界表示の位置を示すマークの例

知識

摩耗限界表示は、タイヤの接地面にあり、他 の部分より溝が 1.6 mm だけ浅くなってい ます。

タイヤの位置交換 (タイヤローテーション) をする

タイヤの偏摩耗を防ぎ、寿命をのばすために、約 5,000 km 走行ごとにタイヤの位置を交換して ください。

タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店 にご相談ください。

⚠ 警

タイヤを交換するときは指定されたサイズ や種類のタイヤを装着する。

指定されたサイズや種類以外のタイヤを装着すると走行安定性が損なわれるため、思わぬ事故につながるおそれがあります。

定期的にタイヤの位置交換を行なう。

異常なタイヤ摩耗は危険です。操舵・制動を 良好に保てるよう摩耗を均一にするため、 定期的に、偏摩耗が現れた場合はできるだ け早くタイヤの位置交換を行なってくださ い。

⚠ 注意

サイドウォールに回転方向指示のあるタイヤは、左右の位置交換は行なわず、前後のみ位置交換してください。左右で位置交換すると車両の性能が損なわれます。

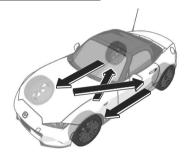
□ 知識

- ・タイヤの位置交換を行なう前にタイヤの 空気圧、摩耗を点検してください。→9-11 ページ「タイヤを点検する」
- ・タイヤの位置交換を行なった後はタイヤ の空気圧を規定値に調整してください。 →10-15 ページ「タイヤ空気圧」

🎑 知識

・お客さまのお車にはスペアタイヤ、ジャッキが標準で搭載されていないため、お客さま自身ではタイヤの位置交換を行なうことができません。タイヤの位置交換を行なうときはマツダ販売店にご相談ください。

タイヤ位置交換のしかた



タイヤの位置交換を行なった後は、適正なバランスとなっているか点検してください。 また、偏摩耗や損傷がないか点検してください。 異常な摩耗には、通常次のような原因があります。

- ・タイヤ空気圧が適正でない。
- ・アライメントが適正でない。
- ・ホイールバランスが適正でない。
- ブレーキが強すぎる。

タイヤパンク応急修理キットを点 検する

タイヤパンク応急修理キットの点検は定期的に 行なってください。

- ・修理剤の有効期限の確認
- ・コンプレッサーの作動の確認



知識

修理剤には有効期限があります。有効期限が切れたものは使用できませんので、ボトルのラベルに記載されている有効期限を確認し、有効期限が切れる前にマツダ販売店で新しい修理剤をお求めください。

バルブを交換する

🕂 注意

- > 電球を交換するときは、各ランプを消灯させ、電球が冷えてから交換してください。 やけどをするおそれがあります。
- ルームランプ、トランクルームランプのレンズを取りはずすときは、マイナスドライバーなどの先端に布を巻いてご使用ください。マイナスドライバーが直接レンズや内装にあたると、傷がつくおそれがあります。
- マイナスドライバーなどを使ってレンズやランプ本体を取りはずすときは、マイナスドライバーなどが内部の端子にあたらないようにしてください。マイナスドライバーなどが直接端子にあたると、ショートするおそれがあります。



知識

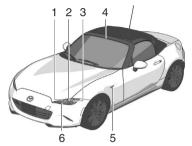
・<u>交換する電球について</u>

必ず同じ W 数の電球を使用してください。

ランプの曇りについて

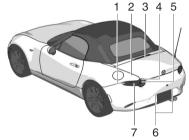
ヘッドランプ、制動灯などのランプは、雨 天走行や洗車などの使用条件によりレン ズ内面が一時的に曇ることがあります。 これはランプ内部と外気の温度差による もので、雨天時などに窓ガラスが曇るの と同様の現象であり、機能上の問題はありません。ただし、レンズ内面に大地なりませんが付いているときやランプ内に水が たまっているときは、マツダ販売店にご相 談ください。

フロント



- ヘッドランプ (ワイド配光ロービーム) (ア ダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) 装備 車)
- 2. ヘッドランプ (ハイビーム/ロービーム)
- 3. 前面方向指示灯/非常点滅灯/デイタイムラ ンニングランプ/車幅灯
- 4. ルームランプ
- 5. 側面方向指示灯/非常点滅灯
- 6. デイタイムランニングランプ/車幅灯

リア



- 1. 制動灯/尾灯
- 2. トランクルームランプ
- 3. ハイマウントストップランプ
- 4. 制動灯/尾灯
- 5. 後退灯
- 6. 番号灯
- 7. 後面方向指示灯/非常点滅灯

電球には LED タイプとバルブタイプがあります。

バルブタイプのみ交換することができます。

LED タイプ

- ・ヘッドランプ (ハイビーム/ロービーム)
- ・前面方向指示灯/非常点滅灯/デイタイムランニングランプ/車幅灯
- ・ハイマウントストップランプ
- · 後面方向指示灯/非常点滅灯
- 制動灯

・尾灯

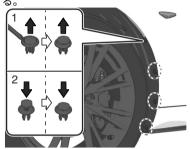
· 後退灯

LED タイプの電球のため交換できません。交換については、マツダ販売店へご相談ください。

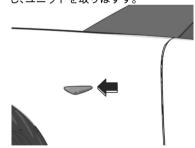
バルブタイプ

側面方向指示灯/非常点滅灯

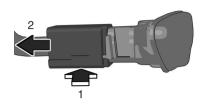
- 1. エンジンをかけ、交換する側と同じ方向に ハンドルをいっぱいに切り、エンジンを切る。
- 2. ファスナーをはずし、マッドガードをめく る。



- 1. 取りはずし
- 2. 取り付け
- 3. フェンダーの裏から、ユニットのツメを押 し、ユニットを取りはずす。



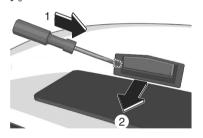
4. ツメを押し、コネクターをはずす。



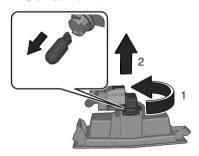
5. ユニットを取り換え、はずした手順と逆の 手順で取り付ける。

番号灯

- 1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻く
- 2. ドライバーを左側から差し込み (強めに押し込む)、差し込んだドライバー先端部分を下方向に動かしてランプ本体を取りはずす。



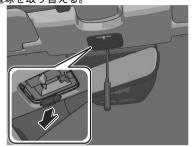
3. ソケットを反時計回りにまわして取りはずし、電球を抜き取る。



4. はずした手順と逆の手順で取り付ける。

ルームランプ

- 1. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、レンズを取りはずす。
- 2. 電球を取り替える。



3. はずした手順と逆の手順で取り付ける。

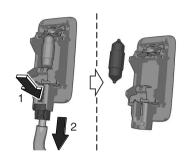
トランクルームランプ

- 1. トランクを開ける。
- 2. マイナスドライバーなどの先端に布を巻き、ランプ本体を取りはずす。



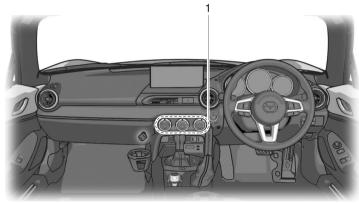
3. ツメを押し、コネクターを取りはずす。

4. 電球を取り替える。



5. はずした手順と逆の手順で取り付ける。

点検項目と点検箇所を確認する

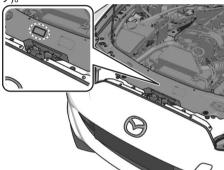


1. エアコン

エアコンをお手入れする

エアコンを使用する前に

エアコンの冷媒 (エアコンガス) が不足してい ると冷房性能が低下します。冷媒の仕様はエン ジンルームに貼られたラベルに記載してありま す。違った種類の冷媒を使用すると、エアコン の重大な故障につながる可能性があります。エ アコンのメンテナンスには特別な装置が必要で すので、点検や修理は政府認定の専門修理業者 にご相談ください。詳しくは専門の修理業者に ご相談ください(マツダ販売店をお勧めしま す)。



ヒューズを交換する

∖ 警告

規定容量を超えるヒューズを使用したり、ヒ ューズの代わりに針金や銀紙などを使用し ない。

配線などが過熱し、焼損して火災になるおそ れがあります。

⚠ 注意

必ずマツダ純正品または同等品を使用して ください。

室内ヒューズボックス

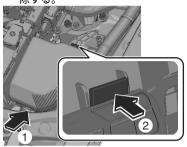
1. ヒューズボックスのカバーを開く。



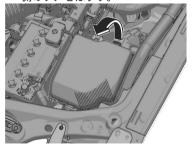
室内ヒューズの取りはずし/取り付け

- 1. 電源ポジションを OFF にする。
- 2. 次の手順でエンジンルーム内ヒューズボッ クスに付属しているヒューズはずし具を取 り出す。
 - 1. ボンネットを開ける。 →4-15ページ「ボンネットの使いかた」

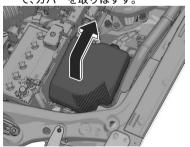
2. ヒューズボックスカバーの前側のツメ を手で押さえながら、後側のロックを解 除する。



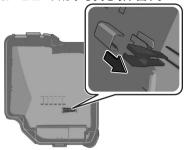
3. カバーの後側を少し持ち上げながら、前側のツメをはずす。



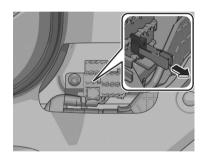
4. カバーを持ち上げながら後側にずらして、カバーを取りはずす。



5. ヒューズはずし具を取り出す。



3. ヒューズはずし具を使ってヒューズを抜き 取る。



4. ヒューズを点検し、切れている場合は、規定 容量のヒューズと交換する。



- 1. 切れていない場合
- 2. 切れている場合
- 5. ヒューズボックスのカバーをもとの通り取り付ける。

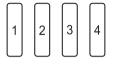
□ 知識

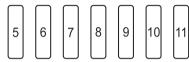
ヒューズを交換してもすぐ切れる場合は、マツダ販売店で点検を受けてください。

エンジンルーム内ヒューズボックス

エンジンルーム内ヒューズの交換については、 マツダ販売店にご相談ください。

ヒューズの受け持つ装置





12 13 14 15 16

位置	表示	容量	保護装置
1	RHT R	30 A	リトラクタブルハードトップ*
2	RHT L	30 A	リトラクタブルハードトップ*
3	_	_	_
4	ENGINE6	10 A	_
5	F.OUTLET	15 A	電源ソケット
6	_	_	_
7	AT IND	7.5 A	セレクトレバー位置表示*
8	MIRROR	7.5 A	電動ミラー
9	R_DECK R	30 A	リトラクタブルハードトップ*
10	R_DECK L	30 A	リトラクタブルハードトップ*
11	F.WASHER	15 A	ウォッシャー
12	P.WINDOW	30 A	パワーウインドー
13	_	_	_

位置	表示	容量	保護装置
14	SRS2/ESCL	15 A	ステアリングロック
15	SEAT WARM	20 A	シートヒーター*
16	M.DEF	7.5 A	_

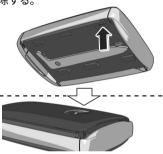
キーの電池交換のしかた

キーが使用できなくなる前に、新しい電池に交換してください。

1. ノブを矢印方向に押しながら、下側カバーを取りはずす。



2. ツメを押し込んで、上側カバーのロックを 解除する。



3. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを すき間に差し込み、マイナスドライバーを スライドさせる。



マイナスドライバーをまわして、上側カバーを取りはずす。



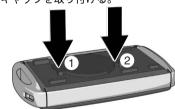
5. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを 使って、キャップを取りはずす。



6. 保護テープを巻いたマイナスドライバーを 使って、電池を取りはずす。



- 7. 電池の+側が上になるように、キーに新しい電池をはめ込む。
- 8. キャップを取り付ける。



9. 上側カバーを取り付ける。



10. キーのスロットに下側カバーのツメを差し 込むように、下側カバーを取り付ける。



外装をお手入れする

注意

- > オートワイパー装備車は、ワイパーレバーを OFF の位置にしてください。 車両の電源が ON で、ワイパーレバーが AUTO の位置のとき、ワイパーが自動で作動することがあります。
- フューエルリッドが閉まっていることを確認し、ドアを施錠してください。 水圧などでフューエルリッドが勢いよく開き、車体に傷がついたり、フューエルリッドが損傷したりするおそれがあります。
- エンジンルーム内に水をかけないでください。エンジンの始動不良や電気部品の故障につながるおそれがあります。
- ▶ 洗車やワックスがけを行なうときは、車体のルーフ部の一点に強い力をかけないようにしてください。強い力をかけると、万一の場合、車体がへこむことがあります。
- ガラス、ミラーのお手入れをするときは、 熱線を損傷するおそれがあるため、熱線 に沿ってふいてください。 ガラスクリー ナーなどを使用すると、熱線をいためる おそれがあります。
- お手入れには、コンパウンド入りワックス、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤、アルコール類、酸性・アルカリ性溶剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 外装にガソリンなどの有機溶剤、オイル、 冷却水、バッテリーなどが付着した場合 はすぐにふき取ってください。

アルミホイールをお手入れする

⚠ 注意

- ホイールに海水や凍結防止剤を付着させたままにしておくと、腐食するおそれがあります。できるだけ早く洗い流してください。
- ▶ 中性洗剤以外は使用しないでください。 ご使用の際には成分をご確認ください。 変色・シミの原因となります。

ソフトトップの手入れ

ソフトトップは高品質の幌生地を使用していま す。

手入れの方法を誤ると、生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすおそれがあります。 ソフトトップの劣化を防ぐため、駐車時はなる べく直射日光を避けてください。

車庫内で長期保管する場合は、十分に換気して ください。

幌が濡れているときは、水気を取って乾燥させてからボデーカバーや幌カバーを使用してください。

水洗いするとき

- 1. 水洗いする前に毛のやわらかいブラシを使用し、砂埃を取り除く。
- 2. 車体上部から水をかけながら、やわらかい スポンジやセーム皮などで洗う。
- 3. ボディー用ワックスや油脂類が付着したと きは、水で薄めた中性洗剤(約5%)を使用 して落とす。

⚠ 注意

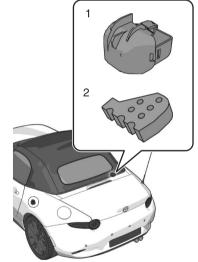
- ▶ 自動洗車機や高圧洗車機を使用しないでください。幌が破損したり、損傷するおそれがあります。
- ➢窓ガラスと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内に水が入るおそれがあります。
- ボディーと幌の合わせ目付近に、直接水をかけないでください。室内、およびトランク内に水が入るおそれがあります。



🎑 知識

- ・シンナー、ガソリンなどの有機溶剤やアルコール、塩素系漂白剤などを使用しないでください。生地が硬化したり、シミや光沢ムラなどを起こすことがあります。
- ソフトトップの手入れは定期的に行なってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、シミなどの原因になります。

ドレーンフィルター清掃手順



- 1. ドレーンフィルター A
- 2. ドレーンフィルター B

📖 知識

ドレーンフィルターに落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。 ドレーンフィルターの清掃は、年に1回程度 行なってください。 1. ボウの後ろから手を入れ、ドレーンフィルター A の位置を確認する。



- 1. ボウ
- 2. ドレーンフィルター A
- ツメを押しながら、ドレーンフィルター A を取りはずす。



3. ドレーンフィルター A をはずした開口部から、ドレーンフィルター B を取り出す。



- 4. ドレーンフィルター A とドレーンフィルター B に溜まった落ち葉などを取り除く。
- 5. はずした手順と逆の手順で取り付ける。

⚠ 注意

ドレーンフィルターを取り付ける際は、ツメがかかるまでしっかりと押し込み、所定の位置に確実に固定されたことを確認してください。ドレーンフィルターが所定の位置に固定されていない場合、室内に水が入るおそれがあります。

リトラクタブルハードトップの手 入れ

水洗いするとき

- 1. リトラクタブルハードトップに付いている 汚れを洗い落とす。
- 2. 車体上部から水をかけながら、やわらかい スポンジやセーム皮などで洗う。 汚れがひどいときは洗車用洗剤を使用し、 水で十分洗い流してください。
- 3. はん点が残らないように水をふき取る。



◯ 知識

洗車するときは、硬いブラシやたわしなどを使用しないでください。 塗装を傷つけるおそれがあります。

ワックスをかけるとき

- ・ワックスがけは月に一回程度、または水のは じきが悪くなったときに洗車してから行なっ てください。
- ・直射日光を避け、ボディーが冷えているとき (体温以下が目安)に行なってください。

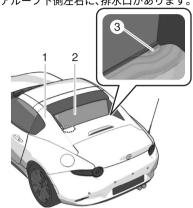


知識

コンパウンド (みがき粉) 入りのワックスを使用すると、塗装の光沢が失われることがあります。 ワックス容器に記載してある使用説明をよく読んでから使用してください。

排水口清掃手順

リアルーフ下側左右に、排水口があります。



- 1. リアルーフ
- 2. リアウインドー
- 3. 排水口



知識

排水口に落ち葉などが詰まると、室内に水が入るおそれがあります。 排水口の清掃は、2 か月に 1 回程度行なってください。

- 1. エンジンをかける。
- リアルーフが全閉の状態から上がりきるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開方向。
 はける。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの使い方」



3. リアルーフが上がりきったら、スイッチから手を放す。

4. 排水口が見えることを確認する。



- 1. 排水口
- 2. リアルーフリンク
- 5. 電源ポジションを OFF にする。

♠ 警告

電源ポジションが OFF になっていることを 確認する。

突然ルーフが動き出し、手や指を挟むなど思わぬ事故につながるおそれがあります。

6. 排水口に溜まった落ち葉などを取り除く。

清掃するときは、ルーフリンクやリアルーフ 外郭との接触に気をつけてください。接触 によりけがをするおそれがあります。



- 1. リアルーフ
- 2. ルーフリンク
- 7. 排水口の清掃が終わったら、リトラクタブ ルハードトップスイッチを閉方向へ押し続 けて、リアルーフを閉める。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの使い方」



8. 約300cc の水を、左右それぞれの排水口に 向けてゆっくりと流し込み、排水経路内の 微細なゴミを洗い流す。



⚠ 注意

寒冷下では、水の代わりにウインドーウォッシャー液を使用してください。 水を流すと内部で凍結し、氷で排水経路がふさがれることがあります。

- 9. エンジンをかける。
- 10. リアルーフが全閉の状態から上がりきるまで、リトラクタブルハードトップスイッチを開方向へ押し続ける。

→4-28 ページ「リトラクタブルハードトップの使い方」



11. リアルーフが上がりきったら、スイッチから手を放す。



- 12. リアルーフとボディーとの隙間から、ドレーンカバーの水受け皿の中に水が残っているかを確認する。
 - ・水が残っていなければドレーンホースの つまりはありません。
 - ・水が残っている場合はドレーンホースの つまりが考えられます。マツダ販売店に ご相談ください。



内装をお手入れする

⚠ 警告

室内に水をかけない。

オーディオ、スイッチなどの電気部品に水がかかると、故障や車両火災につながるおそれがあり危険です。

⚠ 注意

- ▶ 樹脂部品のお手入れにはつや出し剤を使用しないでください。 含まれる成分によっては変色、シミ、ひび
 - 言まれる成分によっては変巴、ンミ、ひし 割れ、塗装はがれの原因になります。
- ガラスの内側をふくときは、水やぬるま 湯でぬらしたやわらかい布で、軽くふい てください。
 - 熱線を損傷するおそれがあるため、熱線 に沿ってふいてください。
 - また、ガラスクリーナーなどを使用する と、熱線をいためるおそれがあります。
- ▶ 内装に芳香剤などの液体をこぼしたときは、すぐにふき取ってください。
- お手入れには、コンパウンド入りワックス、ガソリン、ベンジンなどの有機溶剤、アルコール類、酸性・アルカリ性溶剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 光沢のあるパネル、メッキ部分は乾いた 布などでこすらないでください。すり傷 がつくことがあります。

インストルメントパネル上面をお 手入れする

特に汚れが気になるときのインストルメントパ ネルのお手入れ方法

- 1. 水で薄めた中性洗剤をやわらかい布に含ませて汚れをふき取る。
- 2. 水をひたした布を固くしぼり、表面に残った洗剤・水分をふき取る。

布張り、合成皮革部分をお手入れ する

布張り

- 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい 布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた 部分をふき取る。
- 2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取る。

合成皮革

- 1. 掃除機などでほこりや砂を取り除く。
- 2. 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい布に含ませ、汚れた部分をふき取る。
- 3. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取る。

革張り部分をお手入れする

- 1. 掃除機などでほこりや砂を取り除く。
- 2. 純正専用クリーナーまたは水で薄めた中性 洗剤 (約5%) をやわらかい布に含ませ、汚 れをふき取る。
- きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取る。
- 乾いたやわらかい布で水分を取り、風通しのよい日陰で乾燥させる。雨などでぬれたときも早めに水分をふき取り、乾燥させる。

知識

- ・天然素材のため、シボ (本革表面の凹凸) の不均一や牛革本来の傷がわかる場合が あります。
- ・品質を長く保つため、年に2回程度の定期的なお手入れをおすすめします。
- ・次のような場合は、早めに手入れを行なってください。
 - そのまま放置しておくと早く摩耗したり、カビやシミなどの原因になったりします。
 - ・砂、ほこりなどが付いたとき
 - ・ハンドクリームなどの油分が付いたと き
 - ・化粧品、整髪料などのアルコール類が 付いたとき
- ・革張り部分がぬれたときはすぐに乾いた 布で水分をふき取ってください。表面に 水分が残っていると硬化、収縮など変質 の原因になります。
- ・直射日光に長時間さらすと、変質、縮みなどの原因になります。長時間駐車するときは、サンシェード (日除け)を使用するなどして直射日光をさえぎってください。
- ・ビニール製品を長時間、革張り部分の上 に置かないでください。変質、変色の原 因になります。室内が高温になっている とビニールが変質して本革部分に付着す るおそれがあります。

シートベルトをお手入れする

⚠ 警告

シートベルトにほつれ、すり傷などの異常があるときは、マツダ販売店で交換する。 そのままの状態で使用すると、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

シートベルトの汚れを取るときは、中性洗 剤を使用する。

有機溶剤を使用したり、染色、漂白したりするとベルトの強度が低下し、万一の場合シートベルトの効果が十分に発揮できないため、重大な傷害につながるおそれがあります。

- 水で薄めた中性洗剤(約5%)をやわらかい 布に含ませ、軽くたたくようにして汚れた 部分をふき取る。
- 2. きれいな水にひたした布を固くしぼり、残った洗剤をふき取る。
- 3. 手入れのため引き出したシートベルトを巻き取らせるときは、十分に乾燥させ、水分が残っていないことを確認する。

□ 知識

汚れがあるときはこまめにふき取ってください。汚れたままにしておくと、汚れが落ちにくくなったり、ベルトの巻き取りが悪くなったりすることがあります。

10 仕様

車両スペック	10-2
12 V バッテリー	
スパークプラグ	10-3
燃料	10-4
エンジンオイル/エンシ	ジンオイル
フィルター	10-5
冷却水	10-6
マニュアルトランスミ	ッションオ
イル	10-7
オートマチックトラン	ノスミッショ
ンフルード	10-8
ディファレンシャルオ	·イル
	10-9
ウォッシャー液	10-10

ブレーキ液	10-11
電球 (バルブ) について	10-12
タイヤ/ホイールサイズ	10-13
タイヤ空気圧	10-15
ホイールナットの締め付け	· ト
ルク	10-16
ブレーキディスクの摩耗限	度情
報	
ブレーキペダル	10-18
クラッチペダル	10-19
補機ベルト	10-20
エアクリーナーエレメント	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •
	10-21

12 V バッテリー

エンジン		型式*1
SKYACTIV-G	i-stop 装備車	N-55 (S)
SKYACTIV-G	i-stop 非装備車	46B24L、45Ah (20 時間率)

^{*1} 車両に取り付けられた 12 V バッテリーを確認の上、同等以上の性能の 12 V バッテリーを使用してください。ただし、同一型式の中でも性能が異なる場合がありますので、交換する際はマツダ販売店にご相談ください。

スパークプラグ

エンジン	型式	
SKYACTIV-G	NGK	ILKAR7L11*1
	DENSO	ZC20HPR11*1

^{*1} SKYACTIV-G の最適な性能を発揮するためのスパークプラグです。詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

注意

イリジウムプラグを使用しておりますので、ワイヤーブラシなどによる清掃は行なわないでください。 イリジウム合金チップおよび白金チップの微粒子膜が損傷または脱落するおそれがあります。

燃料

使用燃料

使用燃料については、5-77ページ「給油のしかた」もあわせてお読みください。

エンジン	使用燃料	
SKYACTIV-G	無鉛プレミアム (無鉛ハイオク) ガソリン	

燃料タンク容量

エンジン	容量 (参考値)
SKYACTIV-G 1.5	40 L
SKYACTIV-G 2.0	45 L

エンジンオイル/オイルフィルター交換時期

交換時期は走行 km または年月のどちらか早い方で交換してください。車両の使用状況により、レンチ表示/表示灯が点灯することがあります。その場合は、エンジンオイルとエンジンオイルフィルターを交換してください。シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

エンジン	標準	シビアコンディション
SKYACTIV-G	15,000 km または 1 年ごと	7,500 km または 6 か月ごと

エンジンオイルの規格/銘柄

表に記載されたエンジンオイルを使用してください。

エンジン	指定規格	推奨銘柄
SWACTING	ΓIV-G API SN 以上 (SAE 0W-20√SAE 5W-30)	純正モーターオイルゴールデ ン ECO 7 (0W-20)
SKYACTIV-G		純正モーターオイルゴールデ ン SN (5W-30)

エンジンオイル/オイルフィルター交換時のエンジンオイル容量

エンジン	容量 (参考値)
SKYACTIV-G	4.3 L

使用温度範囲

エンジンオイルは外気温に応じた粘度のものを次の表にもとづき使用してください。



冷却水

推奨銘柄と交換時期

ラジエーターキャップまたはその付近に **FL22** のマークがある場合は、純正ロングライフクーラント (ゴールデン) を使用してください。 詳しくはマツダ販売店にご相談ください。

エンジン	推奨銘柄	交換時期
	純正ロングライフクーラント	2 年ごと (初回は 3 年)
SKYACTIV-G	純正ロングライフクーラント (ゴールデン)	100,000 km 走行または 4 年ご と (初回は 180,000 km 走行また は 9 年)

冷却水容量

トランスミッション	容量 (参考値)
マニュアルトランスミッショ ン	6.2 L
オートマチックトランスミッ ション	5.8 L

マニュアルトランスミッションオイル

エンジン	推奨銘柄	容量 (参考値)
SKYACTIV-G	マツダロングライフギヤオイ ル IS	2.0 L

オートマチックトランスミッションフルード

エンジン	推奨銘柄	容量 (参考値)
SKYACTIV-G	ATF JWS3317	7.2 L

ディファレンシャルオイル

交換時期

エンジン	標準	シビアコンディション ^{*1}
SKYACTIV-G	無交換	60,000 km 走行ごと

^{*1} シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

推奨銘柄とディファレンシャルオイル容量

エンジン	推奨銘柄	容量 (参考値)
SKYACTIV-G	マツダロングライフハイポイ ドギヤオイル SG1	0.6 L

ウォッシャー液

エンジン	容量 (参考値)
SKYACTIV-G	1.2 L

ブレーキ液

<u>交換時期</u>

エンジン	交換時期
SKYACTIV-G	2 年ごと (初回は 3 年)

推奨銘柄

エンジン	推奨銘柄	
SKVACTIV C	純正ブレーキフルード BF-3 (DOT-3)	
SKYACTIV-G	純正ブレーキフルード B7 (DOT-3)	

電球 (バルブ) について

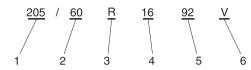
電球 (バルブ)	W 数 (12 V 用)	規格 (UN-R ^{*1} (SAE))
ヘッドランプ		
車幅灯	LED	
前面方向指示灯/非常点滅灯		
後面方向指示灯/非常点滅灯		
制動灯		_ (<u>_</u>)
尾灯		
後退灯		
ハイマウントストップランプ		
側面方向指示灯/非常点滅灯	5 W*2	WY5W (—)
番号灯	5 W	W5W (—)
ルームランプ	10W	- (-)
トランクルームランプ	5 W	- (-)

^{*1} UN-R は United Nations Regulation (国連規則) の略です。

^{*2} 電球 (バルブ) の交換はできません。ランプユニット本体の交換となります。

タイヤ/ホイールサイズ

タイヤサイズ表示 (一例) の見方



- 1. タイヤ幅の呼称 (mm) 2. 偏平率 (%)
- 3. ラジアル構造
- 4. リム径の呼称 (インチ)
- 5. ロードインデックス (LI)
- 6. 速度記号

速度記号の見方

次の速度記号情報で、車両の適切なタイヤを選んでください。

速度記号	最高速度
L	120 km/h まで
N	140 km/h まで
Q	160 km/h まで
R	170 km/h まで
S	180 km/h まで
Т	190 km/h まで
U	200 km/h まで
Н	210 km/h まで
V	240 km/h まで
W	270 km/h まで

タイヤサイズ

タイヤサイズは、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	ホイールサイズ	インセット (オフセッ ト)	ピッチサークル直径
195/50R16 84V	16×6-1/2J		
195/50R16 84V	16×7J	45.0 mm	100 mm
205/45R17 84W	17×7J		

タイヤ空気圧

適正空気圧は、運転席ドアを開けたボディー側に貼付されているラベルで確認してください。

タイヤサイズ	前輪	後輪
195/50R16 84V	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)	200 kPa (2.0 kgf/cm ²)
205/45R17 84W	200 kPa (2.0 kgf/cm²)	200 kPa (2.0 kgf/cm²)

ホイールナットの締め付けトルク

タイヤを取り付けるときは、次のトルクでホイールナットを締め付けてください。 $108\,\mathrm{N}\cdot\mathrm{m}\sim147\,\mathrm{N}\cdot\mathrm{m}$ ($12\,\mathrm{kgf}\cdot\mathrm{m}\sim14\,\mathrm{kgf}\cdot\mathrm{m}$)

ブレーキディスクの摩耗限度情報

ブレーキディスクの使用限度値とその測定方法に関する情報が必要な場合は、マツダ販売店にご相談ください。

ブレーキペダル

エンジン	遊び	フロアマットとのすき間 (踏力 147 N (15 kgf))
SKYACTIV-G	4.6 mm 以下	63 mm 以上

クラッチペダル

エンジン	遊び (クラッチ油圧が立ち上がるまで のストローク)	フロアマットとのすき間 (クラッチが 切れたとき)
SKYACTIV-G 1.5	8.3 mm 以下	37 mm 以上
SKYACTIV-G 2.0	8.3 mm 以下	36 mm 以上

補機ベルト

補機ベルトは、自動調整式です。点検や交換については、マツダ販売店へご相談ください。

エアクリーナーエレメント

エンジン	標準	シビアコンディション ^{*1}
SKYACTIV-G	50,000 km 走行ごと	25,000 km 走行ごと

^{*1} シビアコンディションの条件については、別冊のメンテナンスノートに記載しています。

MEMO

11 さくいん

4	リアウインドーデフォッガー (曇り取り) スイッチ5-59
llexa7-17 Alexa の設定を確認する8-62	え
-ACTIVSENSE AT 誤発進抑制制御について5-126 アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) に ついて5-92 警報・リスク回避支援表示について5-80 後側方接近車両検知 (RCTA) につい て	エアコン お手入れ
スマート・ブレーキ・サポート (SBS) について	お オートマチックトランスミッション シフトロック装置を解除する
ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) について5-97 マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) について5-112 レーダーセンサーについて5-85 -ELOOP i-ELOOP5-12	キーの電池交換のしかた9-24 く クルーズコントロール5-131 け
あ アクティブボンネット3-25 アドバンストキーレスエントリー&プッシュボ タンスタートシステム4-8	けん引 けん引してもらう8-9 けん引する8-10
う	故障診断コネクター 故障診断コネクター7-36
ウインドー4-18 ウォッシャー液が噴射しないとき8-42 はさみ込み防止機構を解除する8-40 パワーウインドーが操作できないと き8-40	し シート お子さま専用シート3-17

革張り部分をお手入れする9-33	ディファレンシャルオイル10-9
シートヒーター6-17	電球 (バルブ) を交換する9-14
シートベルト3-9	電球 (バルブ) について10-12
シートベルトをお手入れする 9-34	バッテリーを点検する9-7
チャイルドシート3-24	ブレーキ液10-11
布張り、合成皮革部分をお手入れす	ブレーキディスクの摩耗限度情報10-17
る 9-33	ホイールナットの締め付けトルク10-16
フロントシート3-14	補機ベルト10-20
室内装備	マニュアルトランスミッションオイ
イルミネーテッドエントリーシステ	ル 10-7
ム7-29	冷却水10-6
エアロボード7-33	ワイパーブレードゴムを交換する9-8
カップホルダー7-22	12 V バッテリー10-2
サンバイザー7-27	,,,, ,
	14
センターコンソール7-24	と
電源ソケット7-31	
トランクルームランプ7-30	盗難防止システム
バニティミラー7-28	イモビライザー4-31
リアコンソールボックス7-25	バーグラアラームシステム4-33
リアストレージボックス7-26	ドア
ルームランプ7-30	ドア4-10
ジャッキ	ドライブセレクション5-73
ジャッキについて7-38	
	│ ね
_	10
た	115.5.1
•	燃料
タイヤ	給油5-77
*	燃料10-4
タイヤ空気圧10-15	
タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)	
をする9-13	│ は
タイヤを点検する9-11	10
クートで示伏する	】 発炎筒
タイヤ/ホイールサイズ10-13	
パンクやバースト (破裂) したとき 8-20	発炎筒7-37
ホイールナットの締め付けトルク10-16	l ハンドル
-3-1 707 7 1 05/mp 05/13/17 1 70 7 10 10	ステアリングシフトスイッチ5-41
て	パワーステアリング5-75
	バッテリー
点検、整備	バッテリーあがりを処置する8-14
ウォッシャー液10-10	バッテリーを点検する9-7
ウォッシャー液を補充する9-6	12 V バッテリー10-2
エアクリーナーエレメント10-21	パーキングセンサー5-134
エンジンオイルを点検、補充する 9-6	, , , , , , , , , , , , , , , , , , , ,
	•
エンジンオイル/エンジンオイルフィル	৾
ター10-5	
オートマチックトランスミッションフルー	ブレーキ
ド10-8	アンチロックブレーキシステム
スパークプラグ10-3	(ABS)5-63
タイヤ空気圧10-15	エマージェンシーシグナルシステム
クノヤの位置が協(クノヤロ・ニー・・・・・	(ESS)5-50
タイヤの位置交換 (タイヤローテーション)	
をする9-13	ダイナミック・スタビリティ・コントロール
タイヤを点検する9-11	(DSC)5-66

警告灯について
ら ランプ ウォッシャー液が噴射しないとき8-42 電球 (バルブ) を交換する9-14 電球 (バルブ) について10-12 非常点滅表示灯5-61 方向指示器5-55 ランプスイッチ5-51
ワイパー ウォッシャー液が噴射しないとき8-42 ウォッシャー液を補充する9-6 フロントワイパーが高速作動すると き8-41 フロントワイパー/ウォッシャースイッ チ5-56 ワイパーブレードゴムを交換する9-8